取扱説明書

保証書別添付

日立自然冷媒（CO_2）ヒートポンプ給湯機
水道直圧給湯フルオート

システム型式	BHP-FW46HD
貯湯ユニット型式	BHP-TAW463
ヒートポンプユニット型式	BHP-HAW603

システム型式	BHP-FW37HD
貯湯ユニット型式	BHP-TAW373
ヒートポンプユニット型式	BHP-HAW453

本製品は水道法に規定の水質基準に適合した飲料可能な水を使用してください。
・水道水
・井戸水（硬度200mg/L以下、遊離炭酸30mg/L以下）

耐塩害地仕様は、型式の末尾に「E」がつきます。
耐重塩害地仕様は、型式の末尾に「J」がつきます。

このたびは日立自然冷媒（CO_2）ヒートポンプ給湯機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書・カンタンご使用ガイド・工事説明書とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」➔P.5〜9 をお読みいただき、正しくお使いください。

ご注意

時間帯別電灯契約専用です。
時間帯別電灯契約は、時間帯により、電気料金が異なります。
リモコンの時刻がずれていると電気料金が高くなることもあるため、リモコンの時刻が正しく設定されているか確認してください。

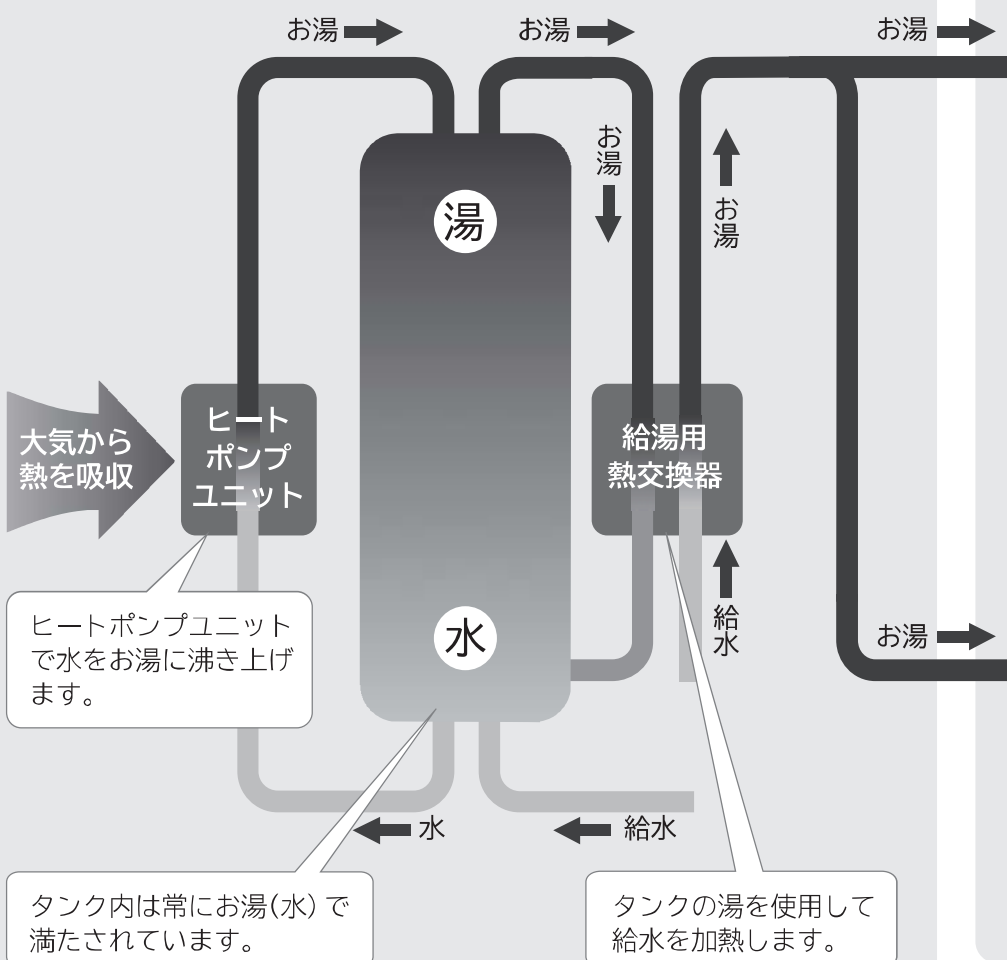
17A22144A

はじめに（特長とお知らせ）

エコキュートってどんなもの

エコキュートは、大気中の熱を集めてお湯を沸かすヒートポンプ式の給湯機です。
大気中の熱を水に伝える役目をする冷媒に自然冷媒（CO_2）を使用しています。

■お湯を沸かすしくみ、お湯を貯めるしくみ

ヒートポンプユニットで水をお湯に沸き上げ、沸き上げたお湯を貯湯ユニットに貯えます。そのお湯から熱だけを取り出し、給水圧をそのまま利用して給湯用熱交換器で給水を瞬間的にお湯にして、シャワーや混合水栓（蛇口）への給湯やおふろの湯はりに利用できるようにした給湯システムです。

■お湯が出るしくみ

■電力料金契約を選んで更に経済的

この給湯機は、時間帯別電灯型・季節別時間帯別電灯型のいずれかで契約されています。
ご使用の前に必ず契約内容を、お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。 ➔P.56

契約内容を確認の上、ご使用ください。ご不明の場合は、お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。

もくじ

ご使用のまえに

各部の名前とはたらき

使いかた

こんなとき

お手入れ

給湯機の設定

お困りのとき・アフターサービスなど

操作早見表

初めてお使いのときに

→P.2
もくじ
取扱説明書に何が書いてあるか確認します

→P.5
安全上のご注意
危害や損害を未然に防ぐための重要事項です

→P.17
リモコンの基本操作
エコキュートを操作するための基本事項です

→P.20
はじめてお使いのときに
正しくお使いいただくための確認事項です

→P.21
一括設定
時刻と電力契約の設定は必ずおこないましょう

→P.4
エコキュートの上手な使い方
上手にお湯を沸かして使いましょう

エコキュートの性能を発揮します

お湯を使うときに

→P.19
混合水栓について
混合水栓（蛇口）を理解し安全に使いましょう

→P.23
チャイルドロック
操作の禁止／許可の設定をします

→P.23
お湯を使う
便利にお使いいただくためにお読みください

→P.33
湯はり中にお湯を使う
便利にお使いいただくためにお読みください

安全にお湯が使えます

浴室で使うときに

→P.24
浴室優先
操作の禁止／許可の設定をする

→P.25
おふろの使いかた
湯はりから入浴までの手順と機能を説明します

→P.39
便利な機能
便利にお使いいただくためにお読みください

→P.36
給湯中に湯はりする
便利にお使いいただくためにお読みください

安全・便利に使えます

日頃の操作や点検

→P.61
日付/時刻の設定
時刻が合っていないと電気代が割高になります

→P.48
凍結防止について（外気温が低いとき）
冬季はおふろを使わないときでもお湯をすてない

→P.49
数日間お湯を使わないとき
エコキュートを休止させ、電気代を節約します

→P.15
各部の名称とはたらき
普段使わない貯湯タユニット周りの名前も理解する

→P.52
お手入れと点検
週に1回、月に1回、半年に1回、年に1回の手入れと点検

清潔・長持ちで安心です

季節の変わり目など

→P.21
一括設定
設定内容の確認をする

→P.45
使えるお湯の量を確認する
就寝前に残りのお湯の量を確認する

→P.57
沸き上げ設定を確認する
お湯の沸かしすぎ防止、湯切れ防止ができます

電気代の節約ができます

故障かなと思ったら

→P.67
お困りのときは
間違った操作がないか事前に確認しましょう

→P.65
リモコンに点検表示がでたら
リモコンに表示されたエラーコードを解説します

→P.74
保証とアフターサービス
販売店や工事店または、エンジニアリングセンターへ

●メモ（機器の現象を正しく伝えましょう。）

エコキュートの上手な使い方ガイド

より省エネで経済的に
ご使用いただくための
ポイントを紹介します。

■上手にお湯を沸かして使う

エコキュートは、過去のお湯の使用量を自動的に学習してお湯を沸かしますが、リモコンの設定により余裕分を多めに沸かすことも少なめに沸かすこともできます。ご家庭の使用状況にあわせて、お湯を沸かし、**上手に使い切ること**が省エネのポイントです。

1	● **リモコンでお湯を沸かすモードが「おまかせ 低温（工場出荷時設定）」になっているかご確認ください。** ➔P.57
2	● **お湯が足りなくなりそうなときには、リモコンの「タンク沸き増し」を押して必要な湯量を確保してください。** ➔P.46 **（自動でお湯の確保をしたいときは、「湯切れ防止」に設定することができます。** ➔P.58 ・1時間の沸上げで、約40℃のお湯を約120L（冬季）～240L（夏季）つくることができます。 ・ふろのお湯はりのめやす：約200L/回、シャワーのめやす：約10L/分です。 ・使用できるお湯の量はリモコンで確認できます。 ➔P.45
3	● **「おまかせ 低温」でお湯が足りなくなることが頻繁にあった場合は、「おまかせ 高温」「たっぷり」など、多くお湯を沸かすモードに沸き上げ設定を変更してください。** ➔P.57 ・水温の変化によりタンク内のお湯の使用量が変わってきます（水温の低い冬季は、お湯の使用量が多くなります。）季節に合わせて、沸き上げ設定を変更することをおすすめします。
4	● **ふろ湯はり終了後など、タンクのお湯が少なくなると自動で「湯切れ防止」が入り、沸き上げを行いますが、お湯の量が充分で沸き上げを必要としない場合は、リモコンで「湯切れ防止設定」を「切」にしてください。** ➔P.58
5	● **旅行などで不在となる時には、「使用休止予約」で沸き上げの休止を設定してください。** ➔P.49
6	● **深夜時間帯前の追加沸き上げを停止させる設定ができます。** ➔P.58

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

危害や損害とその程度の区分	
	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
	この表示の欄は、「重傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

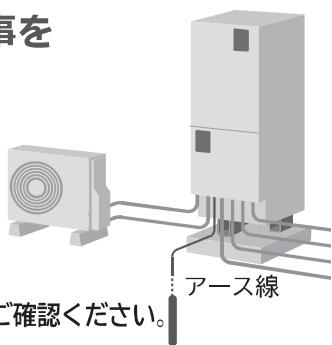
絵表示の例	
	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	実行していただく「指示」内容のものです。

据付け後の確認

⚠警告

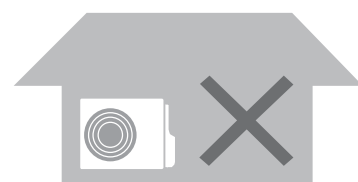
アース工事を確認する

確認

●故障や漏電のときに感電することがあります。
販売店または工事店にご確認ください。

禁止

●万一、冷媒（CO2）が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故（脳機能障害等）に至ることがあります。

⚠注意

確認

必ず、水道法に規定の水質基準に適合した飲料可能な水を給水する
（・水道水
・井戸水(硬度200mg/L以下、遊離炭酸30mg/L以下)）

●温泉水、純水、イオン交換水は使用しないでください。
タンクや配管の腐食、ヒートポンプユニットの熱交換器等がつまるなど故障の原因になります。
販売店または工事店にご確認ください。

⚠注意

確認

据付工事後は、次のことを確認する

■貯湯ユニットがアンカーボルトで固定されているかを確認する

・貯湯ユニット……………脚：３か所
転倒防止金具（上部）：１か所
（２階以上に設置する場合に必要です）
・ヒートポンプユニット……脚：４か所

●固定されていないと地震などにより貯湯ユニット、ヒートポンプユニットが倒れてけがをするおそれがあります。
固定されていない場合は、販売店または工事店にご依頼ください。

■防水処理・排水処理がされていることを確認する

●処理されていないと、水漏れが起きたときに、階下や隣家に大きな損害をおよぼすことがあります。
販売店または工事店にご確認ください。

■太陽熱温水器のお湯が給水管に接続されていないか確認する

●接続されていると故障や誤動作の原因になります。
販売店または工事店にご確認ください。

■凍結防止対策の確認をする

→P.48

●凍結するとタンクや配管が 破裂し、やけどや水漏れをすること があります。

貯湯ユニット

転倒防止金具
※設置の環境により側面に固定する場合もあります。

ヒートポンプユニット

配管

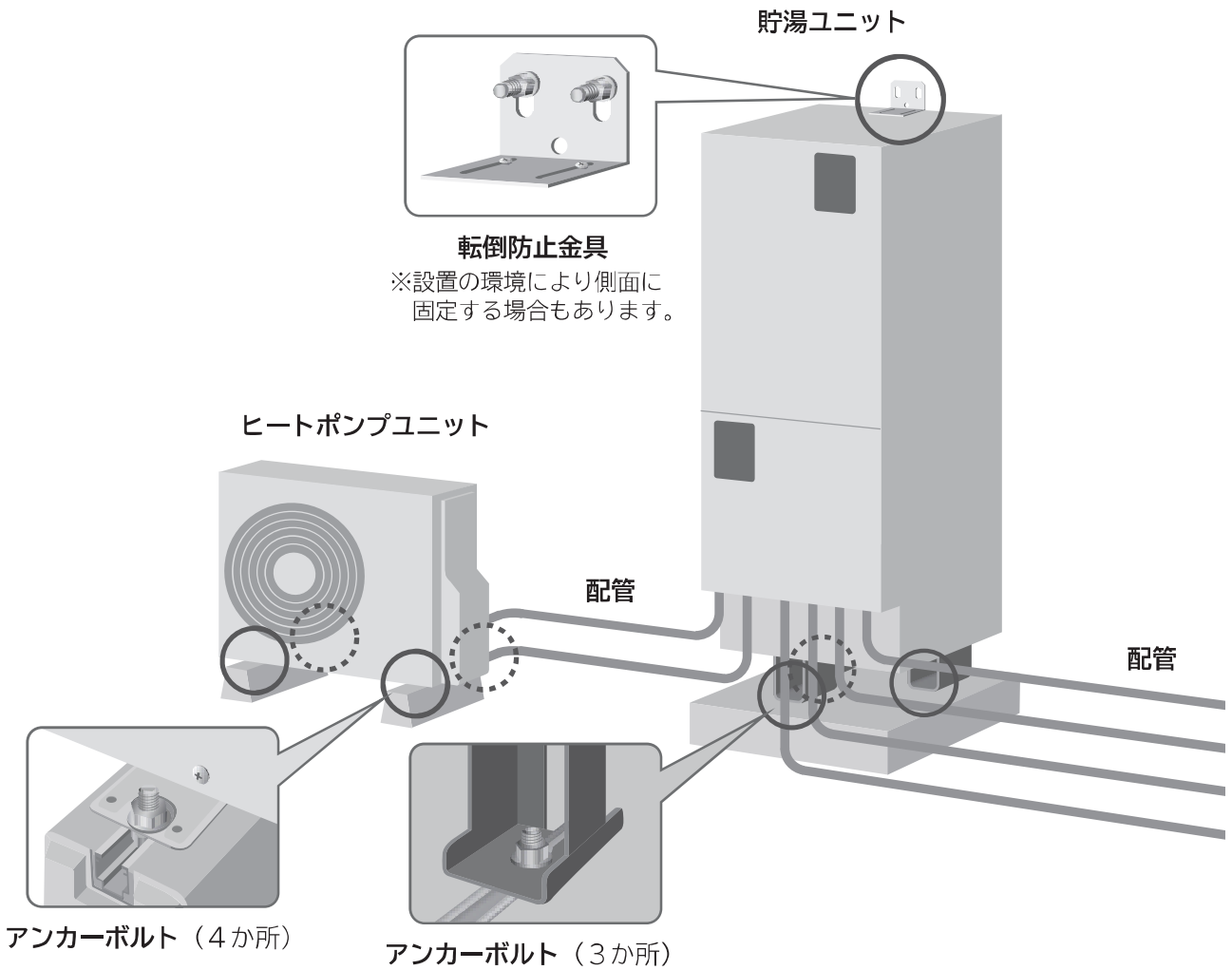
配管

アンカーボルト（４か所）

アンカーボルト（３か所）

防水処理　　**排水処理**

安全にお使いいただくために（必ずお守りください）

⚠警告

動作確認

漏電遮断器の動作を確認する

➔P.49

- ●月に１度、動作確認をしてください。
- ●故障のまま使用すると、感電することがあります。
- ●確認後は操作カバーを閉じてください。開けておくと雨水やゴミ等が入り、漏電や感電をすることがあります。

点検

逃し弁の点検をする

➔P.50

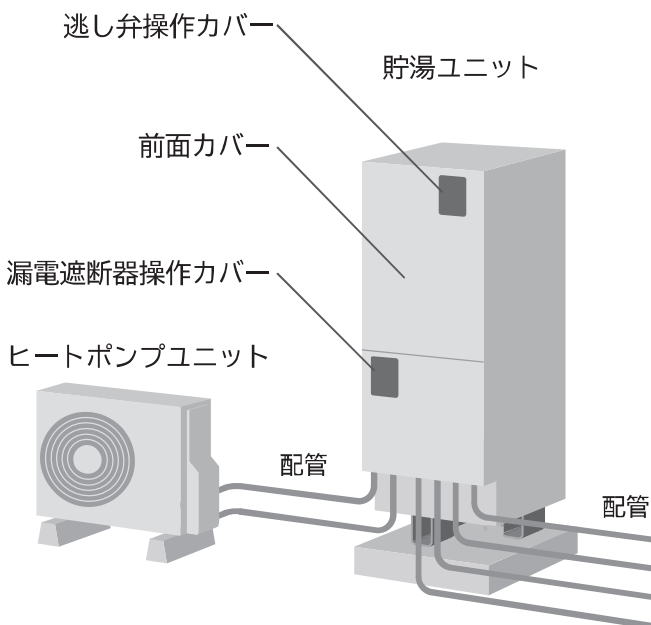
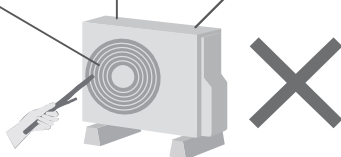
- ●年に２～３度、点検をしてください。
- ●異常のまま使いつづけると、タンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。
- ●確認後は、操作カバーを閉じてください。開けておくとゴミ等が入り、漏電や感電をすることがあります。

異常（こげ臭いなど）**時は、漏電遮断器の電源スイッチを「OFF」にし、販売店または工事店に連絡する**

- ●異常のまま使用すると、故障や感電、火災の原因になります。

禁止

ヒートポンプユニットのアルミ部分に触ったり、空気吸込口・吹出口に手や棒を入れない

- ●けがをすることがあります。

やけど注意

熱湯や熱くなる部分に触れない
（やけどの原因になります）

■給湯時の混合水栓（蛇口）は熱くなっているので、ハンドル以外には手を触れない

■逃し弁点検時には、配管に手を触れない
- ●配管が高温になっています。

■タンクの排水時は、お湯に手を触れない
- ●高温のお湯が出ることがあります。

■貯湯ユニットとヒートポンプユニット間の配管には手を触れない

やけど注意

子供の入浴には十分注意する 子供を浴室内で遊ばせない

- ●もぐったりしないでください。（髪の毛がふろ循環アダプターにからまったり、吸い込まれたりして危険です）
- ●小さい子供だけの入浴はさせないでください。（ふろ循環アダプターから高温のお湯が出たり、混合水栓は高温になっている部分があり、やけどをすることがあります）

安全にお使いいただくために（必ずお守りください）

⚠警告

お湯の温度を確認してから使用する（やけどの原因になります）

やけど注意

■シャワー使用時は、指先などで湯温を確かめる

●「浴室優先」の設定にして、お湯の温度を確かめます。

➔P.24

●シャワー給湯には、サーモスタット付混合水栓をご使用ください。

➔P.19

■浴そうの温度を指先などで確かめる

■給湯温度の変更は、他の人がお湯を使っていないかを確認してから行う

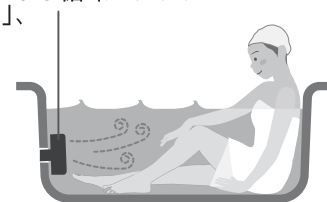
入浴時はふろ循環アダプターに注意する

やけど注意

●「ふろ自動」、「追いだき」、「高温さし湯」のときに高温の湯が出ることがあります。ふろ循環アダプターから離れてください。

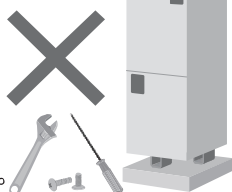
●ふろ循環アダプターをふさがないでください。（貯湯ユニットの故障や配管の水漏れの原因になることがあります）

●ふろ循環アダプターのフィルターをはずして使用しないでください。（髪の毛を吸い込まれるなど事故の原因になります）

●湯はり中には入浴しないでください。（湯はり中は、ふろ循環アダプターから高温の湯が出ることがあります）

分解・修理・改造を行わない 前面カバーを開けない

分解禁止

●分解や修理、改造を行うと発火や異常動作の原因になります。

●開けると、感電することがあります。

機器の近くにガス類や引火物を置かない

禁止

●発火や火災になることがあります。

⚠注意

機器に乗ったり、配管に力を加えたりしない

禁止

●事故・やけどの原因になります。

おふろのお湯は口にふくまない

●不衛生ですから、おふろのお湯は口にふくまないでください。

ヒートポンプユニットの据付台が傷んだ状態で使用しない

禁止

●傷んだ状態で放置すると、ヒートポンプユニットの落下、転倒につながり、けがの原因になることがあります。

積雪時には除雪をする

●ヒートポンプユニットや貯湯ユニットの周囲に積雪すると、性能低下や故障の原因になることがあります。

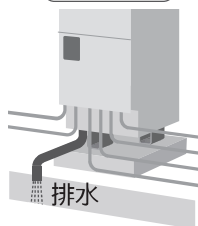
安全にお使いいただくために（必ずお守りください）

⚠注意

凍結するおそれの高い地域や期間で漏電遮断器の電源スイッチを「OFF」にする場合は、販売店または工事店へ完全な水抜き作業を依頼する

電源確認

➔P.50

●貯湯ユニット、ヒートポンプユニットの完全な水抜き作業をせずに、電源スイッチを「OFF」すると、貯湯ユニットやヒートポンプユニットや配管が凍結し、故障の原因になることがあります。

貯湯ユニットを満水にしてから電源を入れる

満水確認

●貯湯ユニットに水がない状態で電源を入れると、故障の原因になります。

販売店または工事店に確認・ご依頼ください。

貯湯ユニットのお湯を非常用水としてご使用の場合は、湯温を確かめて熱に強い容器を使用する

やけど注意

➔P.50

●ホースから熱いお湯が出ます。やけどに注意してください。ガラス容器などは、熱により割れる場合があります。

ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げになるものを置かない

禁止

●通風が妨げられると、性能低下や故障の原因になります。

断水時は、シャワーや混合水栓（蛇口）を閉める

➔P.51

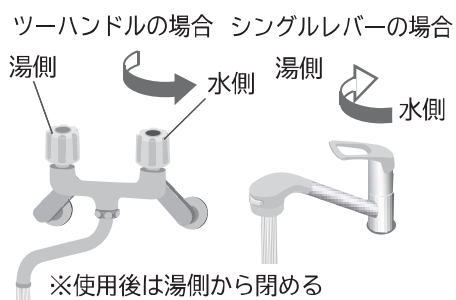
●開けっぱなしにしておくと、再度送水されたときに混合水栓（蛇口）から湯（水）が出ます。

湯水混合水栓は水から開く

やけど注意

ツーハンドルの場合　シングルレバーの場合

※使用後は湯側から閉める

●まず水側を開いてから湯側を徐々に開いて適温にしてください。湯側だけ開くと、高温の湯が出たり、飛び散ったりする場合があり、非常に危険です。

朝一番のお湯は、飲用したり調理に使用しない

禁止

●朝一番のお湯（配管内にたまった水）は、飲用や調理に使用せず、雑用水としてお使いください。

●必ず、水道法に規定の水質基準に適合した飲料可能な水を使用してください。

・水道水

・井戸水
（硬度200mg/L以下、遊離炭酸30mg/L以下））

●固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに、直ちに販売店または工事店へ点検を依頼してください。

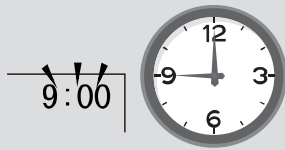
ご使用上の注意

■時間帯別電灯契約専用です

●この機器の性能を最大限に発揮させ、経済的に運転するために、電力会社と時間帯別電灯契約をしてください。
●契約方法は電力会社または、販売店または工事店までご相談ください。 →P.56

■リモコンの時刻を確認する

●月に１度は台所リモコンの時刻を確認、修正してください。 →P.61

9:00

●時刻がずれていると、お湯を沸き上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金が割高になります。

■入浴剤を使うときのご注意

●イオウ、酸、アルカリを含んだ入浴剤は使用しないでください。
●入浴剤の注意書きをよく読んでご使用ください。また、温泉のお湯は使用しないでください。
※タンクや配管が故障し、水漏れすることがあります。

■湯はりをするときのお願い

●湯はりをするときは
・浴そうは排水栓を閉める。
・浴そうにふたをする。
※残り湯があっても湯はりできます。「ふろ自動予約」をするときも同様です。
●高速湯はりをするときは、お湯があふれる場合がありますので残り湯からの湯はりはしないでください。

■給湯温度・流量がばらつく場合があります

●給水圧力が変動したり、給湯流量を変更した場合、給湯流量や給湯温度がばらつくことがあります。

■外気温が低いときは・・・・ →P.48

●ふろ配管が凍結することがありますので、おふろのお湯はぬかないでください。

■深夜時間帯のご使用について

●給湯機は、深夜時間帯にお湯を沸かすのが基本です。
この時間帯にお湯を多く使うと、昼間に沸き増しを行い電気料金が高くなる場合があります。

深夜時間帯
昼間時間帯

●深夜時間帯は、地域や契約内容によって異なります。
→P.56

■停電時のご注意 →P.51

●停電時は、給湯・ふろ機能とも使用できません。

■給湯・湯はり中は・・・・・

●湯はり中は、ポンプ運転音がします。
●給湯中はポンプ運転音がします。

■お湯を上手に使う

●１日に使用できるお湯の量は限りがあります。お湯の使いすぎに注意してください。
●流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。
・シャワーは止めながら
（髪を洗っているときは止めましょう）
・洗いものをするときも止めながら

■湯はり中の給湯 →P.33

●湯はり中にシャワーや混合水栓 (蛇口) を使用しますと、シャワーや混合水栓 (蛇口) の湯温や流量がばらつくことがあります。
●湯はり中にシャワーや混合水栓 (蛇口) を使用しますと、一時的に湯はりを中断することがあります。

■給湯中の湯はり →P.36

●シャワーや混合水栓 (蛇口) を使用中は一時的に湯はりを中断することがあります。シャワーや混合水栓 (蛇口) の使用終了後に湯はりを開始します。
●シャワーや混合水栓 (蛇口) を使用中に湯はりが終了した場合、シャワーや混合水栓 (蛇口) の湯温や流量が変化する場合があります。

各部の名前とはたらき（リモコン）

台所リモコン（サブリモコン）

タンク沸き増しボタン
貯湯ユニットのお湯を沸かしはじめます。 ➔P.46

追いだきボタン
おふろの温度を高くします。 ➔P.29

ふろ自動ボタン
通常・・・・・おふろの湯はりを行います。
３秒押し・・半身浴モードで湯はりを行います。 ➔P.27 ➔P.39

ふろ予約ボタン
おふろの湯はりを完了させたい時刻を設定できます。 ➔P.40

高速湯はりボタン
高速湯はりの設定ができます。 ➔P.26

ふろ温度ボタン
おふろの温度が設定ができます。 ➔P.26

水位ボタン
おふろの水位が設定できます。 ➔P.26

スピーカー

▲ ▼ボタン
メニューの選択や、時間／時刻などの数値を設定します。

表示画面

マイク

通話ボタン ➔P.43
ふろリモコンと通話ができます。
（サブリモコンにはありません）

おしえてボタン
通常：設定の内容などをお知らせします。 ➔P.17
３秒押し：「eco」メニュー設定ができます。 ➔P.41

給湯温度 ▲ ▼ボタン
給湯温度の設定を行います。 ➔P.23

メニューボタン
沸き上げ設定などを行います。 ➔P.13

時刻設定
通常：正時設定(０分調整)
３秒押し：時刻設定ができます。 ➔P.62

戻るボタン
ひとつ前の画面に戻ります。

決定ボタン
通常・・各種メニューの項目、選択／設定を確定します。
３秒押し ・・ チャイルドロックモード※になります。
※ふろリモコンでの操作を制限します。

ふろリモコン

リモコン切/入ボタン
●「入」にすると、表示が点灯し、他のスイッチ操作ができるようになります。
●「切」にすると、表示が消灯し、ふろリモコンで運転・操作していた内容は中止されます。台所リモコンなどで、給湯温度を60℃に設定しているときは安全のため表示は消えません。

追いだきボタン
おふろの温度を高くします。 ➔P.29

たし湯ボタン
設定したふろ温度のお湯を約20Lたしてお湯の量を増やします。 ➔P.30

表示画面

マイク

通話ボタン ➔P.43
台所リモコンと通話ができます。

おしえてボタン
通常：設定の内容などをお知らせします。 ➔P.17
３秒押し：〔eco〕メニュー設定ができます。 ➔P.41

浴室優先ボタン
台所リモコンでの給湯温度、ふろ温度の変更ができないようにします。 ➔P.24

ふろ自動ボタン
通常・・・・おふろの湯はりを行います。 ➔P.27
３秒押し・・半身浴モードで湯はりを行います。 ➔P.39

給湯温度 ▲ ▼ボタン
給湯温度の設定を行います。 ➔P.23

自動洗浄ボタン
自動洗浄の設定を行います。

戻るボタン
ひとつ前の画面に戻ります。

スピーカー

さし水ボタン
おふろに水を約15Lたして温度を下げます。 ➔P.31

高速湯はりボタン
高速湯はりの設定ができます。 ➔P.26

高温さし湯ボタン
約60℃のお湯を約20Lたしておふろの温度を高くします。 ➔P.32

水位ボタン ➔P.26
おふろの水位の設定ができます。

ふろ温度ボタン ➔P.26
おふろの温度が設定できます。

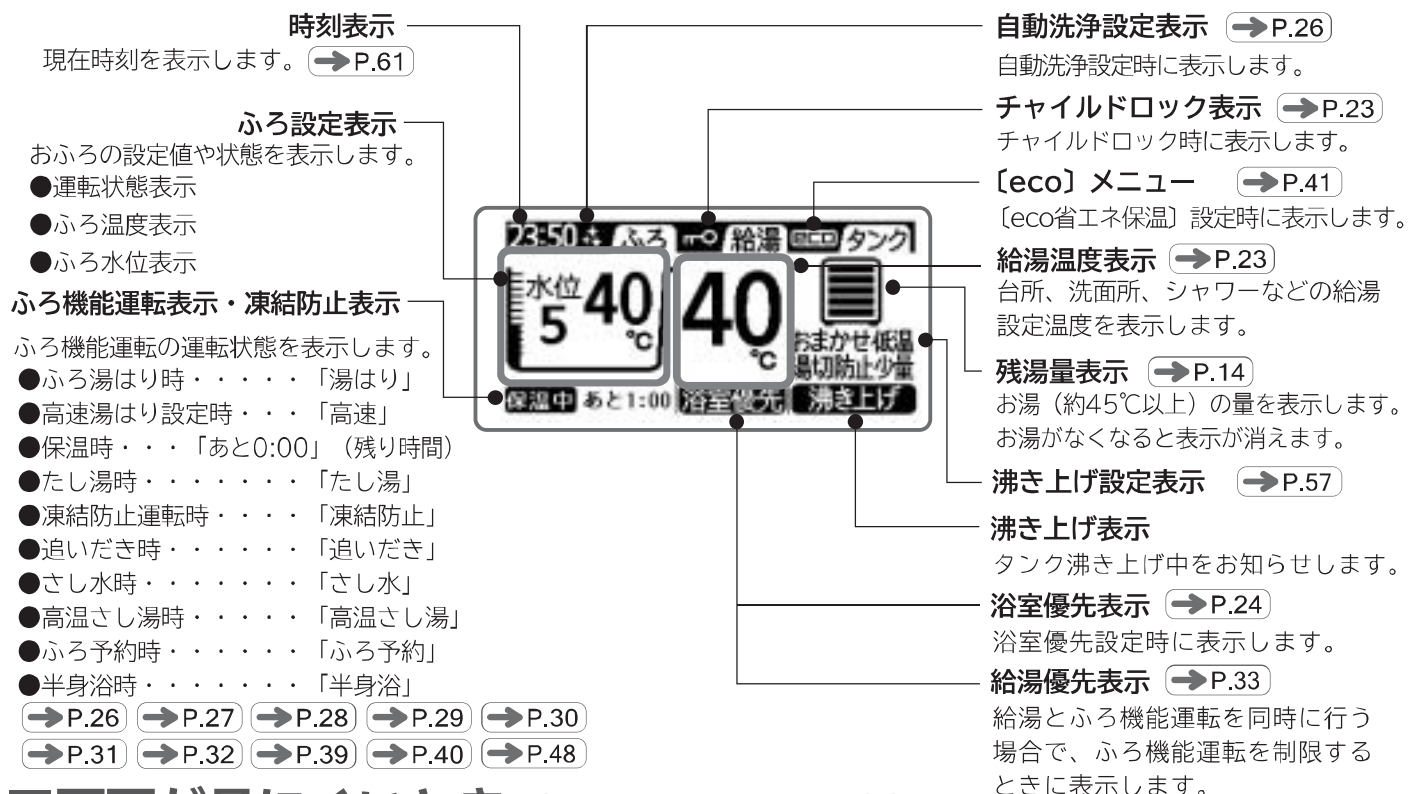
タンク沸き増しボタン ➔P.46
貯湯ユニットのお湯を沸かしはじめます。

決定ボタン
各種メニューの項目、選択／設定を確定します。

メニューボタン
沸き上げ設定などを行います。 ➔P.13

▲ ▼ボタン
メニューの選択や、時間／時刻などの数値を設定します。

表示画面

●表示は標準画面例です。状況により、表示内容は異なります。●台所リモコン、ふろリモコンの表示画面は同じです。

■画面が見にくいとき（コントラスト設定）

●リモコンの画面は、見やすいようにコントラストを調整してありますが、リモコンを設置する場所の温度によって薄くなったり、濃くなったりします。薄すぎたり濃すぎたりする場合や、縦線が入っている場合などは、コントラスト設定してください。

●台所リモコン、ふろリモコン画面それぞれ調整できますので、リモコンの画面を見ながら調整してください。

●コントラストは16段階で設定できます。

を押すと暗くなります。

を押すと明るくなります。

お知らせ

●台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンは、約３０秒以上ボタン操作をしないと自動的にバックライトが消えます。ただし、再度ボタンを押すとバックライトが再点灯します。

●時刻表示の「：」はバックライト点灯時は１秒に合わせて点滅していますが、バックライト消えると点灯に変わります。

●バックライト消灯時でも操作可能です。

メニュー内容

リモコンのメニューの内容（台所／ふろ共通）

メニュー項目	設定項目	概要	頁
ふろ設定	①保温時間設定	自動で保温、たし湯をして、設定温度・水位を保持する時間を設定します。	➔P.59
	②保温機能設定	保温（自動）時間中、「保温・水位」または「保温のみ」のいずれを保持するかを設定します。	
	③ふろ予約設定	おふろの湯はり完了時刻を設定、予約します。	➔P.40
	④循環洗浄実行	ふろ配管の洗浄を行います。	➔P.55
タンク設定	①沸き上げ設定	沸き上げるお湯の量を設定します。	➔P.57
	②湯切れ防止 / 節約設定	タンクのお湯が少なくなってきたら自動で沸き増しをする・しないの設定、「湯切れ防止」を動作させない時間帯を設定します。	➔P.58
	③使用休止予約設定	タンクの沸き上げを休止する日にちを設定します。	➔P.49
	④残湯量確認／使用実績	今日、あとどれくらいお湯が使えるかの目安を表示します。 １週間のお湯の使用実績の変化を表示します。	➔P.45
リモコン設定	①音声ガイド設定	音声ガイドのモードを選択します。	➔P.60
	②ガイド・ブザー音量設定	音声ガイド、ブザーの音量を設定します。	
	③通話機能設定	通話時の音量、インターホンの通話方式を設定します。	➔P.63
	④日付／時刻設定	現在日付／時刻を合わせます。	➔P.61
その他設定	①電力契約設定	契約されている電力の種類を設定します。	➔P.56
	②一括設定	電力契約設定、沸き上げ設定、湯切れ防止 / 節約設定、ふろ保温時間設定、音声ガイド設定、音声ガイド・ブザー音量設定、日付／時刻設定を一度に設定します。	➔P.21
	③出荷時設定	各設定を製品出荷時の状態に戻します。	➔P.64

〔eco〕メニューの内容（台所／ふろ共通）

おしえてボタンを画面が変わるまで押し続けますと、〔eco〕メニューが表示されます。

メニュー項目	設定項目	概要	頁
〔eco〕メニューほか	①eco 省エネ保温	浴そうの保温性能を学習し、お湯はり終了後の自動保温の間隔の最適化を行い省エネをはかります。	➔P.41 ➔P.42
	②入浴検知追いだき	浴そうに人が入ったことを検知し、自動でふろの追いだきを行います。	
	③沸き増し節約	過去１週間のお湯の使用状況を学習し、お湯が深夜時間帯にまで足りていると判断した場合、深夜時間帯以外は、湯切れ防止による沸き上げをしないようにします。	
	④お好み量沸き増し	必要な分だけの沸き増し量を選択することができます。	

残湯量のみかた

残湯量のみかた

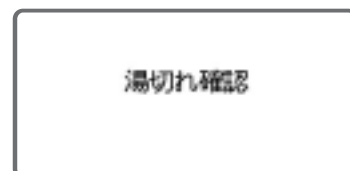
残湯量表示

■残湯量表示は…

●給湯やおふろに使えるおよその湯量を表示します。
●残湯量表示は、お湯を使わなくても、追いだきや自然放熱などで表示が少なくなる場合があります。

■湯切れ注意

●残湯量が少なくなると「湯切れ確認」が、約 10 秒間表示されます。
その後の使用量に応じて「タンク沸き増し」を行ってください。➔P.46

湯切れ確認

残湯量が少なくなると約 10 秒間表示

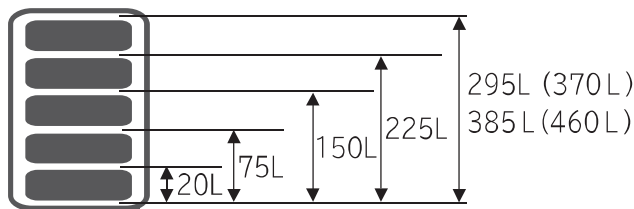
■使えるお湯の量

●タンクには常温（水）から最高 90℃のお湯があり、そのお湯と水を混合させるので、実際にご使用になれるお湯の量と残湯量表示には差があります。平均 42℃に換算した場合の湯量も確認できます。➔P.45

■残湯量のめやす

○＝使用できます。　×＝使用できません。

表示	残湯量のめやす	使用のめやす		「湯切れ防止・少量」を設定していると
		給湯、シャワー	湯はり、追いだき	
	満タン	○	○	残湯表示が点灯していてもタンク内のお湯の温度状況により「沸き上げ」を開始する場合があります。
	225L 以上	○	○	
	150L 以上	○	○	
	75L 以上	○	×	
	75L 未満	○	×	
点滅	20L 未満	×	×	
	0L	×	×	

●残湯量表示とタンク内の湯量イメージ

●型式とタンク容量

型式	タンク容量
BHP-FW37HD	370L
BHP-FW46HD	460L

お知らせ

●残湯量表示が全て点灯している場合でも、「湯切れ防止」を設定していると「沸き上げ」を開始する場合があります。
●残湯量表示は約 45℃以上のお湯の量を表示しています。残湯量表示が出ていても給湯温度の設定が高い（たとえば 48℃）場合は、その設定より低い温度（たとえば 46℃）のお湯が出ます。
●7 時～ 23 時で残湯量表示が 1 目盛点灯から点滅に変わるとき、「タンクのお湯が少なくなりました」の音声でお知らせします。
●沸き上げ設定が「おまかせ・低温」「おまかせ・高温」の場合、お客様のご使用状態によっては、沸き上げ温度が低くなり、満タンに沸き上げない場合がありますが、異常ではありません。なお、頻繁に湯切れする場合は、沸き上げ設定を変更してください。➔P.57

ユニット本体

貯湯ユニット

漏電遮断器　操作カバー

電源スイッチ：
電源を「ON」「OFF」します。

テストボタン：
漏電遮断器が正常に動作するか確認します。

電源スイッチ
漏電遮断器
テストボタン
ON
OFF

逃し弁　操作カバー

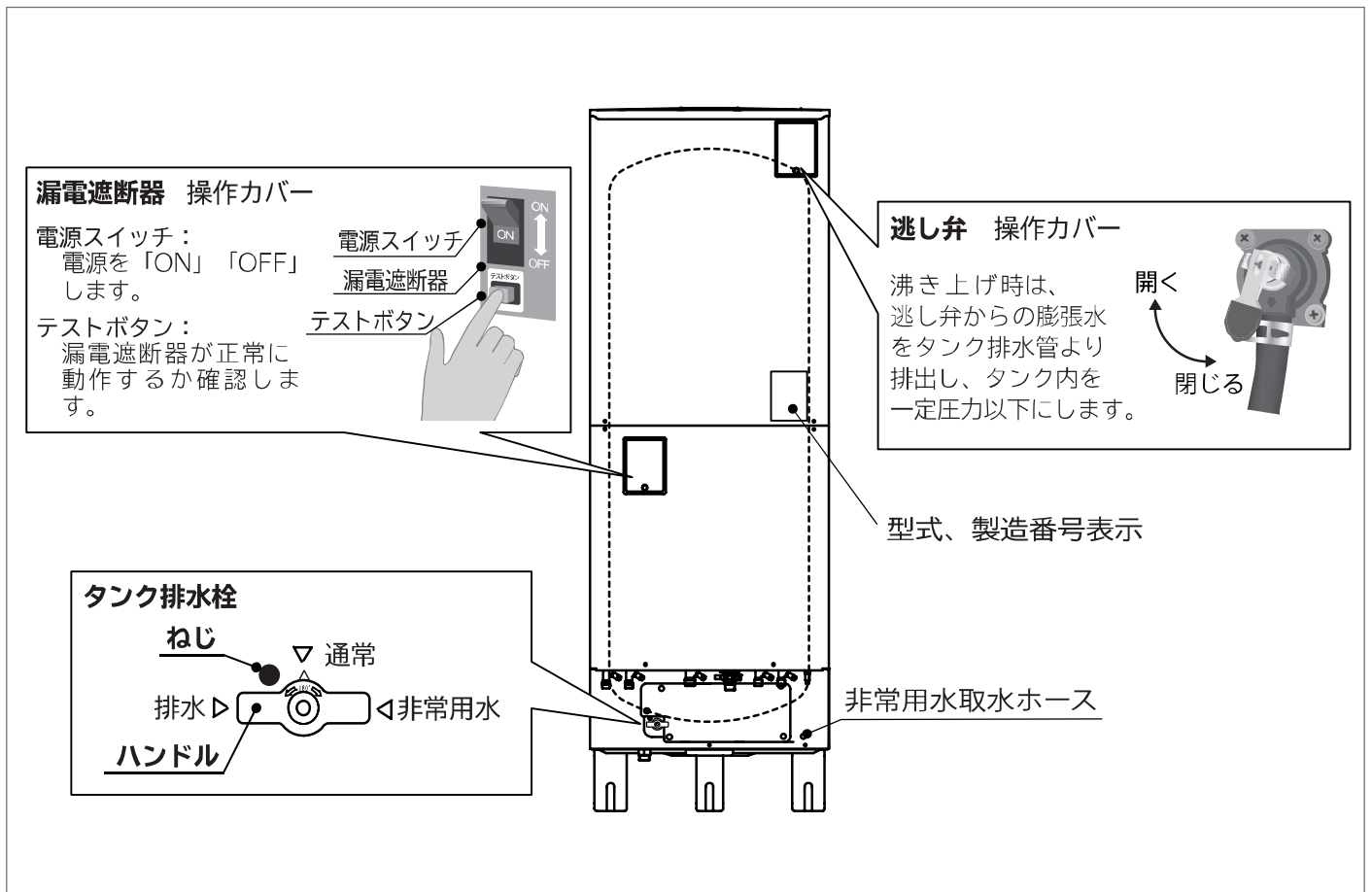
沸き上げ時は、逃し弁からの膨張水をタンク排水管より排出し、タンク内を一定圧力以下にします。

開く
閉じる

型式、製造番号表示

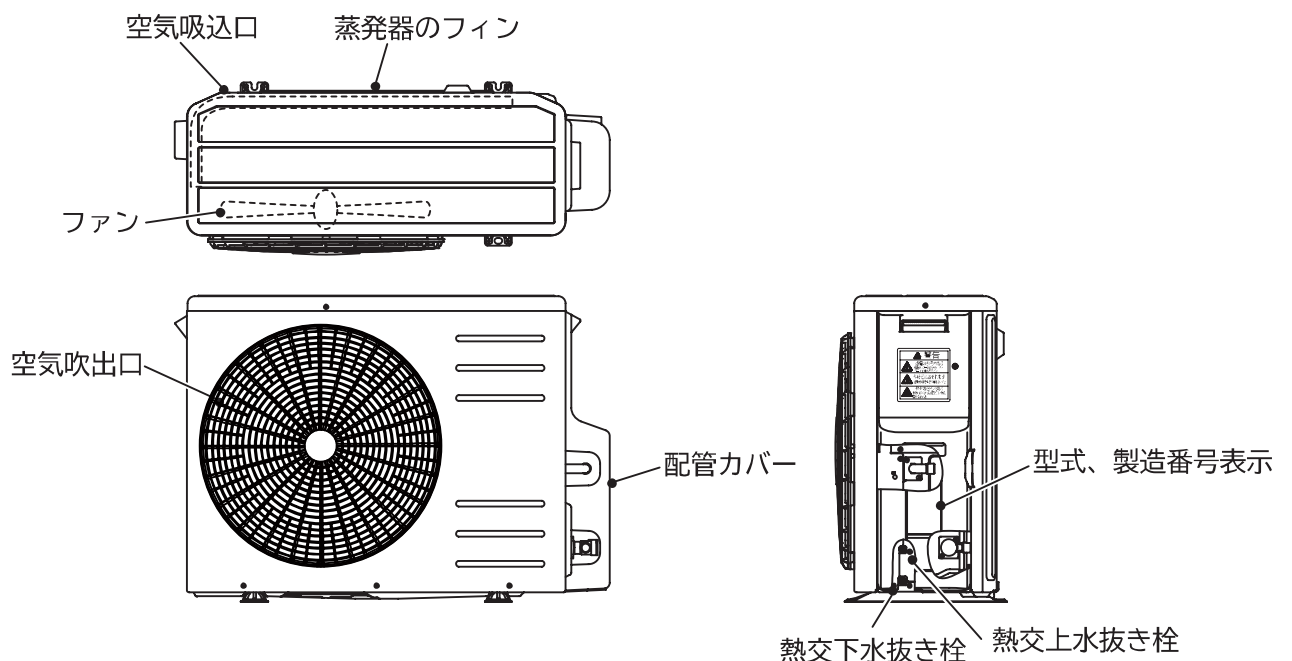
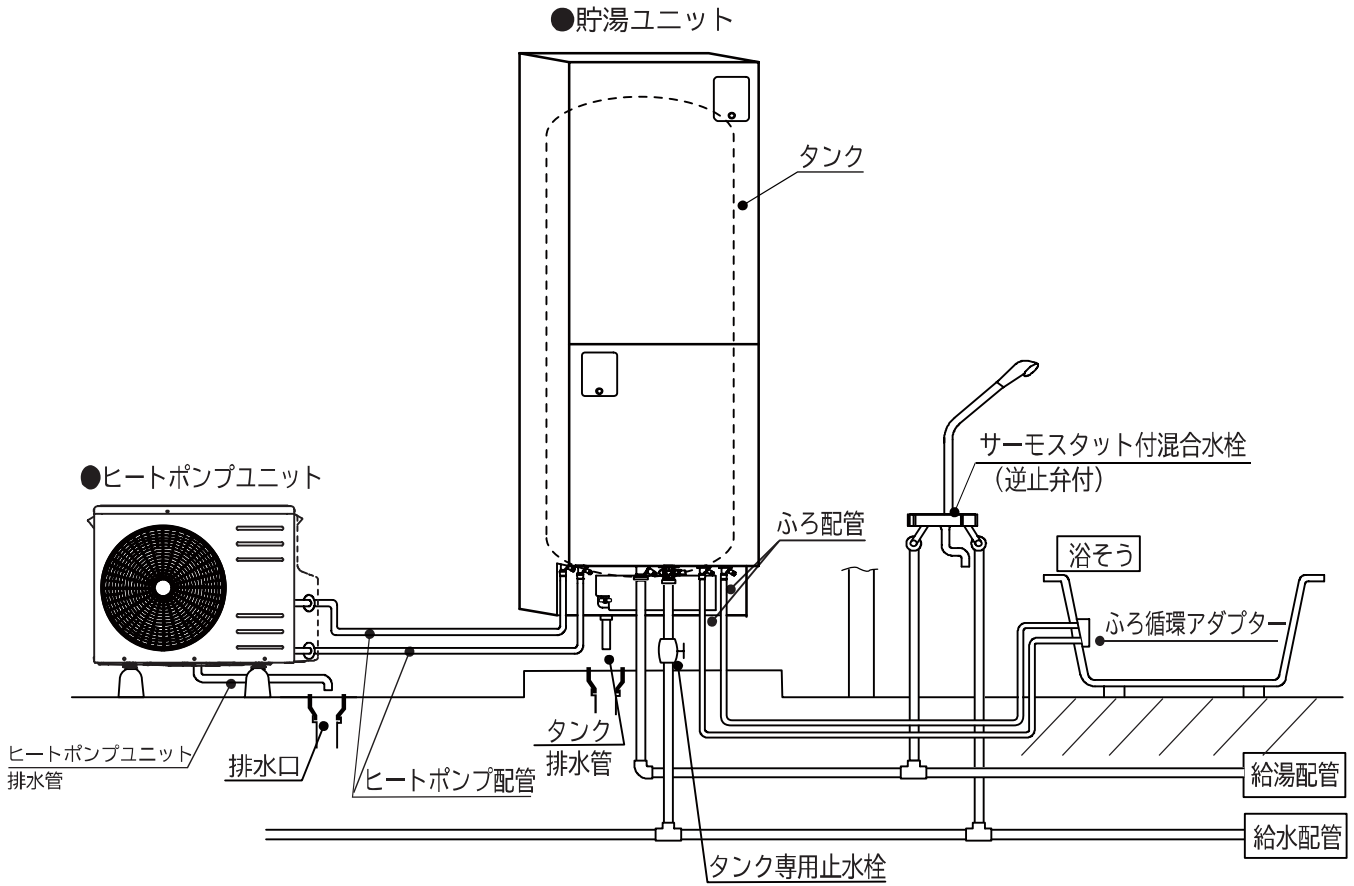
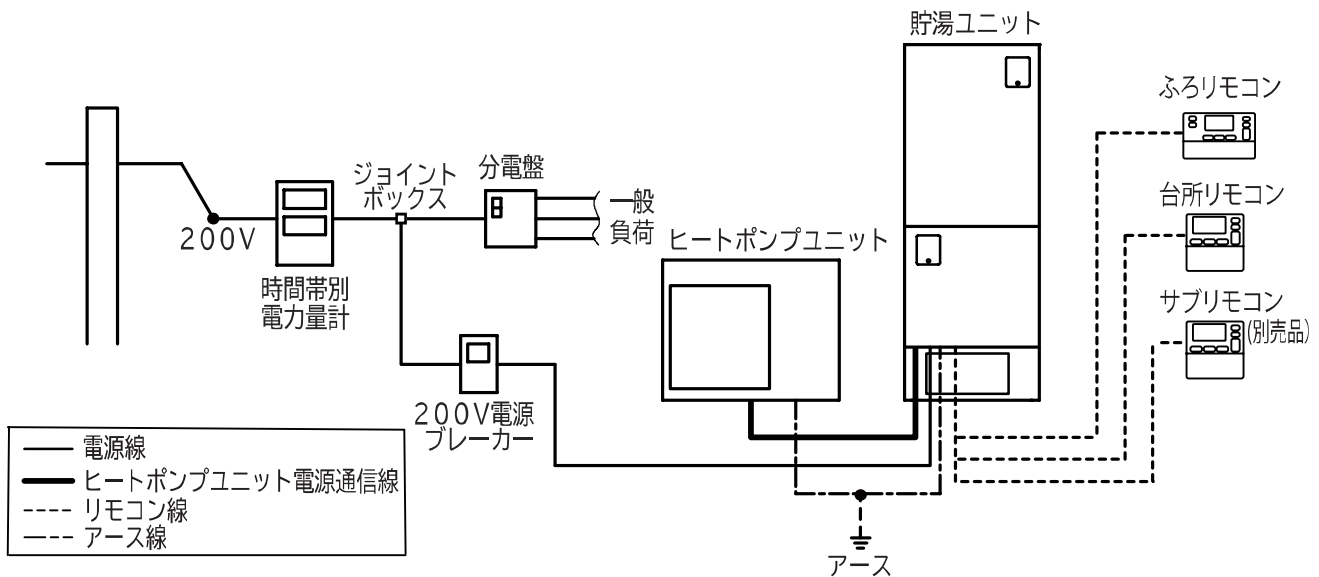
タンク排水栓

ねじ
▽ 通常
排水 ▷
◁非常用水
ハンドル

非常用水取水ホース

ヒートポンプユニット

配管／配線

システム全体の配管例

●貯湯ユニット
タンク
サーモスタット付混合水栓
（逆止弁付）
●ヒートポンプユニット
ふろ配管
浴そう
ふろ循環アダプター
ヒートポンプユニット
排水管
排水口
ヒートポンプ配管
タンク
排水管
給湯配管
給水配管
タンク専用止水栓

配線例（時間帯別電灯契約専用）

リモコンの基本操作（ボタン操作とメニュー操作）

●台所リモコン（サブリモコン）とふろリモコンの基本的な操作方法は共通です。
●この取扱説明書で、ボタンを指し示す場合はそのボタンのイラストで説明します。

台所リモコン（サブリモコン）

ふろリモコン

■「おしえて」ボタン

■「標準画面」でボタン消灯中に「おしえて」ボタンを押すと、現在の設定内容と給湯機の動作状態を音声でおしらせします。

●アナウンス内容

設定内容：給湯温度、ふろ温度、ふろ水位、ふろ保温時間、沸き上げ設定、湯切れ防止設定を「おしえて」ボタンを押すたびに毎回アナウンスします。

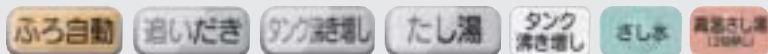
リモコンの状態：「浴室優先」「チャイルドロック」が有効な時にアナウンスします。

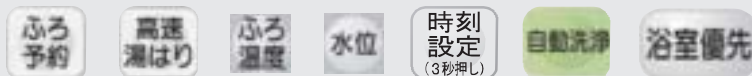
おふろの状態：「お湯はり」、「保温」、「さし水」、「たし湯」、「循環洗浄」をしている時にアナウンスします。

■リモコン操作をしている時に、「おしえて」ボタンのランプが点灯していれば、操作方法などをアナウンスします。
操作方法など使い方がわからない時にお役立てください。

■ボタン操作

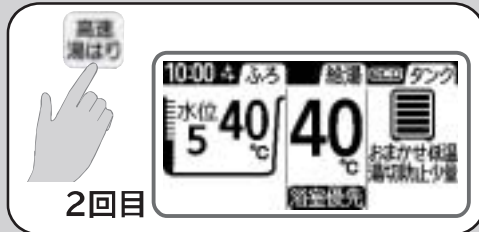
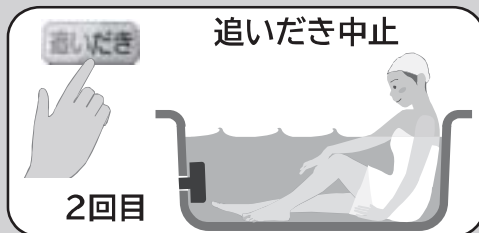
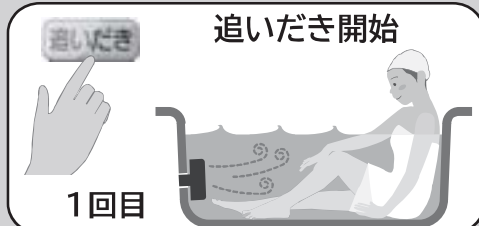
■リモコンのボタンは、機能を実行するためのボタンと、設定を行うためのボタン、リモコン操作に必要なボタンがあります。

●機能を実行するボタン

１回押すと実行され、実行中にもう一度押すと中止します。
例えば、「追いだき」を押すと、追いだきが始まり、自動で終了します。追いだき中にもう一度押すと追いだきを中止します。

●設定を行うためのボタン

１回押すと設定画面に切り替わり、設定操作が行えます。「決定」を押すと終了します。

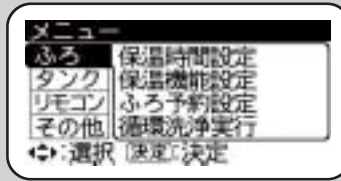
「高速湯はり」「自動洗浄」「浴室優先」ボタンは、押すと設定され、もう一度押すと設定が取り消されます。

●操作に必要なボタン

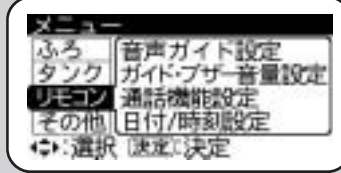
給湯機の機能や設定には割り当てられていませんが、設定温度を上下させたり、項目を選択する場合に使用します。

■メニュー操作

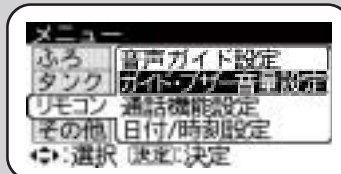
■機能の実行や設定を行うには、ボタン操作のほかにメニュー覧から選択する方法があります。
「ガイド・ブザー音量設定」を例に説明します。

リモコンの扉を開きます。
扉の左右にある切りかきに指を添え、手前に引きながら下方に開きます。

「メニュー」を押し、メニュー画面を表示させます。

これ以降、
この取扱説明書では、

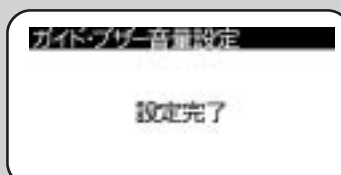
マークで説明します。

1 扉内の ▲ ▼ で「リモコン」を選択し、決定 を押す。
●反転表示が右側に移動します。

決定 の代わりに、▶ を押しても、反転表示が右側に移動します。

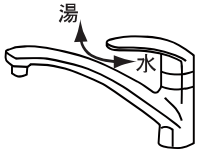
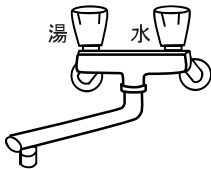
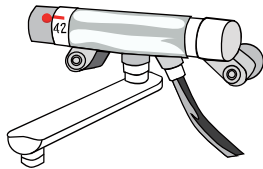
2 ▲ ▼ で、「ガイド・ブザー音量設定」を選択し、決定 を押す。
●ガイド・ブザー音量の設定画面になります。

戻る または、◀ ボタンを押すと、反転表示を左側に戻すことができます

3 ▲ ▼ で、「音量」を合わせ、決定 を押す。
●「設定完了」画面になります。

戻る を押すと、メニュー一覧の画面に戻ることができます

4 ●3秒後に自動で「標準画面」に戻ります。

「標準画面」

メニュー を押すと、3秒待たずに「標準画面」に戻ります。
ただし、操作途中で メニュー を押すと、設定を中断して「標準画面」に戻ります。

5 扉を閉めます。

ご注意
扉を開閉するときは、リモコン本体と扉の隙間に指を挟まないようにご注意ください。特に小さいお子様には充分ご注意ください。

混合水栓（蛇口）について

■混合水栓（蛇口）の種類

●給湯機を安全、便利にご使用いただくためには、各給湯個所に取り付ける混合水栓（蛇口）も大切な役割があります。
ご家庭で一般的にお使いになる混合水栓には下表のような種類があります。特徴をよく理解し安全に使用してください。

	シングルレバー	ツーハンドル	サーモスタット付
外観			
概要	レバーを左右に操作して温度調節を、レバーを上下に操作して流量の調節を行います。	お湯側、水側それぞれのハンドルを操作してお湯の温度や流量を調節します。	混合水栓部で温度の設定ができます。シングルレバー、ツーハンドルに比べ温度の変化が少なくなります。

●シングルレバーの混合水栓は、出湯、停止、温度や流量の調節が簡単にできるので、台所やシャンプー機能のない洗面所に向いています。

●サーモスタット付混合水栓は、おふろやシャンプー機能付の洗面台で使用されています。サーモスタット付混合水栓は、出湯温度が安定しやすく、より安全にお湯をご使用いただけます。シャワーはお湯を直接、からだや頭にかけますので、誤って熱い湯が出ると大変危険です。サーモスタット付混合水栓のご使用をおすすめします。

お知らせ

サーモスタット付混合水栓を使用する場合は、リモコンの給湯温度を混合水栓の設定温度より約10℃高くしてください。低いと混合水栓で設定した湯温にならないことがあります。

■混合水栓（蛇口）の上手な使い方

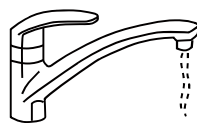
レバー、ハンドルの開閉は水側からゆっくりと

●他の場所から給湯温度を変更している場合もあります。混合水栓を開く時は、水側から開き湯温を確かめながらお湯を出します。

●給湯中に設定温度を変えたり、給湯量（混合水栓の開き具合）を変えたときや、一旦給湯を止めたあと短時間の内に再度使用する場合、設定温度になるまでにしばらく時間がかかります。

適度な流量で使用する

●流量が少ないと

流量が極端に少ないと、温度が不安定になったり水が出たりします。

●流量が多いと

一度に大量にお湯を出したり、シャワーと台所などを同時に使用すると、温度が低くなることがあります。
その場合は混合水栓を少し閉めてください。

+
⚠警告

給湯時は混合水栓のハンドル以外に手をふれない

やけど注意

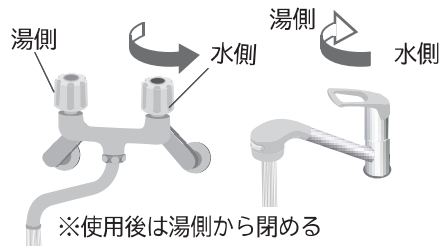
●高温の湯の使用時および使用直後は混合水栓が熱くなっています。
やけどにご注意ください。

⚠注意

湯水混合水栓は水から開く

やけど注意

●まず水側を開いてから湯側を徐々に開いて適温にしてください。
湯側だけ開くと、高温の湯が出たり、飛び散ったりする場合があり、非常に危険です。

ツーハンドルの場合　シングルレバーの場合

※使用後は湯側から閉める

はじめてお使いのときに（必ず確認しましょう）

1 使用できる状態かを確認します。

1 貯湯ユニットのタンク専用止水栓は「開」になっていますか？ ➔P.16

2 200V電源ブレーカーの電源スイッチは「ON」になっていますか？ ➔P.16

3 貯湯ユニットの漏電遮断器のスイッチは「ON」になっていますか？ ➔P.15

2 台所リモコンの表示画面は点灯していますか？

- 点灯していないときは 給湯温度 ボタンを押してみてください。
- それでも点灯しない場合は、お買い上げの販売店または工事店にご確認ください。
- 表示画面が見にくい場合は、コントラスト設定をしてください。 ➔P.12

3 時刻は合っていますか？

- 合っていなければ「一括設定」で時刻の他、必要項目のすべてを確認・設定してください。 ➔P.21
- 「一括設定」ができたら 4 に進みます。

4 残湯量の表示を確認します。

- 残湯量表示が [残湯量表示] より多い場合は、お湯を使うことができます。 ※残湯量の見かた。 ➔P.14

- 残湯量表示が [残湯量表示] ような場合は、次の確認をしてください。

A 「沸き増し」が表示されている場合

- [残湯量表示] が表示されるまでお待ちください。**（約60分～120分）**

B 「沸き増し」が表示されていない場合

- ボタンを押す。

▼

[残湯量表示] が表示されたらお湯を使うことができます。

※残湯量の見かた。 ➔P.14

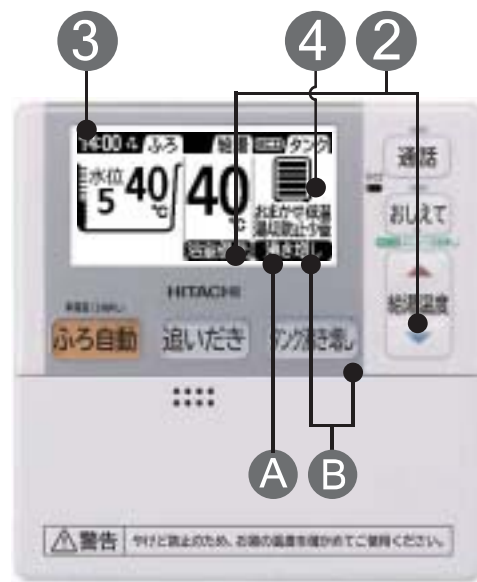
お願い

- タンク専用止水栓が「閉」になっている場合や、電源が「OFF」になっている場合は、お買い上げの販売店または工事店に「電源を「ON」にすれば使用できるか。」「タンク専用止水栓を「開」にすれば使用できるか。」をお問い合わせいただき、使用できることを確認してください。
- 使用できない場合は、お買い上げの販売店または工事店に作業をご依頼ください。
  ※作業は有償になることがあります。

表示画面について

各リモコンは、約30秒以上ボタン操作をしないと自動的にバックライトが消えます。
再度ボタンを押すことで、バックライトが再点灯します。

ご注意　時刻表示について

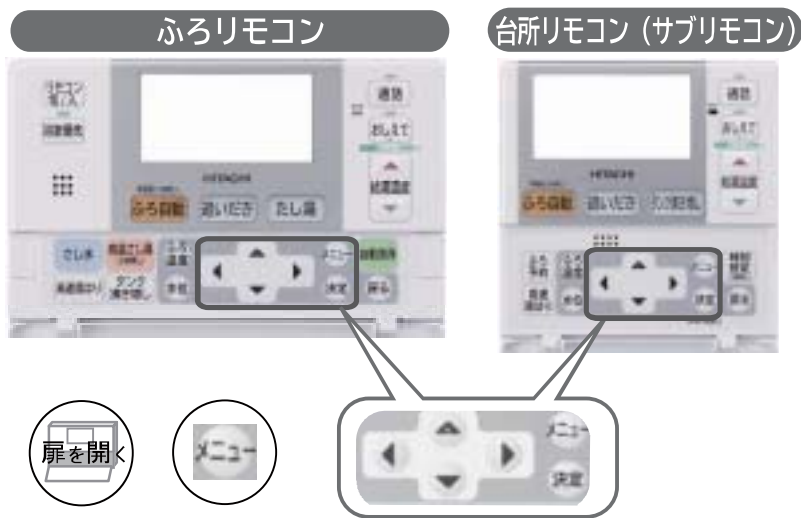
時刻があっていないと、電気料金が割高になる場合があります。確認をお願いします。

台所リモコン

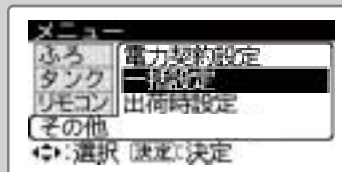
音声ガイドについて

音声ガイドは、「しんせつ」「標準」「切」の３つのモードがあり、モードにより音声ガイドの内容が異なります。
本説明書は「しんせつ」モードで説明しています。 ➔P.60

一括設定（使い始めに必要な設定を一括で行います）

■現在時刻・日付、電力契約の種類など、お使いはじめに必要な設定を一括で設定します。

- 台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンどちらでも設定できます。
- このページでは、「一括設定」で行う各設定の流れを説明します。各設定の詳細説明は、それぞれの説明ページをご覧ください。
- 設定項目
  ①電力契約設定　②沸き上げ設定
  ③湯切れ防止設定　④節約設定
  ⑤ふろ保温時間　⑥音声ガイド
  ⑦ガイド・ブザー音量　⑧日付設定
  ⑨時刻設定
- その他の設定について
  給湯温度やふろ温度の設定は、給湯機をお使いになりながら、適切な設定を行ってください。

 で、「その他」「一括設定」を選択し、決定 を押す。

- 「電力契約設定」の入力画面になります。

1

▲▼ で、「契約番号」をあわせ、決定 を押す。

- 「沸き上げ設定」の入力画面になります。

→P.56

電力契約設定
契約番号: 04
:設定 決定:決定

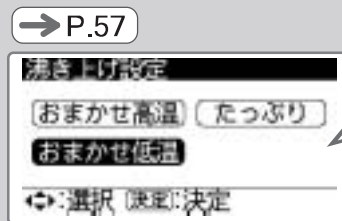
- 電力会社との契約内容にあった番号を入力してください。正しく設定されていない場合電力料金が割高になる場合があります。設定する番号は、日立固有の番号です。

2

 で、「沸き上げモード」をあわせ、決定 を押す。

- 「湯切れ防止」の入力画面になります。

→P.57

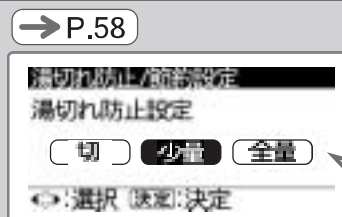
沸き上げ設定
おまかせ高温　たっぷり
おまかせ低温
:選択 決定:決定

- タンク沸き上げモードを設定します。
- お使いはじめは「おまかせ低温」に設定し、しばらくの間ご使用ください。１週間のご使用状況を学習しながら、適切なお湯の量を自動で沸き上げます。湯切れが発生したり、お湯が残ってしまった場合には、設定を変更してください。

3

 で、「沸き上げ量」をあわせ、決定 を押す。

- 「節約設定」の入力画面になります。

→P.58

湯切れ防止/節約設定
湯切れ防止設定
切　少量　全量
:選択 決定:決定

- お湯が少なくなった場合に昼間沸き上げるお湯の量を設定します。
- 使用状況により「沸き上げ設定」とあわせて設定内容を見直してください。

で、「時間」をあわせ、

決定 を押す。

●「ふろ保温時間」の入力画面になります。

P.58

湯切れ防止/節約設定
節約設定
深夜時間帯までの 0 時間
は沸き上げしない
⇕:設定 決定:決定

●深夜時間帯に入る前にお湯をあまり使わない場合は、節約のため「沸き上げしない時間」を設定します。
●深夜時間帯直前もお湯を使う場合は、0時間に設定してください。

で、「時間」をあわせ、

決定 を押す。

●「音声ガイド」の入力画面になります。

P.59

ふろ保温時間設定

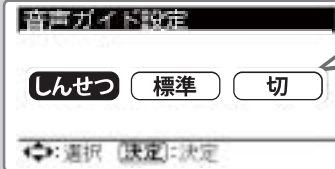
⇕:設定 決定:決定

●お湯はり終了後の保温時間です。節約のため、入浴が終わっても保温していることが無いよう、適切な時間を設定してください。
●保温する必要がない場合は、0時間に設定してください。

で、「音声ガイド」をあわせ、決定 を押す。

●「ガイド・ブザー音量」の入力画面になります。

P.60

音声ガイド設定
しんせつ 標準 切
⇔:選択 決定:決定

●「しんせつ」に設定すると、給湯機の動作状態やリモコンの操作方法をアナウンスします。
●お使いはじめは「しんせつ」に設定していただくと便利です。

で、「ガイド・ブザー音量」をあわせ、決定 を押す。

●「日付設定」の入力画面になります。

P.60

⇕:設定 決定:決定

●選択した音量にあわせて「音量○○です」とアナウンスしますので、聞き取りやすい音量に設定してください。

で、「年」「月」「日」を選択

で、それぞれをあわせ、

決定 を押す。

●「時刻設定」の入力画面になります。

P.61

日付/時刻設定
日付設定
2010年 10月 10日
⇔:選択 ⇕:設定 決定:決定

●今日の年月日を合わせてください。

9

で、「時」「分」を選択

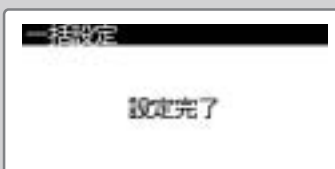
で、それぞれをあわせ、

決定 を押す。

●「設定完了」画面が表示されます。
●自動で「標準画面」に戻ります。

P.61

日付/時刻設定
時刻設定
10:00
⇔:選択 ⇕:設定 決定:決定

一括設定
設定完了

お知らせ

●給湯温度やふろ温度の設定は、給湯機をお使いになりながら、適切な設定を行ってください。

お湯を使う・給湯温度の確認・設定

■台所・洗面所でお湯を使う

1 「給湯温度」表示を確認する。

●適温であれば、4 に進みます。

●温度を変更する場合は、2 へ進みます。

2 「浴室優先」表示を確認する。

●「浴室優先」が表示されていなければ変更できます。 3 に進みます。

●「浴室優先」が表示されている場合は、ふろリモコンで「浴室優先」を解除します。（表示を消します）➔P.24

3 給湯温度 を押し、適切な温度に設定する。

●温度表示は、下に示したように設定できます。

低温	35℃････48℃	50℃	55℃	60℃
（水温）	（1℃刻み）			

■50℃・55℃・60℃に設定した場合

●やけどに注意していただくため、下のような音声でお知らせします。

音声 給湯温度を設定しました。熱いお湯が出ます。ご注意ください。

●60℃に設定した場合は、下のような表示でもお知らせします。

4 混合水栓（蛇口）を開く。

●水側を開いてから、湯側を徐々に開いて適温にします。お湯側から開くと急に熱いお湯がでたり、飛び散ることがあります。

ツーハンドルの場合　シングルレバーの場合

湯側　水側　湯側　水側

※使用後は湯側から閉める

■チャイルドロック設定

扉を開く

■ふろリモコンの操作を禁止する機能です。

■設定する

決定 を画面が変わるまで（3秒）押す。

1 「ロック入」画面が表示されます。

●自動で「標準画面」に戻ります。

2 「標準画面」に ロックアイコン が表示されます。

●「浴室優先」が設定されていた場合は解除されます。

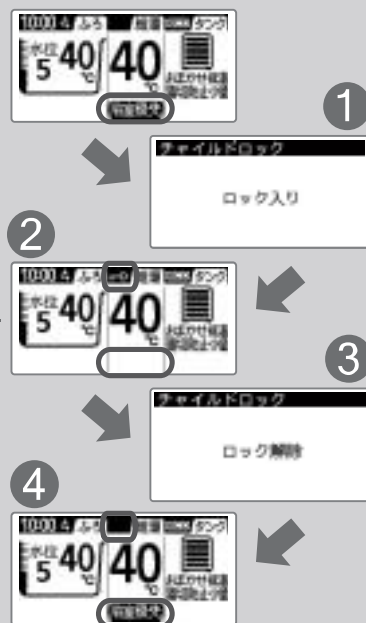
■解除する

決定 を画面が変わるまで（3秒）押す。

3 「ロック解除」画面が表示されます。

●自動で「標準画面」に戻ります。

4 「標準画面」から ロックアイコン の表示が消えます。

●「浴室優先」が設定されていた場合は、「浴室優先」が再設定されます。

ご注意

●「浴室優先」が表示されていない場合の給湯温度変更は、浴室でシャワーを使っていないことを確認してからおこなってください。

お知らせ

●台所リモコン（サブリモコン）で給湯温度を変更する時に、「浴室優先」が設定されていると次のような表示でお知らせします。

●「チャイルドロック」設定中に給湯温度を変更する場合は、浴室でシャワーを使っていないことを確認してからおこなってください。

シャワーを使う・「浴室優先」設定

■浴室・洗面所でお湯を使う

1 「浴室優先」表示を確認する。

- 「浴室優先」が表示（ボタン点灯）されていれば、 2 に進みます。
- 「浴室優先」が表示されていない場合は、「浴室優先」を設定します。（表示させる）

2 「給湯温度」表示を確認する。

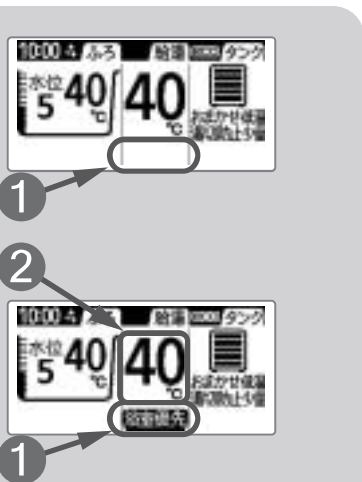
- 適温であれば、 4 に進みます。
- 温度を変更する場合は、 3 へ進みます。

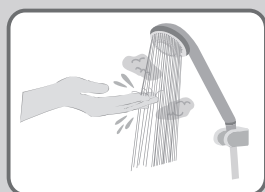
3

を押し、適切な温度に設定する。

- 設定できる温度、温度表示は、台所リモコンと同じです。 ➔P.23

4 シャワーを出す。

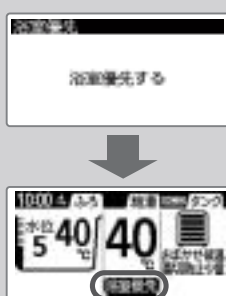
- 熱いお湯が出ることがあります。シャワーは指先にかけながら開き、お湯の温度を確かめてからお使いください。

ご注意

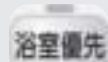
- シャワー使用時は、安全のため、必ず「浴室優先」にしてください。シャワー使用中に台所リモコン（サブリモコン）で給湯温度を変更されることを防ぎます。

■浴室優先設定

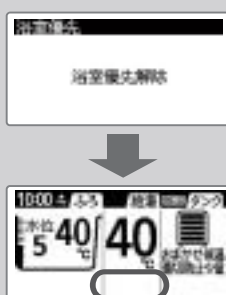
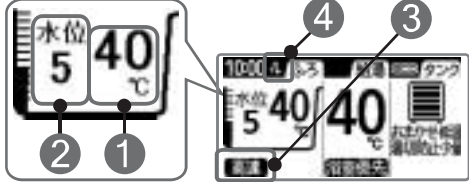
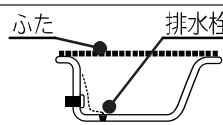
■台所リモコン（サブリモコン）の給湯温度変更を禁止する機能です。

■設定する

浴室優先 を押し、ランプを点灯させる。

- 「浴室優先」が表示されます。

■解除する

浴室優先 を押し、ランプを消灯させる。

浴室優先

- 「浴室優先」の表示が消えます。

お知らせ

- ふろリモコンを操作した時に、「チャイルドロック」が設定されていると次のような表示でお知らせします。

チャイルドロック中

- 「浴室優先」設定中でも、「チャイルドロック」を設定すると、台所リモコン（サブリモコン）で給湯温度が変更できます。ご注意ください。
- ふろリモコンを「切」にした場合、「浴室優先」が解除されます。浴室でシャワーなどをお使いになる場合は、ふろリモコンを「入」にしてご使用ください。

おふろの使い方・湯はりから入浴までの手順

		手　　順	頁
準備	「ふろ設定」を確認します。	❶ ふろ温度の確認 ❷ ふろ水位の確認 ❸ 高速湯はりの確認 ❹ 自動洗浄の確認 ※はじめてお使いの時は、「保温時間」「保温機能」を設定します。➔P.59	➔P.26
準備	浴そうを確認します。	●浴そうの排水栓をし、ふたを閉じます ふた　排水栓	
ふろ自動運転／ふろ湯はり	湯はり開始	ふろ自動 ふろ自動は「自動湯はり」と「高速湯はり」があります。 自動湯はり・・・水位を自動で確認しながら、設定された水位まで湯はりします。残り湯からでも湯はりできます。 高速湯はり・・・設定された水位に応じた湯量で湯はりします。自動湯はりに比べ約３分早く湯はりできます。残り湯からの湯はりはできません	
ふろ自動運転／ふろ湯はり	湯はり中	●リモコンに「湯はり」が点灯 ※湯はり中は熱い湯が出ることがあるため入浴しないでください	
ふろ自動運転／ふろ湯はり	湯はり完了	●湯はり完了をリモコンの表示と音声でお知らせします。 ※ふろの湯かげんを確認してから入浴してください	➔P.27 ➔P.28
ふろ自動運転／保温	入浴中	●お湯の温度と水位を自動で保ちます お湯が冷めると・・・自動で追いだきをして設定温度まで温めます。 お湯が減ると・・・・・・自動でたし湯をして設定水位まで湯量を増やします。 ※入浴中「ふろ自動」を継続させてください。 ※保温をするには「ふろ設定」で保温時間を設定します。➔P.59	
ふろ自動運転終了	入浴の終了	●入浴が終わったらふろ自動運転を終了させます。 （ふろ自動運転中はタンクのお湯が使われています） ※設定した保温時間が経過するとふろ自動運転は自動的に終了します。 ※冬季は凍結防止運転を行うため残り湯は残しておいてください。 ➔P.48	
入浴後	凍結防止	●冬季は凍結防止運転を行うため、外気温が上がるまで残り湯は残しておきます。	➔P.48
入浴後	配管洗浄	●「自動洗浄」を設定しておくと、排水時に配管の洗浄を自動的に行います。	➔P.26

■入浴中にできること（湯はり中は操作できません）

追いだき	●湯量はそのままで、温度を高くします。	➔P.29
たし湯	●設定されたふろ温度の湯を約 20Ｌ足し、湯量を増やします。	➔P.30
さし水	●水を約 15Ｌ足し、温度を下げます。	➔P.31
高温さし湯	●高温のお湯を約 20Ｌ足し、湯量を増やし温度を上げます。	➔P.32

おふろの設定（ふろ温度／水位／高速湯はり／自動洗浄）

■「ふろ自動運転（自動湯はり）」を行う前に「温度」「水位」「高速湯はり」「自動洗浄」の確認と設定を行います。

●「高速湯はり」が設定されていると「ふろ自動」の湯はり時間が約３分間短縮され、「自動洗浄」が設定されていると浴そうのお湯を排水する際に配管の自動洗浄を行います。

※保温時間と保温機能はあらかじめ設定を済ませておいてください。（➔P.55）

■「ふろ温度」（扉を開く）

1 ふろ温度 を押す。

●「ふろ温度」が反転表示します。

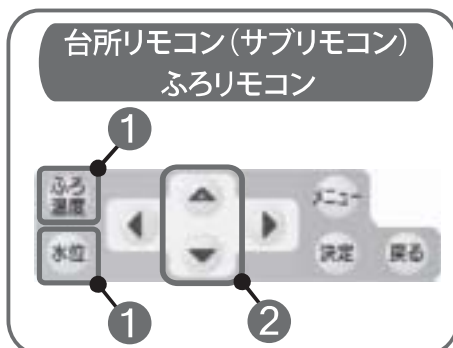
2 ▲▼ で設定する。

●数秒後、「ふろ温度」の反転表示が解除されます。

※変更しない場合は、そのまま「決定」ボタンを押してください。

●設定できる温度範囲は、次の通りです。
・低温（水温）
・35℃･･･48℃(1℃刻み)

台所リモコン(サブリモコン)
ふろリモコン

■「水位」（扉を開く）

1 水位 を押す。

●「水位」が反転表示します。

2 ▲▼ で設定する。

●数秒後、「水位」の反転表示が解除されます。

※変更しない場合は、そのまま「決定」ボタンを押してください。

●水位は、「1」から「12」の範囲で約3cm 刻みで設定できます。

■「高速湯はり」を設定する（扉を開く）

■設定する

高速湯はり または、高速湯はり を押す。

●「標準画面」に 高速 が表示されます。

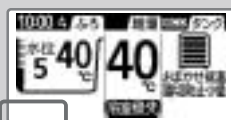
●「ふろ自動運転」時は、設定された水位に応じた湯量を定量で湯はりします。

●「自動湯はり」に比べ、約３分早く湯はりできます。

■解除する

高速湯はり または、高速湯はり を押す。

●「標準画面」から 高速 の表示が消えます。

●湯はりの時に「自動湯はり」になります。

■「自動洗浄」を設定する（扉を開く）

■設定する

自動洗浄 を押す。

●「標準画面」に ✦ が表示されます。

●浴そうの排水時に配管の自動洗浄を行います。

ふろリモコン

■解除する

自動洗浄 を押す。

●「標準画面」から ✦ の表示が消えます。

●浴そうの排水時に配管の自動洗浄は行いません。

ふろ自動運転のしかた（ふろの湯はり）

●台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンの両方で操作できます。
●ふろ自動には「自動湯はり」と「高速湯はり」の２種類の湯はり方法があります。
●「自動湯はり」と「高速湯はり」の設定は ➔P.26「高速湯はりの設定」をご参照ください。
●「ふろ自動」ボタンを押すだけで、あらかじめ設定した温度、水位、湯はり方法で湯はりを行います。
●「保温時間設定」「保温機能設定」が設定してあれば、湯はり終了後に設定された時間まで、保温（自動追いだき）と、自動たし湯を行います。➔P.59
●給湯中はふろ機能を一時的に中断する場合があります。➔P.36

台所リモコン（サブリモコン）

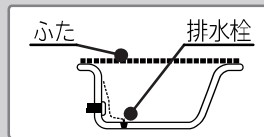
ふろリモコン

湯はり方法の確認・設定

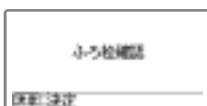
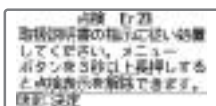
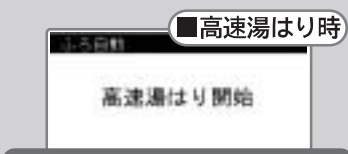
「自動湯はり」「高速湯はり」を選択する。➔P.26

●残り湯がある場合は、「自動湯はり」に設定してください。（「高速」の表示を消す）
●「高速湯はり」にする場合は、必ず浴そうのお湯をすべて排水してください。

おふろの準備

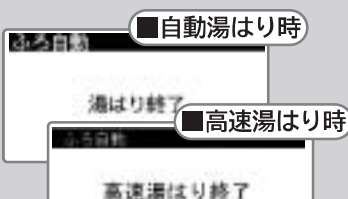
浴そうの排水栓を閉じ、ふたをする。

湯はり開始

ふろ自動 を押し、ボタンを点灯させる。

●自動運転で湯はりが開始され、文字と音声でお知らせします。
●湯はり中は「標準画面」に「湯はり」が表示されます。
●浴そうの排水栓を閉じ忘れた場合は、下記の点検表示が表示されます。➔P.65

（自動湯はり時）

（高速湯はり時）

湯はり終了

●設定した湯はり温度、湯はり水位になるとふろ湯はりを終了し、表示と音声でお知らせします。

ご注意

●据付工事直後の最初の湯はりは浴そうの形状の再確認を行うため、湯はり時間が長くなります。また、残り湯がある場合は「自動湯はり」「高速湯はり」はできません。
●残り湯がある場合は、「高速湯はり」を行わないでください。
●残り湯の量がふろ循環アダプターより上にある場合に「高速湯はり」を行うと、自動的に水量を確認する「自動湯はり」に切り替わります。
●残り湯の量がふろ循環アダプターより下の場合に「高速湯はり」を行うと、湯はり終了前にあふれることがありますのでご注意ください。

お知らせ

●お湯のご使用状況により、湯はり時間が長くなったり、湯はりが中断・停止することがありますが、異常ではありません。
●湯はり中にシャワーや台所などでお湯を使うと、一時的に湯はりを中断することがあります。
●「自動湯はり」はふろの温度や水位を確認するために一時的に湯はりを中断することがあります。
●タンク内の温度が低い場合、残湯量があっても設定水位・温度にならない場合があります。その時は、音声でお知らせします。「タンク沸き増し」をしてください。

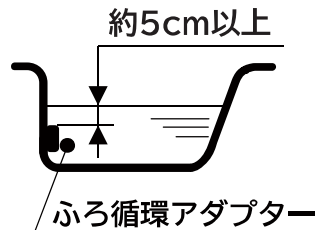
お知らせ ふろ水位について

●夏季など水温が高い時に、ふろの設定温度、設定水位を低くして湯はりを行うと、設定水位より高い水位となる場合がありますが異常ではありません。

お知らせ 残り湯からの湯はりについて

- ●「湯切れ防止」設定中に、残り湯から「ふろ自動」や「追いだき」を開始すると、残湯量が充分あってもタンクの沸き上げを開始することがあります。
- ●タンク内の温度が低くなり、途中で湯はりが停止する場合があります。
- ●冬季、前日の残り湯からの沸かし直しは、タンクのお湯をたくさん使う（湯温が下がる）ので湯切れの原因になる場合があります。また、湯はり中にタンク内の温度が低くなり、途中で湯はりが停止する場合があります。
  残り湯を完全に抜いて湯はりをしてください。
- ●残り湯の水位がふろ循環アダプターの上端位置付近にある場合は、正常に湯はりが動作しないことがあります。
  このような場合は、お湯を少し抜いてください。

お願い 冬季の排水について ➔P.48

●冬季は、凍結防止のため残り湯をふろ循環アダプター上端より5cm以上残しておいてください。外気の温度が下がると、ふろ配管に浴そうの湯を自動で循環させて凍結を防止します。

お知らせ

●冬季は凍結防止運転が動作するため、ふろ自動運転の終了後に入浴すると、ふろ循環アダプターから冷めたお湯が出てくる場合があります。入浴する場合は、再度ふろ自動運転をおこなってください。

保温・たし湯

- ●「保温時間設定」が設定してあれば、湯はり終了後に、設定された時間まで、保温（自動追いだき）と、自動たし湯を行います。
- ●残りの保温時間が表示されます。

- ●保温中は、残り時間を表示でお知らせします。

※お買い上げ時の保温時間設定は2時間、保温機能設定は、温度・水位です。

ご注意

●「保温中」に浴そうのお湯がふろ循環アダプター付近まで下がった場合「ふろ栓確認」が表示されることがあります。 ➔P.65

途中で止めたいとき

ふろ自動 を押し、ボタンを消灯させる。

■こんな時には、途中で止めてください。

- ●全員の入浴が終了した時
- ●しばらくの間入浴する人がいない時

ふろ自動
運転中止

お願い

●ふろ自動運転中は、おふろの温度が下がると、自動で「追いだき」をします。ふろ保温時間を短めに設定するとともに、おふろを使い終わった後は、ふろ自動運転を解除してください。

排水

浴そうの排水栓を開いて排水をします。

- ●「自動洗浄」が設定されている場合は、排水時に配管の自動洗浄を行います。
- ●「自動洗浄」は、約８Ｌの給水を使用します。

お知らせ

●ふろ自動運転終了後、浴そうのお湯を使用し、ふろ循環アダプター付近までお湯が減ると、自動洗浄が動作する場合がありますが、異常ではありません。

⚠警告

やけど注意

湯はり中に入浴しない

●高温の湯が出て、やけどをすることがあります。

入浴時は、ふろ循環アダプターから離れる

●「ふろ自動」「追いだき」「高温さし湯」の時に高温の湯が出て、やけどすることがあります。

自動洗浄中に浴そうに入らない

●高温の湯が出て、やけどをすることがあります。

入浴中にできること・追いだき／たし湯

■おふろに入っているときに、ふろリモコンでできること

●電気料金を節約するために、エコキュートのしくみをご理解いただき、正しくお使いください。

台所リモコン（サブリモコン）

ふろリモコン

●ふろ自動運転中や、ふろリモコンの「追いだき」ボタンを押して追いだきを開始すると、冷めたおふろのお湯をタンク上部の「追いだき熱交換器」に通してお湯を温めます。

※「追いだき」をすると、タンク内のお湯は熱を奪われて温度が下がるため、残湯量が少なくなり使用できるお湯の量が少なくなります。

■追いだきをする

■湯量はそのままで、あついおふろに入りたいとき、冷めたおふろを温め直したいときに使用します。

追いだき を押す。

●追いだきを開始します。

●追いだき中は画面に「追いだき」が表示されます。

●追いだきには、ふろ循環アダプター上端以上の水位が必要です。

ふろ循環アダプター

●おふろの温度が、ふろ温度設定より低い場合、設定温度まで追いだきして自動停止します。

●おふろの温度が、ふろ温度設定以上の場合、約 2℃湯温が上昇するよう追いだきして、自動停止します。

途中でとめたいとき

追いだき を押す。

音声 追いだきを中止します

お知らせ

●タンク内の温度が低い場合、残湯量の表示があっても、追いだきができなかったり、途中で追いだきを停止することがあります。
追いだきを多く使用される場合は「湯切れ防止」の設定をおすすめします。

上手にお使いいただくためのポイント

■長時間の追いだきは控えめに

●特に冬季、前日の残り湯の沸かし直しは、タンクのお湯をたくさん使うので湯切れしやすくなります。ふろ温度と残り湯の温度差が大きい場合は、浴そうの湯を完全に抜いて湯はりをしてください。

■ふろ保温時間の設定は短めに

●ふろ自動運転中は、おふろの温度が下がると自動で追いだきをします。ふろ保温時間は短めに設定するとともに、おふろを使い終わった後は、ふろ自動運転を解除してください。

■追いだきをするときのタンク設定は

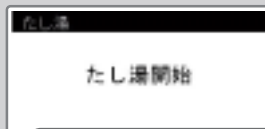
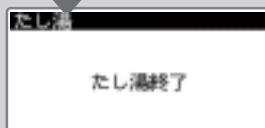
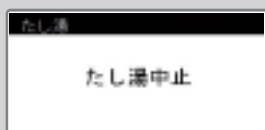
●「追いだき」するときは、タンクの中に 60℃以上の熱いお湯がないと、リモコンの残湯量の表示が点灯していても追いだきに時間がかかったり、追いだきできないことがあります。追いだきをするときの沸き上げ設定は「おまかせ・高温」をおすすめします。
（リモコンの残湯量表示は、約 45℃以上のお湯の量を表示します）

■たし湯をする

■お湯の量を増やしたいときに使用します。湯はり温度のお湯を約 20L 足します。
●ふろリモコンで操作します。

を押す。

●運転を開始します。

●たし湯中は画面に「たし湯」が表示されます。

途中でとめたいとき

を押す。

お知らせ

●「追いだき」「たし湯」動作開始後しばらくは、配管に残っている水が出ます。
●ふろ循環アダプターから、泡や音が出ることがありますが正常な動作です。
●「たし湯」中にシャワーや台所などでお湯を使うと、「たし湯」に時間がかかったり一時的に中断することがあります。
➔P.34
●シャワーや台所などでお湯を使用しているときは、「たし湯」に時間がかかったり、一時的に中断することがあります。
➔P.37

⚠警告

入浴時は、ふろ循環アダプターから離れる

やけど注意

●「追いだき」「たし湯」動作中に高温の湯が出て、やけどすることがあります。また、「さし水」動作中は冷たい水が出ます。

ふろ循環アダプター

入浴中にできること（続き）・さし水／高温さ

■おふろに入っているときに、ふろリモコンでできること

ふろリモコン

お知らせ

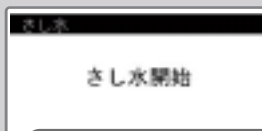
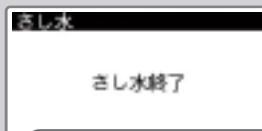
●「さし水」動作開始後、配管に残っている熱いお湯が出る場合があります。
●シャワーや台所などでお湯を使用している時は、「さし水」ができない場合があります。その場合は、給湯終了後に「さし水」を行います。➔P.38
●「さし水」中にシャワーや台所などでお湯を使うと一時的に「さし水」を中断します。➔P.35
●ふろ循環アダプターから、泡や音が出ることがありますが正常な動作です。

■さし水をする

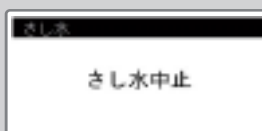
■おふろの温度を下げたいときに使用します。約15Lの水をおふろに足します。

さし水 を押す。

●運転を開始します。

●さし水中は画面に「さし水」が表示されます。

ご注意

●「さし水」動作開始後、配管に残っている熱いお湯が出る場合があります。

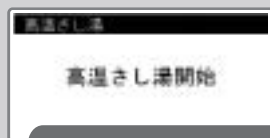
途中でとめたいとき

を押す。

■高温さし湯をする

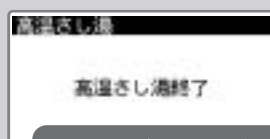
高温のお湯を足しておふろの温度を上げます。約60℃のお湯を約20L 足します。

を画面が変わるまで長押しする。

●高温さし湯を開始します。

●高温さし湯中は画面に「高温さし湯」と表示されます。

途中でとめたいとき

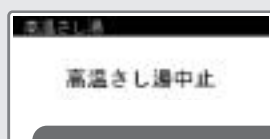
を押す。

●画面の「高温さし湯」の表示が消えます。

お知らせ

●「高温さし湯」動作開始後しばらくは、配管に残っている水が出ます。

●シャワーや台所などでお湯を使用している時は、「高温さし湯」ができない場合があります。その場合は給湯終了後に「高温さし湯」を行います。➔P.38

●タンクのお湯の温度が低い場合、設定より低い温度になることがあります。また、残湯量表示が点灯していても、「高温さし湯」が動作しなかったり、「高温さし湯」が途中で停止したりすることがあります。

●「高温さし湯」中にシャワーや台所などでお湯を使うと一時的に「高温さし湯」を中断します。➔P.35

●ふろ循環アダプターから、泡や音が出ることがありますが正常な動作です。

⚠警告

入浴時は、ふろ循環アダプターから離れる

●「高温さし湯」動作中に高温の湯が出て、やけどすることがあります。また、「さし水」動作中は冷たい水が出ます。

湯はり中にお湯を使う

■湯はり中にシャワーや混合水栓でお湯を使う

■給湯と湯はりを同時におこなうとき

給湯設定温度がふろ設定温度より1℃高い場合
給湯設定温度とふろ設定温度が同じ場合
給湯設定温度がふろ設定温度より1～2℃低い場合

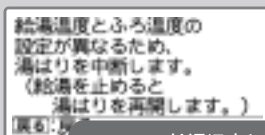
●湯はり中は「標準画面」に「湯はり」が表示されます。
●給湯温度とふろ温度の設定温度の差が小さいときは、給湯と「湯はり」を同時におこないます。このとき「湯はり」は給湯設定温度でおこないます。

お知らせ

●「湯はり」中にお湯を使うと、「湯はり」時間が長くなったり、「湯はり」が一時的に中断することがありますが、異常ではありません。
●「湯はり」中にシャワーや台所などでお湯を使うと、湯温や流量がばらつくことがあります。

給湯設定温度とふろ設定温度が上記以外の場合

●湯はり中は「標準画面」に「湯はり」が表示されます。

●給湯温度とふろ温度の設定温度差が大きいときは、一時的に「湯はり」を中断し、文字と音声でお知らせします。

給湯温度とふろ温度の
設定が異なるため、
湯はりを中断します。
（給湯を止めると
湯はりを再開します。）

音声　給湯温度とふろ温度の設定が異なるため、お湯はりを中断します。

●給湯中（湯はり中断中）は画面に「給湯優先」が表示されます。

●給湯が終了すると「給湯優先」の表示が消えて「湯はり」を再開します。

お知らせ

●「湯はり」中断の表示は下記のいずれかで標準画面に戻ります。
・「戻る」ボタンを押す。
・給湯を終了する。
・表示後 30 秒経過する。

■たし湯中にシャワーや混合水栓でお湯を使う

■給湯とたし湯を同時におこなうとき

給湯設定温度がふろ設定温度より1℃高い場合
給湯設定温度とふろ設定温度が同じ場合
給湯設定温度がふろ設定温度より1～2℃低い場合

●たし湯中は「標準画面」に「たし湯」が表示されます。
●給湯温度とふろ温度の設定温度の差が小さいときは、給湯とたし湯を同時におこないます。このとき「たし湯」は給湯設定温度でおこないます。

給湯設定温度とふろ設定温度が上記以外の場合

●たし湯中は「標準画面」に「たし湯」が表示されます。

●給湯温度とふろ温度の設定温度の差が大きいときは、一時的に「たし湯」を中断します。

●給湯中（たし湯中断中）は画面に「給湯優先」が表示されます。

●給湯が終了すると「給湯優先」の表示が消えて「たし湯」を再開します。

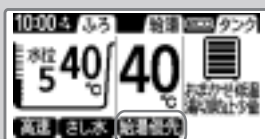
お知らせ

●「たし湯」中にシャワーや台所などでお湯を使うと、「たし湯」時間が長くなったり、「たし湯」が一時的に中断することがありますが、異常ではありません。
●「たし湯」中にシャワーや台所などでお湯を使うと、湯温や流量がばらつくことがあります。

湯はり中にお湯を使う(続き)

■さし水中にシャワーや混合水栓でお湯を使う

■給湯とさし水を同時におこなうとき

●さし水中は「標準画面」に「さし水」が表示されます。

●給湯設定温度が「低温」のときは、給湯と「さし水」が同時にできます。
●給湯設定温度が「低温」以外のときは、一時的に「さし水」を中断します。
●給湯中(さし水中断中)は画面に「給湯優先」が表示されます。
●給湯が終了すると「給湯優先」の表示が消えて「さし水」を再開します。

お知らせ

●「さし水」中にシャワーや台所などでお湯を使うと、湯温や流量がばらつくことがあります。

■高温さし湯中にシャワーや混合水栓でお湯を使う

■給湯と高温さし湯を同時におこなうとき

●高温さし湯中は「標準画面」に「高温さし湯」が表示されます。

●給湯設定温度が「60℃」のときは、給湯と「高温さし湯」が同時にできます。
●給湯設定温度が「60℃」以外のときは、一時的に「高温さし湯」を中断します。
●給湯中(高温さし湯中断中)は画面に「給湯優先」が表示されます。
●給湯が終了すると「給湯優先」の表示が消えて「高温さし湯」を再開します。

お知らせ

●「高温さし湯」中にシャワーや台所などでお湯を使うと、湯温や流量がばらつくことがあります。

給湯中に湯はりする

■シャワーや混合水栓で給湯中に湯はりする

■給湯と湯はりを同時におこなうとき

給湯設定温度がふろ設定温度より１℃高い場合
給湯設定温度とふろ設定温度が同じ場合
給湯設定温度がふろ設定温度より1～2℃低い場合

●湯はり中は「標準画面」に「湯はり」が表示されます。

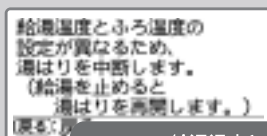
●給湯温度とふろ温度の設定温度の差が小さいときは、給湯と「湯はり」を同時におこないます。このとき「湯はり」は給湯設定温度でおこないます。

お知らせ

●給湯中に「湯はり」すると、湯はり時間が長くなったり、「湯はり」が一時的に中断することがありますが、異常ではありません。
●湯はり中にシャワーや台所などでお湯を使うと、湯温や流量がばらつくことがあります。

給湯設定温度とふろ設定温度が上記以外の場合

●湯はり中は「標準画面」に「湯はり」が表示されます。

●給湯温度とふろ温度の設定温度の差が大きいときは、一時的に「湯はり」を中断し、字と音声でお知らせします。

音声 給湯温度とふろ温度の設定が異なるため、お湯はりを中断します。

●給湯中（湯はり中断中）は画面に「給湯優先」が表示されます。

●給湯が終了すると「給湯優先」の表示が消えて「湯はり」を再開します。

お知らせ

●湯はり中断の表示は下記のいずれかで標準画面に戻ります。
・「戻る」ボタンを押す。
・給湯を終了する。
・表示後 30 秒経過する。

給湯中に湯はりする(続き)

■シャワーや混合水栓で給湯中にたし湯する

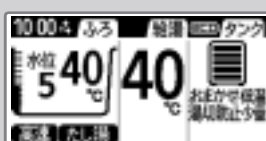
■給湯とたし湯を同時におこなうとき

給湯設定温度がふろ設定温度より1℃高い場合

給湯設定温度とふろ設定温度が同じ場合

給湯設定温度がふろ設定温度より1～2℃低い場合

●たし湯中は「標準画面」に「たし湯」が表示されます。

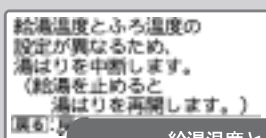
●給湯温度とふろ温度の設定温度の差が小さいときは、給湯と「たし湯」を同時におこないます。このとき「たし湯」は給湯設定温度でおこないます。

お知らせ

●たし湯中にシャワーや台所などでお湯を使うと、湯温や流量がばらつくことがあります。

給湯設定温度とふろ設定温度が上記以外の場合

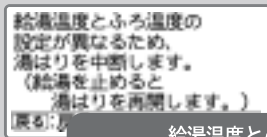
●たし湯中は「標準画面」に「たし湯」が表示されます。

●給湯温度とふろ温度の設定温度の差が大きいときは、一時的に「たし湯」を中断し、文字と音声でお知らせします。

●給湯中（たし湯中断中）は画面に「給湯優先」が表示されます。

●給湯が終了すると「給湯優先」の表示が消えて「たし湯」を再開します。

■シャワーや混合水栓で給湯中にさし水する

●さし水中は「標準画面」に「さし水」が表示されます。

●給湯温度が「低温」以外のときは、一時的に「さし水」を中断し、文字と音声でお知らせします。

音声
給湯温度とふろ温度の
設定が異なるため、
湯はりを中断します。

●給湯設定温度が「低温」のときは、給湯と「さし水」が同時にできます。
●給湯中（さし水中断中）は画面に「給湯優先」が表示されます。

●給湯が終了すると「給湯優先」の表示が消えて、「さし水」を再開します。

お知らせ

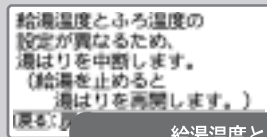
●「さし水」中にシャワーや台所などでお湯を使うと、湯温や流量がばらつくことがあります。

■シャワーや混合水栓で給湯中に高温さし湯する

■給湯と高温さし湯を同時におこなうとき

●高温さし湯中は「標準画面」に「高温さし湯」が表示されます。

●給湯温度が「60℃」以外のときは、一時的に「高温さし湯」を中断し、文字と音声でお知らせします。

給湯温度とふろ温度の
設定が異なるため、
湯はりを中断します。
（給湯を止めると
湯はりを再開します。）
戻る

音声
給湯温度とふろ温度の
設定が異なるため、
湯はりを中断します。

●給湯設定温度が「60℃」のときは、給湯と「高温さし湯」が同時にできます。
●給湯中（高温さし湯中断中）は画面に「給湯優先」が表示されます。

●給湯が終了すると「給湯優先」の表示が消えて、「高温さし湯」を再開します。

お知らせ

●「高温さし湯」中にシャワーや台所などでお湯を使うと、湯温や流量がばらつくことがあります。

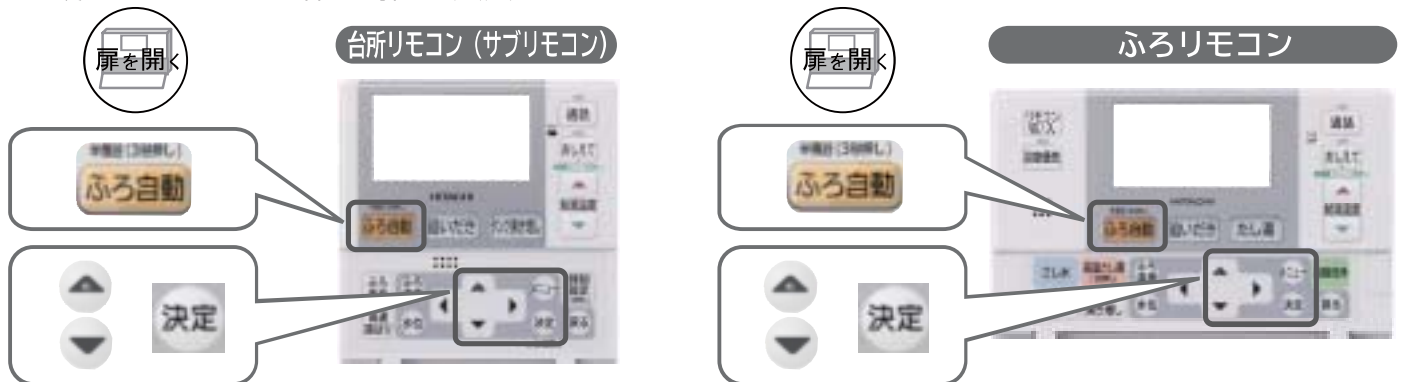
便利な機能（半身浴をする）

●半身浴モードは、自動で低温のお湯を少なめに湯はりします。湯はり時の水位は一定で、ふろ循環アダプターの上端から約 5cm 上をめやすに湯はりをします。湯はり後自動で３時間、追いだきをして保温を行います。なお、保温時間の変更はできません。

扉を開く

台所リモコン（サブリモコン）

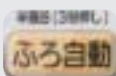
扉を開く

ふろリモコン

※下記は、温度 39℃に設定した例です。

おふろの準備

浴そうの湯をすべて抜いて、排水栓を閉じてふたをする。

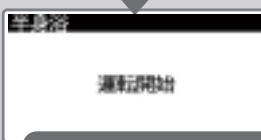
※残り湯からの半身浴湯はりはできません。

湯はり温度の設定

 を画面が変わるまで押しつづける。

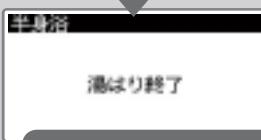
 を押し、「温度」を設定する。

湯はり開始

決定 を押す。

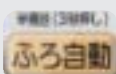
●半身浴の湯はりを開始します。

音声 半身浴 運転を開始します

湯はり終了

●湯はり後、３ 時間自動保温します。

湯はり終了

音声 おふろが沸きました

途中でとめたいとき

 を押す。

●半身浴運転を中止します。

●温度は、38℃～41℃の範囲で設定できます。
※お買い上げ時は38℃に設定されています。

●湯はり中は表示でお知らせします。

●湯はりの終了は、音声と表示でお知らせします。

●「保温中」表示は、湯はり終了から３時間点灯します。

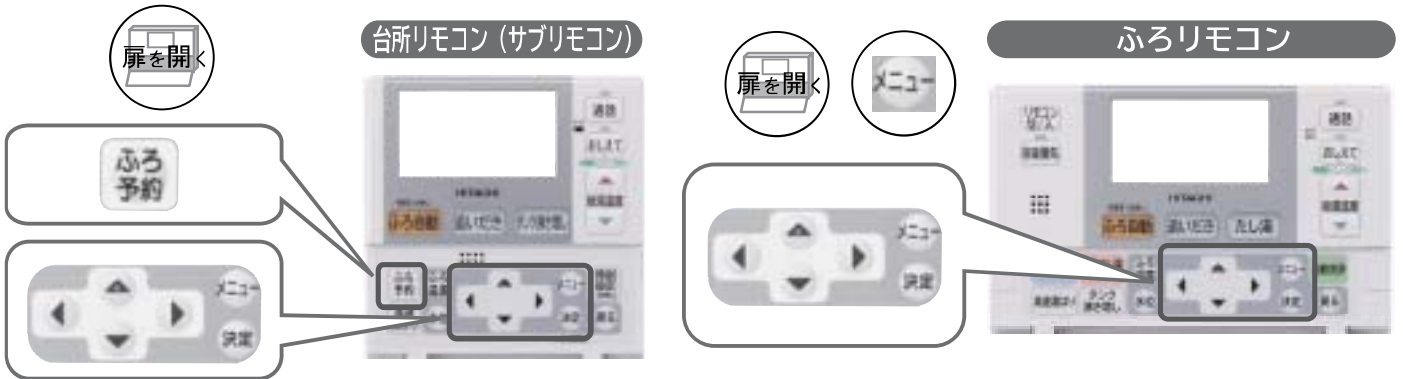
お知らせ

●据付工事直後の最初の湯はりを行うと き、半身浴の湯はりはできません。
●半身浴の湯はり予約はできません。
●お湯のご使用状況により、湯はり時間が長くなったり、湯はりが中断・停止することがありますが、異常ではありません。
●保温終了後、浴そうのお湯を使用し、ふろ循環アダプター付近までお湯が減ると、自動洗浄が動作する場合がありますが、異常ではありません。

ご注意

●「保温中」に浴そうのお湯がふろ循環アダプター付近まで下がった場合「ふろ栓確認」が表示されることがあります。
➔P.65

ふろ予約をする

●湯はりを完了させたい時刻を設定します。予約を設定すると予約した時刻に湯はりが完了し、おふろに入れます。
●ふろ予約は、予約が実行されると解除されます。ご使用のつど設定してください。
●台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンの両方で操作できます。説明は、台所リモコンの表示画面です。

※下記は、18：30に設定した例です。

1

■台所リモコンの場合

ふろ予約 を押す。

■ふろリモコンの場合

メニュー /「ふろ」/「ふろ予約」を選択する。

●新規の場合「ふろ予約」画面になります。
2 へ進みます。

●既に予約中の場合は、予約中の場合は へ進みます。

2

で「時」「分」を合わせ

決定 を押す。

●「設定完了」画面になります。

●数秒後に「標準画面」に戻ります。

予約中の場合は

●設定済みの予約時間と次の操作が表示されます。

確認後、 で項目を選択し、 を押す。

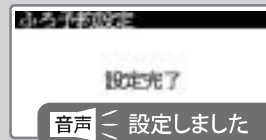
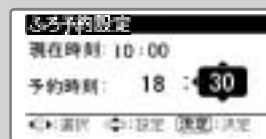
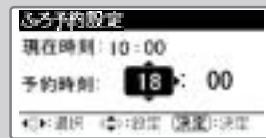
■「継続」を選択した場合は、「設定完了」画面を約10秒表示し、「標準画面」に戻ります。

■「変更」を選択した場合は、手順 2 へ進みます。

■「取消」を選択した場合は、「予約取消」の画面を表示し、「標準画面」に戻ります。

●設定完了後は「ふろ予約」が点灯します。

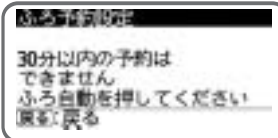
ご注意

●リモコンに設定されている現在時刻を基準に予約されます。リモコンの現在時刻は正しく合わせてください。
●水圧の変動などで、おふろの湯はり完了時刻が、予約した時刻とずれる場合があります。

お知らせ

●既に予約設定済みの場合は画面に「ふろ予約」が表示されています。

お知らせ

●現在時刻から予約時刻までの時間が30分以内の設定はできません。

ふろ予約設定
30分以内の予約は
できません
ふろ自動を押してください
戻る:戻る

●既に、現在時刻が予約時刻を経過している場合は、翌日の予約になります。

[eco] メニュー ほか の設定

■「eco メニュー」は「eco」運転をさせるための設定メニューです。

台所リモコン（サブリモコン）

ふろリモコン

■[eco] メニュー設定

1 「おしえて」を画面が変わるまで押し続ける。

●「eco メニュー」画面になります。
４つのメニューの設定状況が表示されます。

2 ▲▼でメニューを選択し、

◀▶で「入」「切」を選択する。

3 決定 を押す。

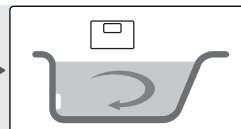
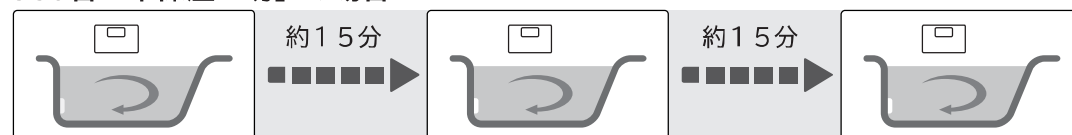
●「標準画面」に戻ります。
「eco 省エネ保温」を「入」と設定した場合
標準画面に「eco」が表示されます。

お知らせ

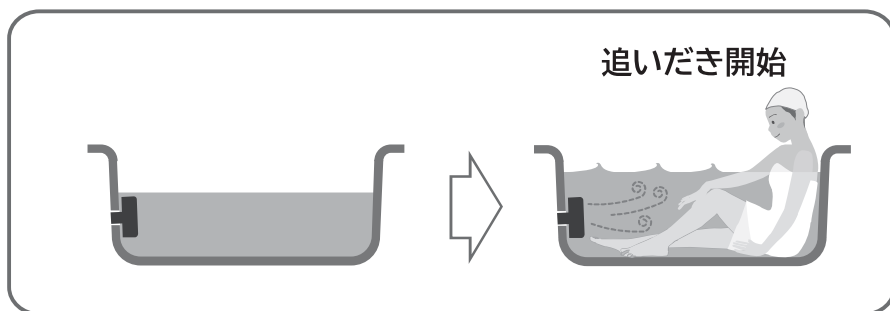
●出荷時設定は以下です。

eco 省エネ保温　・・・「入」
入浴検知追いだき・・・「入」
沸き増し節約・・・・・「切」
お好み量沸き増し・・・「切」

■eco 省エネ保温とは

●浴そうのお湯の温度をセンサーで検知しお湯の温度低下を学習します。浴そうの保温性能や季節によって、浴そうが冷めにくい場合には保温運転の時間間隔を長くして、保温運転の回数を減らし省エネをはかる機能です。「保温時間設定」が０時間の場合は、動作しません。(➔P.59)

■その他の機能

■入浴検知追いだきとは

●人が入浴をしていないとき、または浴そうから出たあとに、無駄な追いだきを行わない機能です。
●浴そうに人が入ったことを検知すると、自動でおふろの追いだきを行います。

お知らせ

●浴そうに人が入ったことの検知は浴そうの水位上昇で行います。子供の入浴など水位の変化が小さい場合には、入浴を検知できないことがあります。
●入浴検知追いだき運転の開始直後に、ふろ循環アダプターから冷めたお湯が出てくる場合がありますが、ふろ配管内の冷えた水ですので異常ではありません。

⚠警告

入浴時は、ふろ循環アダプターから離れる

やけど注意

●「入浴検知追いだき」動作時に高温の湯が出て、やけどすることがあります。

■沸き増し節約とは

過去１週間のお湯の使用状況を学習し、お湯の残量が深夜時間帯までたりていると判断した場合、昼間時間帯での湯切れ防止による沸き上げ運転をおこなわれないようにして、電気代を節約します。
「湯切れ防止」が設定されていても、沸き上げは開始しません。

お知らせ

●突然の来客など、いつもよりお湯を多くを使用する場合には、「タンク沸き増し」ボタンを押して沸き増しをしてください。 ➔P.46

■お好み量沸き増しとは

●手動で「タンク沸き増し」を行う時、お好みの沸き増し湯量だけを沸き上げます。
「お好み量沸き増し」が「切」の場合、「タンク沸き増し」はタンク全量を沸き上げますが、「入」の場合、沸き上げる湯量はリモコンの残湯量表示にあわせた最大５段階から選ぶことができます。操作方法は、➔P.46 をご覧ください。

お好み量沸き増し「切」の場合	お好み量沸き増し「入」の場合
●タンクの残湯表示がどの状態からでもタンク全量沸き上げます。	●タンクの残湯表示に応じて５段階から選択可能です。選択した残湯量表示になるまで沸き上げます。

インターホンを使う

●ふろリモコンと台所リモコンの間で通話ができます。
●相手側の呼び出しが、ふろリモコン、台所リモコンのどちらからでも行えます。
●「通話」ボタンを押さずに会話できる「ハンズフリー」と、「通話」ボタンを押しながら話し掛ける「プレストーク」の２種類があります。
●お買い上げ直後の設定は「ハンズフリー」になっていますが、「ハンズフリー」ではうまく会話ができないときは、「プレストーク」に切り替えてご使用ください。切り替え方法は ➔P.63 をご覧ください。

ふろリモコン

台所リモコン

■ハンズフリーの場合

ふろリモコンからの呼出し

ふろリモコン

通話 を押す。

●ボタンからの指を離して台所からの応答をお待ちください。

台所リモコン

●「通話」ボタンが点灯し、呼出音の後に音声でお知らせします。

音声 ピピピッ おふろで呼んでいます。

●相手の話が終わったら、リモコンに向かって話し掛けます。

●リモコンに向かって話し掛けます。

台所リモコンからの呼出し

ふろリモコン

●「通話」ボタンが点灯し、呼出音の後に音声でお知らせします。

音声 ピピピッ

台所リモコン

通話 を押す。

●ボタンからの指を離して浴室からの応答をお待ちください。

●リモコンに向かって話し掛けます。

●相手の話が終わったら、リモコンに向かって話し掛けます。

■音量を変える

●音量を変えたい時は、通話中に扉内の ▲▼ で変更します。

残りの通話時間を表します。表示がなくなると通話が終了し、標準画面に戻ります。

お知らせ

●台所リモコンとふろリモコンは同時に話すことはできません。先に話し掛けたほうが優先になります。相手の話が終わったら話し掛けてください。
●最初の会話は、音声が途切れる場合があります。
●雑音の大きい場所では、通話ができない場合があります。その場合は、シャワーを止める・テレビの音量を下げるなど雑音を小さくしてから通話を行ってください。
●雑音がなくても、片方のリモコンの声しか聞こえない場合があります。この場合は、「通話」ボタンを押しながら話し掛けてください。または、「プレストーク」に切り替えてください。
（「通話音量」/「機能設定」）
➔P.63
「通話」ボタンを押しながら話し掛ける方法に切り替わります。

■ハンズフリーでの誤動作

●ハンズフリーでは、リモコンが声を自動認識し、先に話し掛けた方の声のみをマイクで聞き取り、相手側のスピーカーから声を出します。また、声が途切れたことを自動認識し、自動で非通話状態にします。このため、下記のようなことが原因で自動切換えが正しく行われず、「片方のリモコンからしか話し掛けられない」など、会話がうまくできないことがあります。

■テレビが近くにあるため、テレビの音量を下げないとリモコンが誤動作する。
■小さいお子さんが声を出すため、会話が途切れてしまう。
■窓を開けているときが多いため、自動車など戸外の雑音でリモコンが誤動作する。

このような時は、「プレストーク」に切り替えてご使用ください。
「プレストーク」では、操作する方同士が会話の切り替えを行いますので、切り替えの誤動作を防ぐことができます。

■プレストークの場合

ふろリモコンからの呼出し

ふろリモコン

通話 を押す。

●ボタンからの指を離して台所からの応答をお待ちください。

台所リモコン

●「通話」ボタンが点灯し、呼出音の後に音声でお知らせします。

音声 ピピピッ おふろで呼んでいます。

通話 を押す。

●「通話」ボタンを押したままリモコンに向かって話し掛けます。話が終わったら手を離します。

ふろリモコン

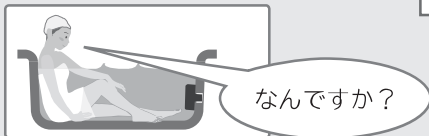
●相手の話が終わったら、「通話」ボタンを押したまま、リモコンに向かって話し掛けます。話が終わったら手を離します。

台所リモコンからの呼出し

ふろリモコン

●「通話」ボタンが点灯し、呼出音の後に音声でお知らせします。

通話 を押す。

●「通話」ボタンを押したままリモコンに向かって話し掛けます。話が終わったら手を離します。

台所リモコン

通話 を押す。

●ボタンからの指を離して浴室からの応答をお待ちください。

●相手の話が終わったら、「通話」ボタンを押したままリモコンに向かって話し掛けます。話が終わったら手を離します。

■音量を変える 扉を開く

●音量を変えたい時は、通話中に扉内の ▲ ▼ で変更します。

残りの通話時間を表します。表示がなくなると通話が終了し、標準画面に戻ります。

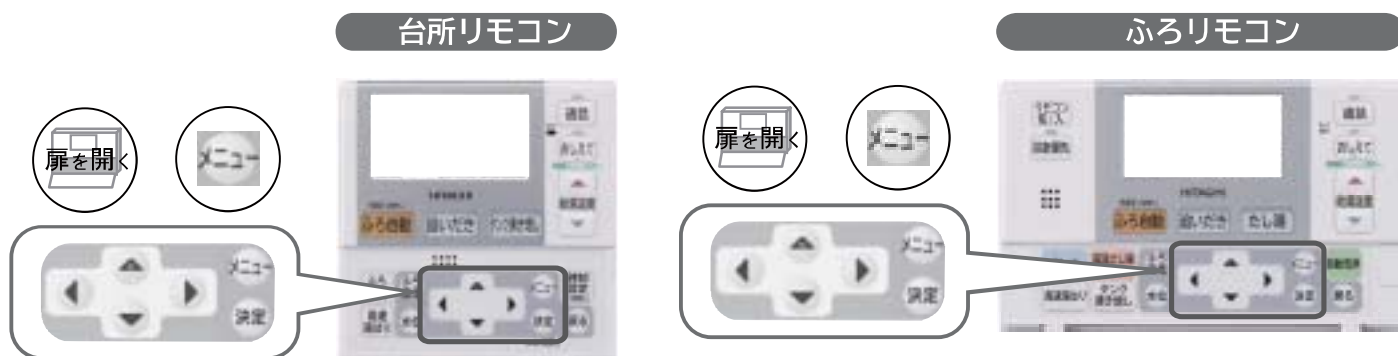
お知らせ

●台所リモコンとふろリモコンは同時に話すことはできません。同時に「通話」ボタンを押した時は、台所リモコンが優先となります。
話が終わったら「通話」ボタンを離してください。
●相手の話が終わったら話し掛けてください。

使えるお湯の量を知りたいとき（42℃換算）

●タンク内の残りの湯温をもとに42℃のお湯として、あと何L使用できるかを確認することができます。
●過去1週間のタンクのお湯の使用実績を見ることができます。

台所リモコン

ふろリモコン

■今日使えるお湯の量を確認する。
■タンクのお湯の使用実績を確認する。

 で、「タンク」「残湯量確認/使用実績」を選択し、

 を押す。

●「残湯量確認」の画面になります。

1 残湯量を確認します。

●残湯量は、42℃換算した湯量を〔リットル〕で表示します。

確認後、 を押す。

●「使用湯量確認」の画面になります。

2 過去1週間のタンクのお湯の使用実績をグラフで確認します。

確認後、 を押す。

●「標準画面」に戻ります。

●使えるお湯の量が少ない場合はこれから使うお湯の量を考慮して「タンク沸き増し」を行ってください。➔P.46

お知らせ

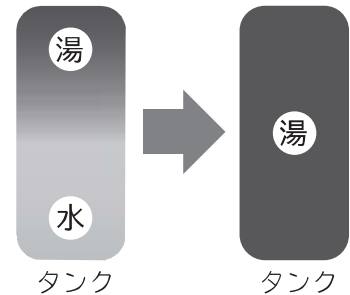
●夏季など、1000L以上の残湯量がある場合でも、表示の最大値は950Lになります。
●42℃換算のため同じ沸き上げ設定でも冬に比べ水温の高い夏のほうが使えるお湯の量は多くなります。

●過去1週間のタンクのお湯の使用実績は、お湯の使用量の目安を表示しています。
●タンク全量を沸き上げたお湯をすべて使用したときの熱量を100%としています。➔P.57
●タンクのお湯の使用量を熱量で換算していますので、実際に使用したお湯の量とは異なります。

お湯が不足しそうなとき（タンク沸き増しをする）

●急な来客などでたくさんのお湯が必要になったとき、「タンク沸き増し」を設定すると１回だけ「沸き増し（沸き上げ）」運転をします。

■タンク沸き増しとは

●「沸き増し」を行うと、たくさんのお湯を使用しても不足しないように、タンク内をお湯にします。お湯が不足する前に沸き増しを行います。
●沸き上げ量は、[eco] メニューの「お好み量沸き増し」を「入」にしている場合は５段階から選択できます。「切」の場合はタンク内全体をお湯にします。
●１時間で沸き上げできるお湯（約 40℃）のめやす「約 120Ｌ(冬季）～ 240Ｌ(夏季)」

■「お好み量沸き増し」設定が「切」の場合

沸き増しをする

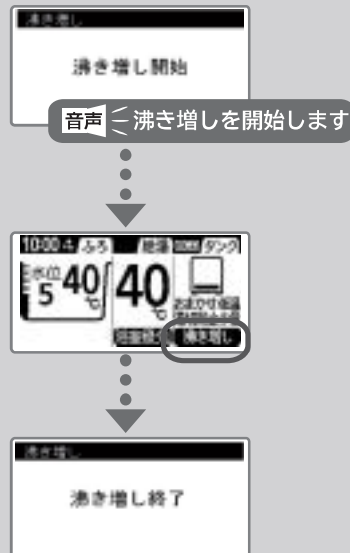
 または、

を押す。

●「タンク沸き増し」を開始します。
●画面に「沸き増し」が表示されます。

途中でやめたいとき

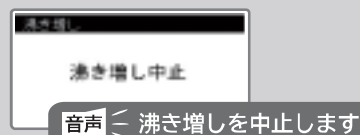
 または、

を押す。

●「タンク沸き増し」を中止します。

お知らせ

●タンク内に充分のお湯がある時は、「タンク沸き増し」を設定しても、「タンク沸き増し」を開始しないことがあります。

ご注意

●昼間時間帯の「タンク沸き増し」は電気料金が割高になります。
●頻繁にお湯が不足するような場合は、「沸き上げ設定」の設定内容を確認し、深夜時間帯の沸き上げ量が少ない場合は「沸き上げ設定」を変更してください。

お湯が不足しそうなとき（続き）

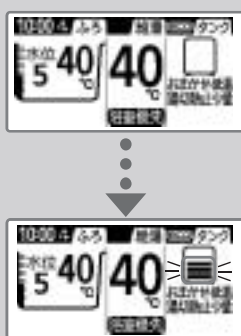
■「お好み量沸き増し」設定が「入」の場合

●沸き上げ量は５段階から選択できます。 選択した残湯量表示になるまで沸き上げます。

※タンク残湯量がない状態から残湯量３目盛りまで沸き上げる場合の例です。

沸き増しをする

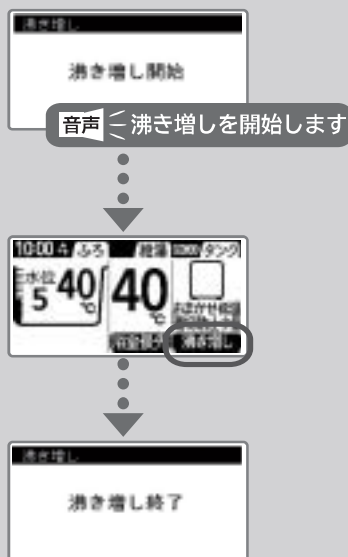
 または、 を3回押す。

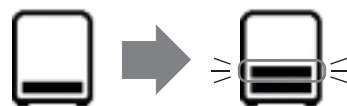
●画面の「タンク残湯表示」が３目盛り点滅します。

2 を押す。

●「タンク沸き増し」を開始します。
※残湯表示が点滅中、５秒間操作をしない場合も沸き増しを開始します。
●画面に「沸き増し」が表示されます。

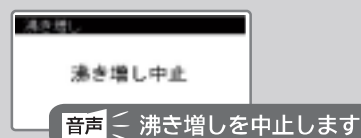
途中でやめたいとき

 または、 を押す。

●「タンク沸き増し」を中止します。

お知らせ

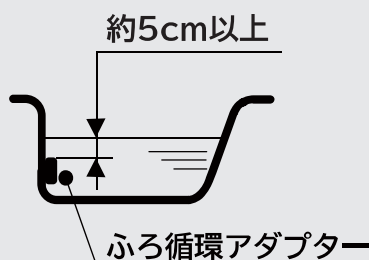
●既に残湯量目盛りが点灯しているときは、その残湯目盛りを起点として、その上の残湯量が点滅します。

●「タンク沸き増し」ボタンを押すごとに残湯目盛りの点滅が増えます。５つ目盛りが点滅した状態から更にボタンを押すと、最初の残湯表示に戻ります。この状態を選択した場合、タンク沸き増しは行いません。
●タンク内に充分のお湯がある時は、「沸き増し」を設定しても、「沸き増し」を開始しないことがあります。

ご注意

●昼間時間帯の「沸き増し」は電気料金が割高になります。
●頻繁にお湯が不足するような場合は、「沸き上げ設定」の設定内容を確認し、深夜時間帯の沸き上げ量が少ない場合は「沸き上げ設定」を変更してください。

凍結防止について（外気温が低いとき）

●各配管に保温工事がしてあっても、本体周囲温度が0℃以下になると配管が凍結し、貯湯ユニットや配管が破損することがあります。寒冷地だけでなく、暖かい地域でも凍結することがありますので、お買い上げの販売店または工事店へ相談して適切な凍結防止対策を行ってください。

おふろの湯はぬかないでおく

冬季は、凍結防止自動運転のため、残り湯をふろ循環アダプター上端より 5cm 以上残しておいてください。
循環ポンプを運転しますので運転音がします。

●外気温度が下がると、ふろ配管に浴そうのお湯を自動で循環させて凍結を防止します。
●凍結防止運転中はリモコンに「凍結防止」を表示します。

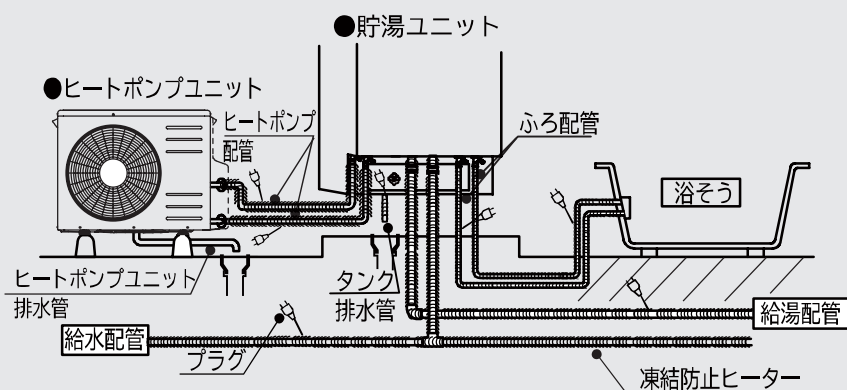
混合水栓を少し開いておく

1. **給湯温度を「低温」に設定します。**
2. **混合水栓の温度調節は、水とお湯の両方が出るように、水とお湯の中間位置にしてください。**
3. **流量を調節します。**
   各混合水栓を開け、わずかに水が出るように調節します。

凍結防止ヒーターを使う

1. **凍結防止ヒーターが、下図のように巻かれていることを確認します。**
2. **使用時は、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。**

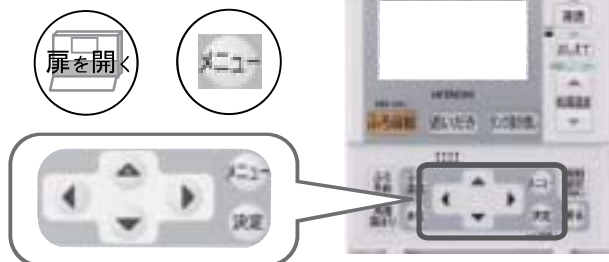
ご注意

●浴そうに残り湯がない場合、循環ポンプは運転しますが、ふろ配管の凍結防止はできませんのでご注意ください。また、この場合、ふろ配管内の水が浴そうに排出され、浴室でゴボゴボ音がします。
●冬季は凍結防止運転が動作するため、ふろ自動運転の終了後に入浴すると、ふろ循環アダプターから冷めたお湯が出てくる場合があります。

お願い

●配管が凍結した場合は、タンク専用止水栓を閉じて、お買い上げの販売店へご連絡ください。
●凍結しない季節になったら、プラグをコンセントから抜いてください。

数日間お湯を使わないとき(使用を休止する)

●旅行へ出かけるなど、お湯を使わないことが事前にわかっている場合は、タンクの使用を休止することができます。
●タンク休止日数は、1 日～ 28 日間設定できます。
●休止日は、最大 6 か月先の月まで設定できます。

台所リモコン(サブリモコン)
ふろリモコン

※10 月 20 日から使用を休止し、10 月 30 日からお湯の使用を再開する場合の例です。
この設定をすると、29 日の深夜時間帯から沸き上げを再開し、30 日朝(深夜時間帯終了後)にはお湯が使用できます。

1 で「タンク」/「使用休止予約設定」を選択し、決定 を押す。

●「使用休止予約設定」の入力画面になります。

●既に「使用休止予約」が設定済みの場合は、休止予約済みの場合 に進みます。

2 で「休止日」を合わせ、決定 を押す。

●「再開日」の入力画面になります。

3 で「使用再開日」を合わせ、決定 を押す。

●確認画面になります。

4 確認後、決定 を押す。

●「標準画面」に戻ります。
●再開日の朝(深夜時間帯終了時)からお湯が使えます。

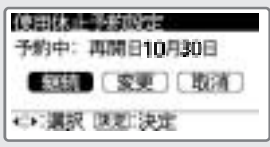
使用休止予約設定
設定完了

●設定すると「使用休止予約」が画面に表示されます。
●使用休止期間に入ると、「使用休止中」が画面に表示されます。

●使用休止期間が終了すると「使用休止中」の表示が消えます。

休止予約済みの場合

予約内容が表示され、継続／変更／取消の選択画面が表示されます。

■「継続」:休止予約を継続
■「変更」:予約の変更
② から操作してください。
■「取消」:休止予約の取り消し

ご注意

●冬季に気温が低くなるときは使用休止予約の設定はしないでください。貯湯ユニットや配管が凍結し、故障の原因になります。

1ヶ月以上お湯を使用しないとき

●１か月以上使用しないときでも貯湯ユニットの水を抜く必要はありません。但し、凍結するおそれの高い地域や期間の場合は、お買い上げの販売店、工事店に完全な水抜き作業を依頼してください。（有償になります。）

非常用水として使用するとき

●万一、災害の時は、貯湯ユニットのお湯を非常用生活用水として利用できます。
●飲用はできません。やむを得ず飲用する場合は、必ず沸騰させてください。

1 漏電遮断器の電源スイッチを「OFF」にする。

2 タンク専用止水栓を閉じる。

●貯湯ユニットへの給水を止めます。タンク専用止水栓が右図の位置にない場合、お買い上げの販売店に位置をお問い合わせください。

3 逃し弁を開く。

●貯湯ユニットに空気を入れ、取水できるようにします。

4 脚カバーを外す。

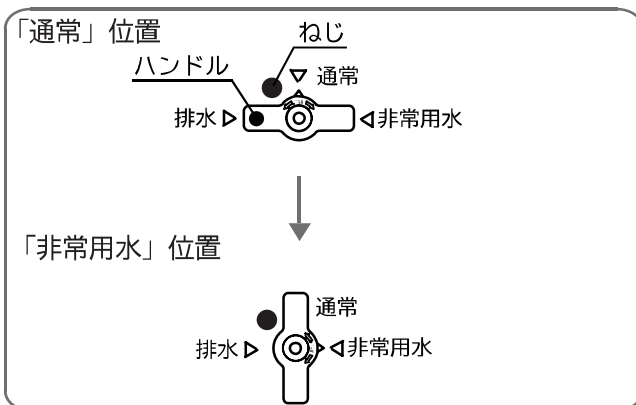
※脚カバーまたは配管カバーを取り付けている場合は、ねじを外し、脚カバーまたは配管カバーを外してください。

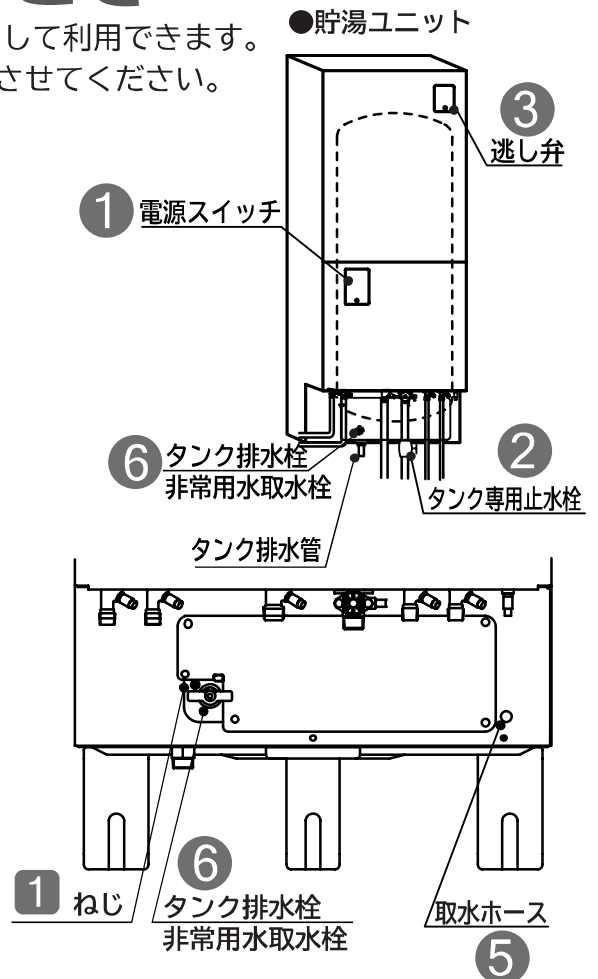
5 取水ホースを取り出す。

●取水ホースを製品の外に引き出し、バケツなどで受けてください。

6 貯湯ユニット内のお湯（水）を出す。

1 ねじを取り外す。

2 ハンドルを右に90°回し「非常用水」位置にするとホースからお湯（水）が出ます。

3 止めるときはハンドルを左に90°回し、ハンドルを「通常」位置に合わせください。

1 で取り外したねじを取り付けてください。

お願い

●ホースからは、お湯（水）が出てきますが、使いはじめは、湯アカなどが出ますのでしばらく洗い流してください。取水後は、「タンク排水栓」が「通常」位置であることを確認してください。

●ふたたび使用するときは、お買い上げの販売店または工事店に作業を依頼してください。（有償になります。）

⚠警告

やけど注意

取水中、熱湯（最高90℃）が出る場合があります。
非常用水使用時は湯温を確かめて熱に強い容器を使用してください。

停電のとき

●停電復帰時、時刻がずれたり各リモコンの設定が変更されている場合がありますので、各リモコンの設定を確認してください。
●停電中は、「給湯」、「ふろ機能」とも使用できません。
タンク内にお湯が残っていても、蛇口を開いたら水しか出ません。

●停電復帰時のリモコンの設定は下記になります。

リモコン	項目	リモコン設定値
台所リモコン（サブリモコン） ふろリモコン	日付	日付がずれている場合があります。 ➔P.61
	時刻	時刻がずれている場合があります。 ➔P.62
	その他	停電になっても設定値は記憶されています。

お願い

停電復帰時は、必ず「リモコン」の時刻を確認してください。

●時刻が違っている場合は、電気料金が割高になる場合がありますので、「日付 / 時刻設定」で日付と時刻合わせをしてください。

お知らせ

●ふろ湯はり中に停電した場合、停電が復帰しても湯はりは再開しません。湯はりをしたい場合は「ふろ自動」を再度押してください。

断水のとき

●断水のときは「タンク専用止水栓」を閉じてください。
断水中は貯湯ユニット内に給水されないためお湯は出ません。
●断水復帰後、混合水栓 (蛇口) の水側を開けて、水の汚れがなくなったのを確認してから、「タンク専用止水栓」を開いて使用を再開してください。

ご注意
●タンク専用止水栓を閉じないでそのまま使用すると、濁った水で貯湯ユニットのストレーナ部が目詰まりし、湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。
●タンク専用止水栓を閉じないでそのまま使用すると、貯湯ユニットに空気が入り断水復帰後、設定温度のお湯が出なかったり、湯温が安定しない場合があります。

お手入れと点検

日常のお手入れ

■ふろ循環アダプターの掃除

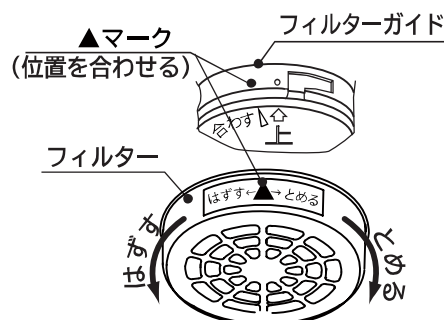
●浴そうのふろ循環アダプターが汚れていると、湯はりなどのふろ機能が正常に動作しなかったり、汚れが浴そう内に流れ出したりすることがあります。こまめに掃除してください。

1 **浴そうのお湯を排水した後、「ふろ循環アダプター」のフィルターを外してください。**

2 **歯ブラシなどを使用して水洗いしてください。**

3 **元通り取り付けてください。**

●取り付け時は、フィルターガイドの「△」のマークにフィルターの「△」を合わせてはめ込み右に止まるまでまわしてください。

※フィルターは**無理にはめ込まない**でください。

お知らせ

●ふろ循環アダプターの種類によりフィルターの外し方が異なる場合があります。

■リモコンの掃除

リモコンの表面が汚れたときは、乾いた布や水に濡らした布を固く絞って拭いてください。

●汚れが落ちにくい場合は、台所中性洗剤を薄めて使い、ぬるま湯を含ませた布でふき取ってください。

ご注意 リモコンの掃除は・・

●「台所用中性洗剤」以外の洗剤「ベンジン」「シンナー」などは、リモコンの変形や変色の原因になります。使用しないでください。
●水洗いはしないでください。故障の原因になります。

月に１度のお手入れと点検

■時刻の確認

月に一度は時刻を確認し、正確な時刻に合わせてください。

●リモコンの時刻が合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。 ➔P.62

■漏電遮断器の点検

●漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。

1 **テストボタンを押す。** ➔P.15

●電源スイッチが「ON」→「OFF」になれば正常です。

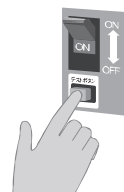
2 **電源スイッチを「ON」に戻します。**

お願い **テストボタンを押しても「OFF」にならない場合は、「電源ブレーカー」または、「電源スイッチ」を「OFF」にして、お買い上げの販売店にご連絡ください。**

⚠警告

動作確認

漏電遮断器の動作を確認する。

●故障のまま使用すると感電することがあります。
●確認後は操作カバーを閉じてください。開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電をすることがあります。

お手入れと点検(続き)

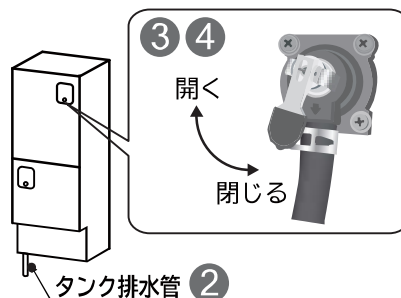
年に２～３度のお手入れと点検

■逃し弁の点検

●逃し弁は、沸き上げ時にタンク内の膨張水を排出し、タンク内が高圧になるのを防ぎます。

1. 沸き上げ中（リモコンに「沸き上げ」「沸き増し」が表示）でないことを確認する。
2. タンク排水管からお湯（水）が出ていないことを確認する。
3. 逃し弁のレバーを上げ（開）、タンク排水管からお湯（水）が出ることを確認する。
4. 逃し弁のレバーを下げて、お湯（水）が止まることを確認する。
   ●お湯（水）が止まらないときは、レバーを２～３回、上げ下げしてください。

⚠警告

逃し弁点検時は、配管に手を触れない。
●手を触れるとやけどをすることがあります。

お願い

●逃し弁の点検は、沸き上げ時に行わないでください。
●点検後は、必ず逃し弁のレバーを下げて（閉）にしてください。
●レバーを上げたときにタンク排水管から、お湯（水）が出ない場合や、レバーが下がっているのに、お湯（水）が出る場合は、弁類の故障が考えられます。漏電遮断器の電源スイッチを「OFF」にして、お買い上げの販売店にご連絡ください。

お知らせ ●「沸き上げ」「沸き増し」中に、少量のお湯を排水するのは正常な動作です。

年に１度のお手入れと点検

■配管の点検

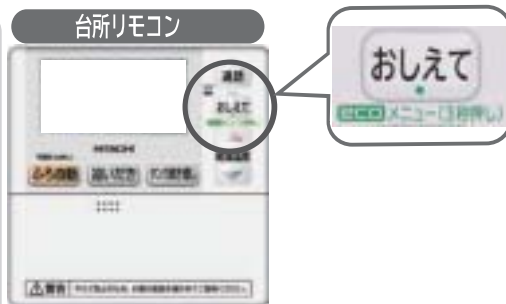
貯湯ユニット周囲が漏れていないか、保温材が傷んでいないか点検してください。
●特に集合住宅（マンション）では、水が漏れると階下に被害を与えます。ドレンホースから、水が出ていないことを確認してください。

貯湯ユニットのお手入れ

■お手入れの方法

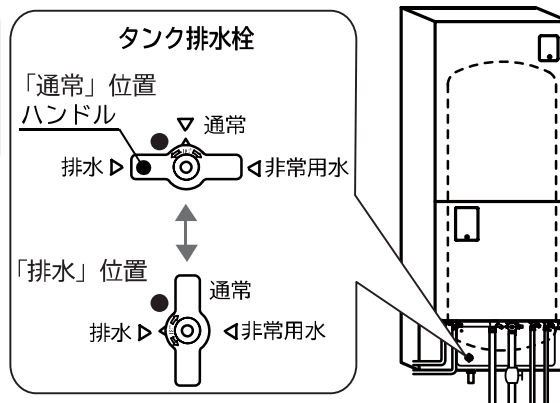
●使用中、タンク底部に湯アカなどの沈でん物がたまります。タンクの湯を排水することにより、タンク内の沈でん物を除去します。

●お手入れの時期きたら台所リモコンの画面に貯湯ユニットのお手入れを促す画面が表示されます。

● おしえて を押すと音声でお知らせし、「標準画面」に戻ります。

お知らせ

●お手入れの時期は水質によって異なります。
・水道水：月に 1 度
・井戸水：年に 1 度

1 タンク排水栓のハンドルを左に 90°回し「排水」位置とし、約 5 分間排水する。

2 タンク排水栓のハンドルを右に 90°回し、「通常」位置とし、タンク排水管から湯が出ないことを確認する。

⚠警告

貯湯ユニットの排水時は、お湯に手を触れない。

●熱いお湯が出てやけどをすることがあります。

お手入れと点検（続き）

ふろ配管の自動洗浄

■ふだんの洗浄（自動洗浄）

●ふろ自動運転終了後に浴そうのお湯を排水する時に、追いだき用のふろ配管に残った湯水を流して自動洗浄することができます。
●配管の汚れを防ぐために自動洗浄を行うことをおすすめします。 ➔P.26

⚠警告

やけど注意

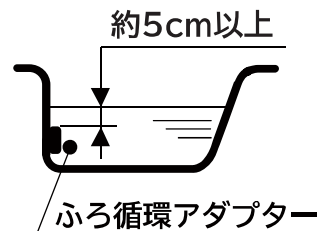
自動洗浄中に浴そうに入らない

●ふろ追いだき配管内に残っている高温のお湯が、ふろ循環アダプターから出て、やけどをすることがあります。
●浴そうの排水後の掃除には充分ご注意ください。排水後すぐに浴そうを掃除するとやけどをすることがあります。
●浴そうの掃除は、ふろ循環アダプターからお湯が出なくなったことを確認後、完全に排水された後に行ってください。

■半年に一度の洗浄（循環洗浄）

●洗浄剤を使用して、ふろ配管を洗浄します。ふろ配管にたまった湯アカを洗い流し、汚れの付着を軽減するために、半年に１回程度「循環洗浄」を行ってください。
●排水時の自動洗浄で汚れが浴そうに排水された場合は、そのつど洗浄剤を使用して循環洗浄を行ってください。

洗浄の準備

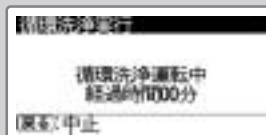
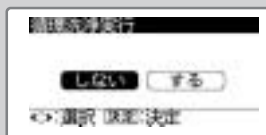
●入浴後、残り湯をふろ循環アダプターの上端より上に5cm 以上残しておく。
●浴そうに洗浄剤を入れる。使用上の注意、安全上の注意は洗浄剤の説明書にしたがってください。

1 「ふろ」/「循環洗浄実行」を選択する。

●「循環洗浄実行」の入力画面になります。

2 「循環洗浄」終了を待つ

●約 10 分間、洗浄剤がふろ配管内を自動で循環し、ふろ配管を洗浄します。
●途中で中止する場合は、「戻る」ボタンを押します。
●その後、約 3 分間注水して配管内のすすぎを行います。

洗浄後

●浴そうの排水栓を開いて排水する。
●浴そうの掃除をする。
浴そうには洗浄剤が付着しますので、ふろ配管洗浄後は、浴そうの掃除をしてください。

ご注意

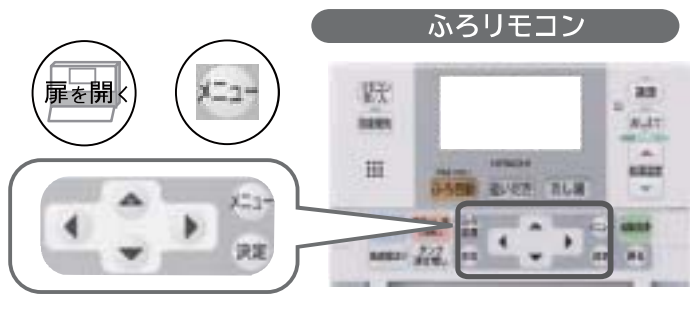
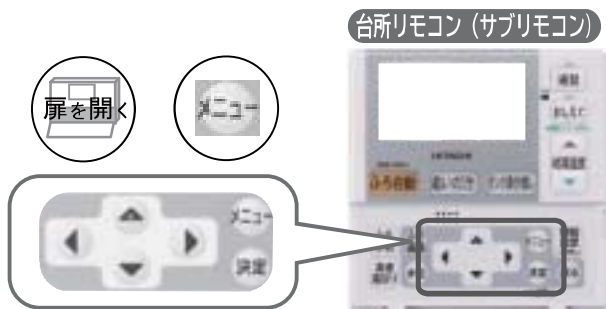
●ふろ配管の洗浄を行うと、残湯量が少なくなります。（タンク内の温度が下がります）
お湯をたくさん使う予定がある場合は、お湯を使いきった後で循環洗浄をしてください。

推奨洗浄剤

●商品名　ジャバ（1 つ穴用）
●発売元　ジョンソン株式会社

給湯機の設定

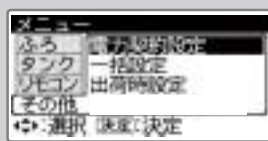
台所リモコン（サブリモコン）

ふろリモコン

■電力契約の設定

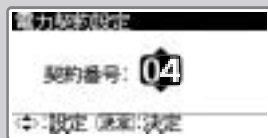
●電力契約が設定済みであるか、販売店または工事店に確認してください。
設定がされている場合は、変更する必要はありません。

●「一括設定」による設定の場合は ② からの操作になります。➔P.21

1 「その他」/「電力契約設定」を選択する。

●「電力契約設定」の設定画面になります。

2 ▲▼ で契約番号を選択する。

●下記の図表を参照して、番号を選択します。

を押す。

ご注意

●電力契約番号の設定が誤っていると電気料金が割高になる場合があります。契約内容をよくお確かめの上設定してください。

お知らせ

●電力契約番号は、当社独自の番号であり、電力会社が定めるものではありません。

■電力契約の番号と時間帯概要（2010年10月現在）

※グラフの上の数字は時間を表しています。契約している電力制度の内容は、各電力会社にお問合わせください。
Aゾーン、Bゾーン、Cゾーンの用語は、説明のために付加したもので、各電力会社の定める用語ではありません。

●契約名称と設定する契約番号

電力会社	契約名称	契約番号
北海道電力	ドリーム8、ドリーム8エコ（深夜時間帯22時～6時）	07
	ドリーム8、ドリーム8エコ（深夜時間帯23時～7時）	08
	ドリーム8、ドリーム8エコ（深夜時間帯24時～8時）	09
	eタイム3	06
東北電力	やりくりナイト8	00
	やりくりナイト10、やりくりナイトS	06
東京電力	おトクなナイト8	00
	電化上手	02
	おトクなナイト10	06
中部電力	タイムプラン	00
	Eライフプラン	04
北陸電力	エルフナイト8	00
	エルフナイト10プラス	05
	エルフナイト10	06
関西電力	時間帯別電灯	00
	はぴeタイム	02
中国電力	エコノミーナイト	01
	ファミリータイム	03
四国電力	電化Deナイト、得トクナイト	00
九州電力	時間帯別電灯	00
	電化deナイト	05
	よかナイト10	06
沖縄電力	時間帯別電灯	00
	Eeらいふ	02

●契約番号と時間帯名称

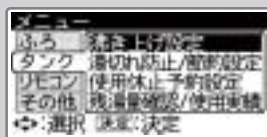
契約番号	時間帯名称
00	0–7 深夜時間帯 Aゾーン / 7–23 昼間時間帯 Bゾーン / 23–24 深夜
01	0–8 深夜時間帯 Aゾーン / 8–23 昼間時間帯 Bゾーン / 23–24 深夜
02	0–7 深夜時間帯 Aゾーン / 7–10 朝晩・リビング Bゾーン / 10–17 昼間時間帯 Cゾーン / 17–23 朝晩・リビング Bゾーン / 23–24 深夜
03	0–8 深夜時間帯 Aゾーン / 8–10 朝晩・リビング Bゾーン / 10–17 昼間時間帯 Cゾーン / 17–23 朝晩・リビング Bゾーン / 23–24 深夜
04	0–7 深夜時間帯 Aゾーン / 7–9 朝晩・リビング Bゾーン / 9–17 昼間時間帯 Cゾーン / 17–23 朝晩・リビング Bゾーン / 23–24 深夜
05	0–8 深夜時間帯 Aゾーン / 8–10 朝晩・リビング Bゾーン / 10–17 昼間時間帯 Cゾーン / 17–22 朝晩・リビング Bゾーン / 22–24 深夜
06	0–8 深夜時間帯 Aゾーン / 8–22 昼間時間帯 Bゾーン / 22–24 深夜
07	0–6 深夜時間帯 Aゾーン / 6–16 昼間時間帯 Bゾーン / 16–18 ピーク Cゾーン / 18–22 昼間時間帯 Bゾーン / 22–24 深夜
08	0–7 深夜時間帯 Aゾーン / 7–16 昼間時間帯 Bゾーン / 16–18 ピーク Cゾーン / 18–23 昼間時間帯 Bゾーン / 23–24 深夜
09	0–8 深夜時間帯 Aゾーン / 8–16 昼間時間帯 Bゾーン / 16–18 ピーク Cゾーン / 18–24 昼間時間帯 Bゾーン

給湯機の設定（続き）（沸き上げ設定）

■沸き上げ設定

●沸き上げる湯量を設定します。使用するお湯の量にあった設定をしてください。
●お買い上げ時は、「おまかせ低温」に設定されています。
●使えるお湯の量は、「沸き上げ設定」のほかに「湯切れ防止設定」で変わります。「湯切れ防止設定」も必ずご確認ください。

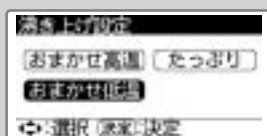
1 「タンク」/「沸き上げ設定」を選択する。

●「沸き上げ設定」画面になります。

2 で湯量を選択する。

●下記の図表を参照して、番号を選択します。

 を押す。

お知らせ

●「一括設定」による設定の場合は **2** から操作します。(➔P.21)

お知らせ

●既に設定してある沸き上げ設定を反転表示します。
●設定は下の「沸き上げ設定のめやす」表を参考に設定してください。

■湯沸き上げ量設定のめやす

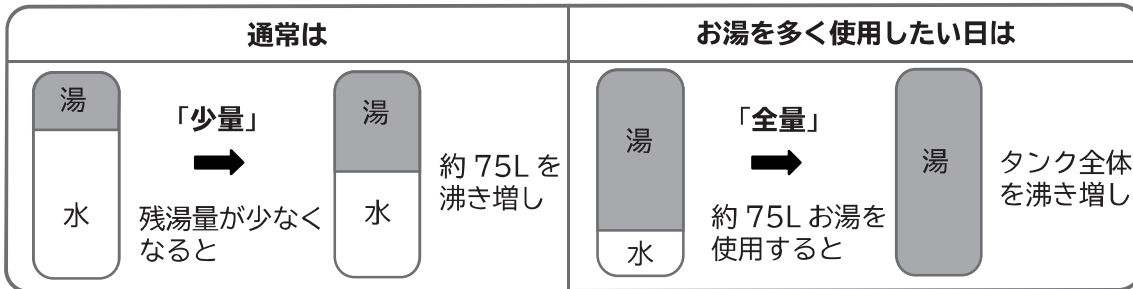
沸き上げ設定	ご使用量のめやす	運転状態など
おまかせ低温 (約65～90℃)	余分なお湯を沸き上げず省エネ運転をおこないます。 **●お湯の使用量が少ない場合** ※頻繁に湯が足りなくなる場合は、「おまかせ高温」に変更してください。	過去1週間の平均使用量に応じた湯量を主に深夜時間帯で沸き上げます。 お湯の使用量が多い場合は、電力契約のBゾーン時間帯(➔P.56)にも沸き上げます。
おまかせ高温 (約70～90℃)	お湯の使用量に応じて沸かす湯量を自動的にコントロールします。**湯切れしにくいモードです。** **●お湯の使用量がわからない場合** **●家族が多い場合やお湯を多く使用する場合**	過去1週間の最大使用量に応じた湯量を主に深夜時間帯で沸き上げます。 お湯の使用量が多い場合は、電力契約のBゾーン時間帯(➔P.56)にも沸き上げます。
たっぷり (約90℃)	お湯をもっとも多く沸かすモードです。 **●来客時や冬季などお湯をたくさん使用する場合**	貯湯ユニット内のお湯を約75L使用すると、電力契約Bゾーン時間帯(➔P.56)にも沸き上げをおこない、貯湯ユニットを満タンにします。 1週間で「おまかせ高温」に切り替わります。

お知らせ

●沸き上げ温度はヒートポンプユニットで沸き上げるお湯の温度です。ヒートポンプユニットから貯湯ユニットまでの配管の長さ、配管の保温状態、外気温度などによりタンクにたまるお湯の温度は沸き上げ温度より低くなります。
●沸き上げ設定が「おまかせ低温」「おまかせ高温」の場合、お客様のご使用状態によっては、沸き上げ温度が低くなり、満タンに沸き上げない場合がありますが異常ではありません(➔P.14)。なお、頻繁に湯切れする場合は、沸き上げ設定を変更してください。
●追いだきを多く使う場合は、「おまかせ高温」を使用してください。「おまかせ低温」の場合、湯量が不足し、追いだきできなくなる場合があります。なお、「おまかせ高温」でも湯量が不足し、追いだきができなくなる場合は「タンク沸き増し」を設定して沸き上げをおこなってください(➔P.46)。
●「おまかせ低温」「おまかせ高温」はお客様のお湯の使用量が多い場合は、Bゾーン時間帯に沸き上げることがあるので、電気料金が割高になる場合があります。

■湯切れ防止 / 節約設定

■湯切れ防止とは

設定しておくと、毎日、電力契約のいずれの時間帯でも、タンク内のお湯が減るたびに自動で沸き増しをおこない、湯切れするのを防ぎます。昼間にも沸き上げするため、電気料金が割高になる場合があります。
「湯切れ防止」で沸き増すお湯の量には、「少量」と「全量」があります。

■節約設定とは

電気料金を節約するための設定です。湯切れが発生しても、深夜時間帯直前の場合は、電気料金を節約するためにタンクの沸き上げを深夜時間帯になるまで休止する機能です。深夜時間帯0～3時間前が設定できます。
下の表を参考にして、お湯を使う最終の時間帯によって設定してください。

※深夜時間帯が 23 時から始まる電力契約を例にしためやすです。

表示	タンク沸き上げの動作	設定のめやす
深夜時間帯までの0時間は沸き上げしない	深夜時間帯直前でも作動します。	23 時までお湯を使う場合
深夜時間帯までの1時間は沸き上げしない	深夜時間帯 1 時間前から作動しません	22 時以降はお湯を使わない場合
深夜時間帯までの2時間は沸き上げしない	深夜時間帯 2 時間前から作動しません	21 時以降はお湯を使わない場合
深夜時間帯までの3時間は沸き上げしない	深夜時間帯 3 時間前から作動しません	20 時以降はお湯を使わない場合
昼間時間帯は沸き上げしない	昼間時間帯は作動しません	お湯の使用量が少ない場合

1 「タンク」/「湯切れ防止/節約設定」を選択する。

●「湯切れ防止設定」画面になります。

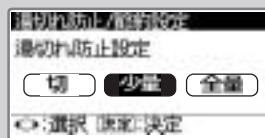
お知らせ

●「一括設定」による設定の場合は 2 から操作します。P.21

2 ◀ ▶ で湯量を選択する。

決定 を押す。

●節約設定の画面になります。

●既に設定してある内容を反転表示します。
●「切」に設定すると昼間の沸き上げは行いませんが、湯切れする可能性があります。

3

で沸き上げしない時間を選択する。

決定 を押す。

●「標準画面」に戻ります。

●時間を設定するとその時間帯の沸き上げは行いません。
●「湯切れ防止設定」が「切」に設定されている場合は、0 時間（深夜時間帯直前でも作動）に設定しても、「湯切れ防止」機能は働きません。

給湯機の設定（続き）

■保温時間設定

■ふろ自動運転で、湯はり終了後の保温する時間を設定します。
●保温時間を0時間に設定すると保温機能を停止できます。（ふろ自動運転は、湯はりのみになります）
●最大6時間まで保温することができますが、節電のため余分な保温はしないようにしてください。

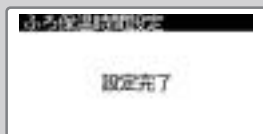
1 「ふろ」/「保温時間設定」を選択し

決定 を押す。

●「ふろ保温時間設定」の画面になります。

で時間を選択し

決定 を押す。

●「標準画面」に戻ります。

お知らせ
●「一括設定」による設定の場合は 2 から操作します。P.21

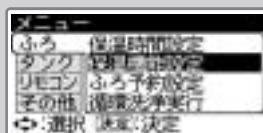
お知らせ
●0.5 時間（30 分）単位で最大 6 時間まで設定できます。

■保温機能設定

■ふろ自動運転で、湯はり終了後の保温機能を設定します。
●浴そうのお湯がさめると、設定した「ふろ温度」まで自動で「追いだき」をし、保温時間の間「ふろ温度」を一定に保ちます。
●浴そうのお湯の量が減ると、設定した「水位」まで自動で「たし湯」をし、保温時間の間「水位」を一定に保ちます。
●「温度のみ」を選択すると「ふろ温度」のみを一定に保ちます。
●「保温時間」を0時間に設定した場合は保温機能は働きません。

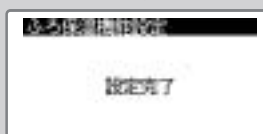
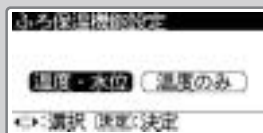
1 「ふろ」/「保温機能設定」を選択し

決定 を押す。

●「ふろ保温機能設定」の画面になります。

2

で保温機能を選択し

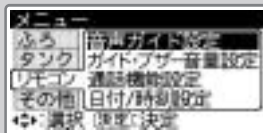
を押す。

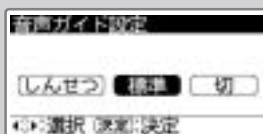
●「標準画面」に戻ります。

ご注意
●設定したふろ温度は、配管の長さや浴そうの放熱により変動することがあります。
●水位は実際にご使用になりながら調整してください。
●ジェットバスなどで水位が安定しない場合は、「温度のみ」に設定してください。

■音声ガイド設定

■台所・ふろリモコンには、操作方法や設定内容をアナウンスする音声ガイド機能がついています。
●音声ガイドのモードを設定します。
●台所リモコン（サブリモコン）・ふろリモコンで別々に設定できます。

1 「リモコン」/「音声ガイド設定」を選択し 決定 を押す。

●「音声ガイド設定」の画面になります。

2 ◀ ▶ で音声ガイドを選択し 決定 を押す。

●「標準画面」に戻ります。

お知らせ
●「一括設定」による設定の場合は 2 から操作します。P.21

お知らせ
●「しんせつ」に設定すると、操作方法や機能動作に関する内容、設定内容をアナウンスします。
●「標準」に設定すると、動作中の機能が停止した場合や安全に関わることなどをアナウンスします。

■ガイド・ブザー音量設定

■機能の終了をお知らせするブザー音や、操作説明などの音声ガイド、「おしえて」ボタンの音声ガイドの音量が変更できます。

1 「リモコン」/「ガイド・ブザー音量設定」を選択し、 決定 を押す。

●「ガイド・ブザー音量設定」の画面になります。

2 で音量を選択し 決定 を押す。

音声 ＜音量　大（標準・小）です。 ＜音を消します。

●「標準画面」に戻ります。

お知らせ
●「一括設定」による設定の場合は 2 から操作します。P.21

●「音量」を変更する毎に、対応する音量でアナウンスされます。
●同じ音量でも深夜など雑音の少ない環境では大きく聞こえたり、雑音の多い昼間は聞き取りにくかったりすることがあります。

給湯機の設定（続き）

■日付 / 時刻の設定

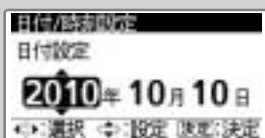
■お使いはじめには、必ず日付・時刻を設定してください。
●時刻はひと月に一度は確認し、正しく合わせてください。
●現在時刻が合っていないと、深夜時間帯前に沸き上げを行ってしまうなど、電気料金が割高になってしまうことがあります。
●台所リモコン（サブリモコン）・ふろリモコンの両方で設定できます。一方のリモコンで日付・時刻を設定すれば、もう一方のリモコンの日付時刻も設定できます。

1 「リモコン」/「日付/時刻設定」を選択し

決定 を押す。

●「日付設定」の入力画面になります。

2 で年・月・日を選択し変更します。

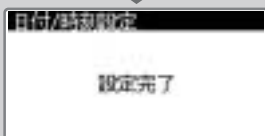
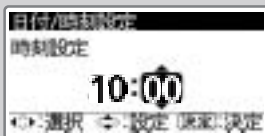
決定 を押す。

●「時刻設定」の画面になります。

3 で時・分を選択し変更します。

決定 を押す。

●「設定完了」の画面になります。
●「標準画面」に戻ります。

お知らせ

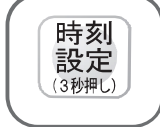
●「一括設定」による設定の場合は **2** から操作します。(➔P.21)

お知らせ

●時刻は 24 時間表示です。
昼の 12 時は「12：00」
夜の 12 時は「0：00」
を表示します。

■時刻設定（ダイレクトボタンから操作）

台所リモコン（サブリモコン）

■台所リモコン（サブリモコン）には、「時刻設定」ボタンがあり、時刻の設定ができます。
●時刻のずれを修正する場合など、日付の設定が不要な場合は、メニュー操作をしなくても時・分の設定が行えます。
●ふろリモコンには「時刻設定」ボタンはありません。

扉を開く

時刻設定（3秒押し）

■時・分の設定

1 時刻設定（3秒押し） を画面が変わるまで押しつづける。

●日付設定の画面になります。

 で時・分を選択し変更する。

 を押す。

●設定完了の画面になり、「標準画面」に戻ります。

お知らせ
●メニュー一覧の「日付 / 時刻設定」で行う時刻設定と同じ機能、同じ操作方法で設定できます。

■正時設定（０分調整）

●電話などの時報に合わせて０分調整をします。
●リモコンの時計が毎時５５～０５分の間にボタンを押すと００分にセットできます。

1 時刻設定（3秒押し） 押す。

●「正時合わせ」設定画面が表示されます。

2 時報に合わせて 決定 を押す。

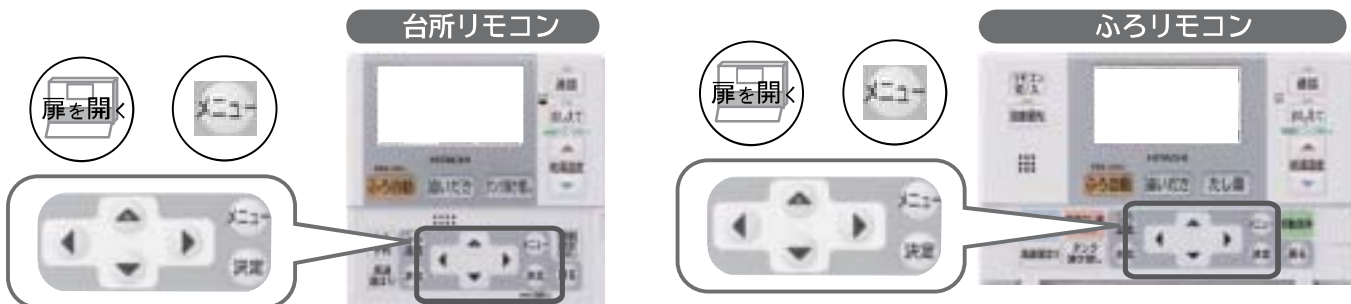
●「設定完了」画面が表示されます。

●リモコンの時計が「００分」にセットされます。

お知らせ
●正時（しょうじ）とは、「7 時ちょうど（7：00）」や「12 時ちょうど（12：00）」のように、「毎時 0 分」をいいます。
●毎時 05 分～ 54 分の間に設定が必要な場合は、「時・分の設定」にしたがって設定してください。

給湯機の設定（続き）

■通話機能設定

■ふろリモコンと台所リモコンの間で通話する音量、通話方式を設定します。
●音量はふろリモコンと台所リモコン各々で設定します。

1

で「リモコン」「通話機能設定」を選択し

決定 を押す。

●「通話音量」の画面になります。

2

で「音量」を選択し

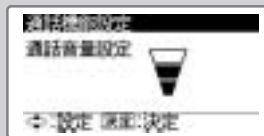
決定 を押す。

●「通話ハンズフリー設定」の画面になります。

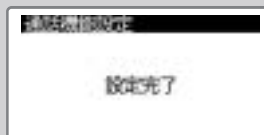
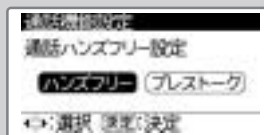
3

で「方式」を選択し

決定 を押す。

●「設定完了」画面になります。
●「標準画面」に戻ります。

お知らせ

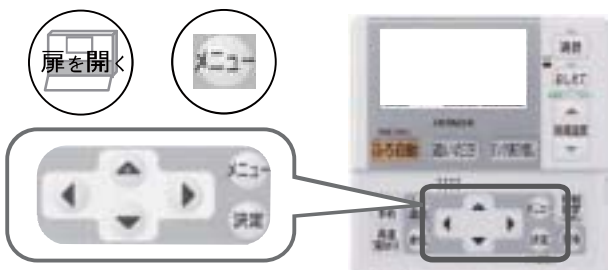
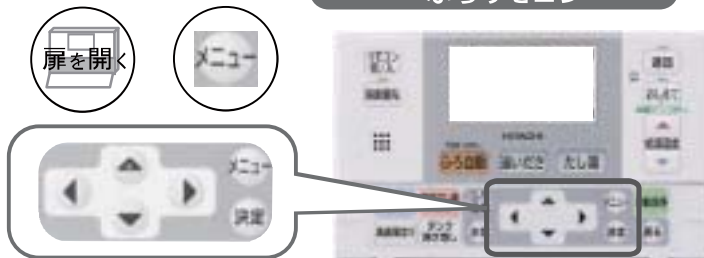
●台所リモコンとふろリモコン間で通話中に「通話音量」を変更することができます。

➔P.43

■出荷時設定

■各設定を製品出荷時の設定に戻します。

●出荷時設定を行った後は、必ず一括設定を行ってください。➔P.21

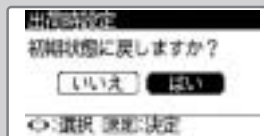
●その他の設定（給湯温度・ふろ温度など）は給湯機をお使いになりながら適切な設定を行ってください。

台所リモコン（サブリモコン）

ふろリモコン

1 で「その他」/「出荷時設定」を選択し 決定 を押す。

●「出荷時設定」の画面になります。

2 で「はい」を選択し

決定 を押す。

●「設定完了」画面になります。
●自動で「再起動します。しばらくお待ちください」の画面を表示後、自動で「標準画面」に戻ります。

●「いいえ」を選択すると現在の設定を継続します。

■設定項目一覧

設定項目	出荷時設定	頁
給湯温度	４０℃	➔P.23
ふろ温度	４０℃	➔P.26
ふろ水位	レベル５	➔P.26
高速湯はり	なし	➔P.26
ふろ保温時間	２：００	➔P.59
保温機能	温度・水位	➔P.59
沸き上げ	おまかせ　低温	➔P.57
湯切れ防止	少量	➔P.58
ふろ予約	なし	➔P.40
チャイルドロック	ＯＦＦ	➔P.23
浴室優先	ＯＮ	➔P.24
半身浴温度	３８℃	➔P.39
電力契約	０４	➔P.56
節約設定	０時間	➔P.58
使用休止予約	なし	➔P.49
使用休止予約の休止日	なし（解除）	➔P.49
使用休止予約の再開日	なし（解除）	➔P.49

設定項目	出荷時設定	頁
自動洗浄	する	➔P.26
音声ガイド（台所リモコン）	しんせつ	➔P.60
音声ガイド（ふろリモコン）	しんせつ	➔P.60
音声ガイド（サブリモコン）	しんせつ	➔P.60
ガイド・ブザー音量（台所リモコン）	標準	➔P.60
ガイド・ブザー音量（ふろリモコン）	標準	➔P.60
ガイド・ブザー音量（サブリモコン）	標準	➔P.60
コントラスト（台所リモコン）	レベル７	➔P.12
コントラスト（ふろリモコン）	レベル７	➔P.12
コントラスト（サブリモコン）	レベル７	➔P.12
通話音量（台所リモコン）	標準	➔P.43
通話音量（ふろリモコン）	標準	➔P.43
通話ハンズフリー設定	ハンズフリー	➔P.63
eco省エネ保温	入	➔P.41
入浴検知追いだき	入	➔P.42
沸き増し節約	切	➔P.42
お好み量沸き増し	切	➔P.42

リモコンにこんな表示がでたら

■点検表示

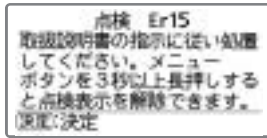
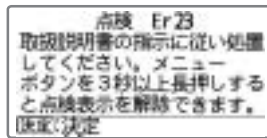
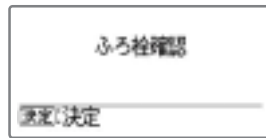
① 点検が必要な状況になった場合、各リモコンに点検表示の解除方法が表示されバックライトが点滅します。下記の点検表示画面が表示される場合は、お客様で処置をしてください。

点検　Er15
取扱説明書の指示に従い処置してください。メニューボタンを３秒以上長押しすると点検表示を解除できます。
決定:決定

（点検　Er15）

点検　Er23
取扱説明書の指示に従い処置してください。メニューボタンを３秒以上長押しすると点検表示を解除できます。
決定:決定

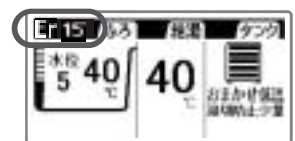
（点検　Er23）

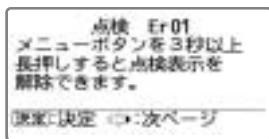
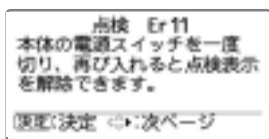
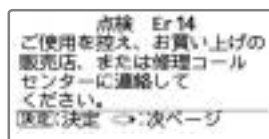
ふろ栓確認
決定:決定

（点検　C23）

●各リモコンに上記の点検表示が表示された場合、お客様で処置ができます。下記記載の処置をしてください。

② 点検表示と現象	③ 原因	④ 処置
Er15 ふろ湯はりができない。	●貯湯ユニットへ水の供給がされていない。	●タンク専用止水栓を全開にしてください。 ●給水にポンプをご使用の場合は、ポンプを確認してください。
	●断水している	●断水が終わるまで待ってください。
C 23 Er23 ふろ湯はりができない。	●浴そうの排水栓をしていない。	●浴そうの排水栓を閉じてください
	●ふろ循環アダプターのフィルターが目づまりしている。➔P.52	●ふろ循環アダプターのフィルターを掃除してください。
C 23 自動運転中にたし湯ができない。	●ふろ自動運転中に浴そうの排水栓を抜いた。	●ふろ自動運転中に排水栓を抜かないでください。
	●ふろ自動運転中に、おふろのお湯を多量にくみだした。	●ふろ自動運転中は、おふろのお湯を多量にくみださない。
C 23 追いだきができない。	●ふろ配管内に空気がたまっている	●たし湯またはさし水を行い、配管内の空気を浴そうへ出してください。
	●半身浴湯はりの自動保温中に水位がふろアダプター付近まで下がった	●半身浴湯はりの自動保温中に浴そうのお湯を排水しないでください。

⑤ 処置後の手順

1. 処置をした後、「決定」ボタンを押してください。点検表示画面から標準画面に戻りますが、時刻表示部に点検表示が残りバックライトが点滅します。
2. 「メニュー」ボタンを３秒以上押して点検表示を消します。一度リモコンの表示が消え、標準画面に戻り、通常通り使用できるようになります。
3. 処置をしても、なお点検表示が表示される場合や該当する原因がない場合は、お買い上げの販売店または「修理コールセンター」にご連絡ください。 ➔P.74
4. 給水にポンプをご使用の場合でポンプに異常がある場合は、ポンプをお買い上げの販売店または工事店へご連絡ください。

⑥ 下記の点検表示が表示される場合は、お買い上げの販売店または「修理コールセンター」にご連絡ください。点検表示の解除方法は各表示によって異なります。

●下記に点検表示画面の例を示します。

（点検　Er01）

（点検　Er11）

（点検　Er14）

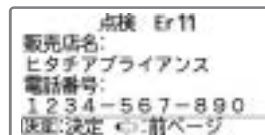
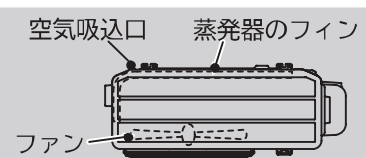
⑦ 点検表示	⑧ 処置
Ｅｒ01 ～ 14 Ｅｒ16 ～ 22 Ｅｒ24 ～ 84	●貯湯ユニット関係の点検が必要です。 ●リモコンに表示される点検表示内容に従い、表示を解除ください。
HE 01 ～ 16、19 ＨＥ 22 ～ 44	●ヒートポンプユニット関係の点検が必要です。 ●リモコンの「メニュー」ボタンを３秒以上押し点検表示を解除してください。

⑦ 点検表示	⑧ 処置
ＨＥ 17、20、21 Ｃ － 09	●ヒートポンプ配管の点検が必要です。 ●リモコンの「メニュー」ボタンを３秒以上押し点検表示を解除してください。

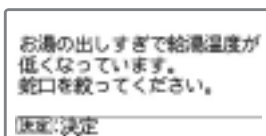
※ＨＥ－17、ＨＥ－20、ＨＥ－21、Ｃ－09 が再度、表示される場合は、ヒートポンプ配管の点検が必要です。お買い上げの販売店または「修理コールセンター」にご連絡ください。 ➔P.70

お知らせ

●試運転時販売店が連絡先の登録を行っている場合、61、62ページの点検表示画面で各リモコンの「 ▶ 」を押すと、点検表示画面から販売店名と連絡先の電話番号が表示します。

点検　Er11
販売店名:
ヒタチアプライアンス
電話番号:
1234-567-890
決定:決定 ⇦:前ページ

■その他の表示

■タンクのお湯を使用して給湯熱交換器で水道水を温め、リモコンで設定した温度のお湯をつくるため、（ ➔P.1 ）タンク内の温度が低い、給水温度が低い、給湯流量が多すぎるなどの場合に、給湯熱交換器の給湯能力が不足し設定温度のお湯が出ないときに表示します。蛇口を絞ると設定温度のお湯が出る場合があります。

お湯の出しすぎで給湯温度が
低くなっています。
蛇口を絞ってください。
決定:決定

●表示された場合、蛇口を絞り設定温度のお湯が出る、または「決定」ボタンを押すと通常画面に戻ります。

お困りのときは 修理を依頼される前に、調べて見ましょう。

	こんなときには	処置と確認事項
貯湯タンク	タンク排水管から水が出ている	●沸き上げ中（リモコンに「沸き上げ」や「沸き増し」が表示されているとき）に膨張水の排出を行っている。 →正常な動作です。沸き上げ中は、タンク内の水がお湯になるときに膨張した分を排水します。通常一晩で 10L ～ 20L 排水します。
		●沸き上げ中でないときに、お湯や水が排水される場合は、逃し弁の点検を行ってください。➔P.53
ヒートポンプユニット	昼間時間帯に沸き上げを行う	●お湯が不足しないように、沸き上げを行っています。正常な動作です。残湯量表示が全て点灯している場合でも「湯切れ防止」を設定していると、沸き上げを行うことがあります。
		●外気温度が低いとき、凍結防止運転のため、沸き上げを行う場合があります。正常な動作です。
	深夜時間帯になっても沸き上げを開始しない	●朝方に沸き上がるように水温や残湯量に合せて、沸き上げ開始時間を調整するためで（ピークシフト機能）、正常な動作です。
	深夜時間帯の終了時間よりも早く沸き上がる	●タンク内の残湯量が多い場合は、早く沸き上げ終了することがあります。
	ヒートポンプユニットのドレンから水が出る	●沸き上げ中は、大気から熱を吸収するときに発生した結露した水を排水します。正常な動作です。
	沸き上げ中、ヒートポンプユニットの蒸発器が霜で白くなる	●冬季は、蒸発器のフィンに霜がつくことがありますが、正常な動作です。
	ヒートポンプユニットが運転 / 停止を繰り返す	●外気温度が低いとき、蒸発器の除霜のために、ファンの運転 / 停止を繰り返します。正常な動作です。
	ヒートポンプユニットから運転音がする	●沸き上げ中や凍結防止運転中は、運転音がします。 また、外気温度が低いときは、運転音が大きくなる場合がありますが、異常ではありません。
	使用休止設定中なのにヒートポンプユニットが運転する	●外気温度が低いとき、凍結防止運転のため、沸き上げを行う場合があります。正常な動作です。
給湯	お湯が出ない お湯の出が悪い	●タンク専用止水栓が閉じている。 →タンク専用止水栓を開いてください。➔P.16 ▶ ●給水にポンプをご使用の場合は、ポンプを確認してください。
		●断水している／給水圧が低い。 →断水が終わるのを待ってください。 ▶ ●給水にポンプをご使用の場合は、ポンプを確認してください。
		●配管が凍結している。 →お買い上げの販売店または工事店へご連絡ください。

	こんなときには	処置と確認事項
給湯	お湯がぬるい お湯が足りない （残湯量の表示が 消えている）	●沸き上げ設定が、「おまかせ・低温」である。 →沸き上げ設定を「おまかせ・高温」または「たっぷり」にしてください。
		●使用休止予約設定になっている。（リモコンに「使用休止中」の表示がある） →使用休止予約設定を解除し、「タンク沸き増し」ボタンを押してください。 ➔P.46 ➔P.49
		●深夜時間帯（夜間沸き上げ運転中）にお湯をたくさん使用した。 →「タンク沸き増し」ボタンを押してください。➔P.46 →深夜時間帯（夜間沸き上げ運転中）に湯はりなど大量のお湯を使うと、翌朝、充分に沸き上がらないことがあります。「湯切れ防止」を設定してください。➔P.58
		●いつもに比べてお湯をたくさん使用した。 →「タンク沸き増し」ボタンを押してください。➔P.46 →お湯をたくさん使う予定があるときは、前日に沸き上げ設定を変更するか、「湯切れ防止」の設定をしてください。➔P.57 ➔P.58
		●混合水栓から出るお湯は、配管の放熱によって低くなることがあります。 →リモコンの給湯温度（「▲」ボタン）を高くしてください。➔P.23
		●サーモスタット付混合水栓使用時に混合水栓側の設定温度まで上がらない。 →リモコンの給湯温度を混合水栓側の設定温度より約10℃高くしてください。 ➔P.19
		●タンクのお湯の温度が、設定した給湯温度より低い場合、設定温度のお湯は出ません。 →「タンク沸き増し」ボタンを押してください。➔P.46
		●朝に残湯量表示がすべて点灯していない。 →「おまかせ・低温」「おまかせ・高温」の設定の場合、お客様のご使量に合わせて、沸き上げを行いますので使用量が少ない場合は、沸き上げ量が少なくなり、残湯量表示がすべて点灯しないことがあるためで異常ではありません。なお、頻繁に湯切れする場合は、沸き上げ設定「おまかせ・高温」に変更してください。➔P.57 それでも湯切れする場合は、湯切防止設定を「少量」から「全量」へ変更してください。➔P.58
		●逃がし弁からお湯が漏れている可能性があります。 →逃がし弁の点検を行ない漏れがないことを確認してください。➔P.53 漏れがある場合、お買い上げの販売店、または工事店に連絡してください。➔P.74
	給湯温度が変化する 水になる	●下記の場合が考えられますが、異常ではありません。 ・水道の圧力が変動した場合。 ・給湯量を変更した場合。 ・給湯量が極端に少ない場合（混合水栓の湯側の量が少ない場合）。 ・湯はりやたし湯、高温さし湯、さし水と給湯を同時に使用した場合。 ・シャワーと台所など同時に使用した場合。 ・シャワーを一旦止め、しばらくして再給湯した場合。
	お湯から油が出る、 お湯が臭い	●お買い上げ直後は、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。異常ではありません。 なお、しばらくしても油や臭いが消えない場合は、タンクの湯の入れ替え、配管工事時に取り付けた配管材料などの確認が必要です。お買い上げの販売店または工事店に連絡してください。
	お湯が白く濁って 見える	●水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。異常ではありません。

お困りのときは（続き）修理を依頼される前に、調

こんなときには		処置と確認事項
おふろ	湯はりに時間がかかる	●タンクのお湯の温度により、湯はり流量を少なくすることがあります。正常な動作です。
	湯はりができない	●タンクにお湯がない。(残湯量の表示が少ない) →P.14 →残湯量の表示が 3 つ以上ないと湯はりが途中で止まることがあります。「タンク沸き増し」ボタンを押して、しばらくして (約1時間) から湯はりを行ってください。→P.46
	湯はりができない 湯はりが途中で止まる	●タンクのお湯の温度が低い。(残湯量の表示は出ている) →「タンク沸き増し」ボタンを押してください。残湯量は約 45℃以上のお湯の量を表示します。残湯温度が、湯はり温度より約5℃以上高くないと、「湯はりができない」「途中で止まる」ことがあります。 ●湯はりと給湯を同時にすると湯はりが一時的に中断することがあります。給湯終了後に再開します。
	水でしか湯はりしない	●ふろ温度の設定が「低温」になっていないか確認してください。
	高温さし湯ができない	●タンクのお湯の温度が低い。(残湯量の表示は出ている) →「タンク沸き増し」ボタンを押してください。「高温さし湯」は、タンクに約 60℃以上のお湯が必要です。→P.46 ●高温さし湯と給湯を同時にすると高温さし湯が一時的に中断することがあります。給湯終了後に再開します。
	浴そうのお湯があつい	●ふろ温度の設定を低くしてください。または「さし水」ボタンを押してください。 ●追いだき中になっている場合は、再度「追いだき」ボタンを押してを中止してください。
	浴そうのお湯がぬるい	●ふろ温度の設定を高くしてください。または「追いだき」ボタンを押してください。
	浴そうのお湯が少ない	●ふろ水位の設定を高くしてください。または「たし湯」ボタンを押してください。
	浴そうのお湯が多い	●ふろ水位の設定を低くしてください。
	追いだきができない	●浴そうのお湯が少ない →追いだきは、「ふろ循環アダプター」上端以上お湯があるときに使用できます。水位が低いときは、「高温さし湯」、「たし湯」を行ってください。→P.29 →P.30 →P.32 ●タンクのお湯の温度が低い。(残湯量の表示は出ている) →「タンク沸き増し」ボタンを押してください。残湯量は約 45℃以上のお湯の量を表示しますが、追いだきはタンクのお湯と熱交換するため、タンクのお湯が約 60℃以上必要です。→P.29 →P.46
	追いだきが途中で停止する	●ふろ循環アダプターのフィルターを掃除してください。→P.52 ●タンクのお湯の温度が低い。(残湯量の表示は出ている) →「タンク沸き増し」ボタンを押してください。→P.46
	入浴時にふろ循環アダプターから水が出る	●冬季は凍結防止運転が動作するため、ふろ配管内の水が浴そうに排出されます。入浴中は、ふろ自動運転設定ください。冬季に起こる正常な動作です。→P.28 →P.48

べて見ましょう。

	こんなときには	処置と確認事項
おふろ	朝の浴そうに水がたまっている	●ふろ配管内の残っていた水が出ています。正常な動作です。 ●夜間に凍結防止運転をしています。冬季に起こる正常な動作です。→P.48
	浴そうからゴボゴボ音がする	●冬季は凍結防止運転が動作するため、ふろ配管内の水が浴そうに排出され浴そうでゴボゴボ音がします。冬季に起こる正常な動作です。→P.48
	ふろ循環アダプターからポンプ音がする	●冬季は凍結防止運転が動作するため、凍結防止のためポンプを運転して浴そうの残り湯を循環させるので音がします。冬季に起こる正常な動作です。→P.48 ●湯はり中またはふろ自動運転中にポンプが空気を吸い込む音がする場合があります。湯はりが終わると音はしなくなります。異常ではありません。
	浴そうからポンプ音がする	●冬季は凍結防止運転が動作するため、凍結防止のためポンプを運転して浴そうの残り湯を循環させるので音がします。冬季に起こる正常な動作です。→P.48
	ふろ循環アダプターから汚れが出る	●ふろ配管内に溜まった汚れを排出することがあります。ふろ配管の自動洗浄または循環洗浄をしてください。→P.55
	断続的に湯はりを行う	●湯はり中は、温度や水位確認のため、何度か湯はりを止めますが正常な動作です。
	浴そうのお湯が青く見える 浴そうや洗面用具に青い線がつく	●光の波長や浴そうの色によって、浴そうのお湯が青く見えることがあります。また、配管（銅配管）から溶出したわずかな銅イオンが、石けん成分と反応して浴そうのふちや、洗面用具などが青くなることがありますが、異常ではありません。汚れを放置すると取れにくくなりますので浴室用洗剤で掃除してください。
	自動洗浄しない	●自動洗浄が設定されていないときは、自動洗浄しません。ふろリモコンで「自動洗浄」をボタンを押してください。時刻表示の横に「 」が出ます。 ●「ふろ自動」運転後に設定しても自動洗浄は行いません。「ふろ自動」を運転する前に「自動洗浄」を設定してください。 ●浴そうのお湯を使用するなど、ふろ循環アダプター付近までお湯が減ると、すでに自動洗浄が動作している場合があります。一度動作すると、その後、排水しても自動洗浄を行いません。
	浴そうの水位が不安定	●おふろをリフォームしたことにより水位が不安定となった場合は、水位の再設定が必要です。お買い上げの販売店に連絡して水位の再設定を依頼してください。（有償です）

お困りのときは（続き）修理を依頼される前に、調べて見ましょう。

こんなときには		処置と確認事項
リモコン	リモコンの表示部が消えている（電源が入らない）	●200V 電源ブレーカーが「OFF」になっています。電源ブレーカーを「ON」にしてください。➔P.16
		●漏電遮断器の電源スイッチが「OFF」になっている。電源スイッチを「ON」にしてください。再度「OFF」になる場合は、「OFF」のままお買い上げの販売店へご連絡ください。➔P.15
		●停電が終わるまで待ってください。
	リモコンのバックライトが消える	●リモコンのバックライトは約 30 秒で自動で消えます。正常な動作です。
	台所リモコンで給湯温度の変更ができない	●浴室優先が設定されている（リモコンに「浴室優先」が表示されている）ので、解除してください。➔P.24
	ふろリモコンで温度の変更などボタン操作ができない	●チャイルドロックが設定されている（リモコンに「 」が表示されている）ので、解除してください。➔P.23
	音声ガイドが出ない	●音量ガイドが「切」の設定になっているので、「しんせつ」または「標準」の設定にしてください。➔P.60
		●音量設定が「切」の設定になっているので、「切」以外の音量を設定にしてください。➔P.60
	リモコンを操作しても操作音が出ない	●音量設定が「切」の設定になっているので、「切」以外の音量を設定にしてください。➔P.60
	インターホンが聞き取りにくい	●会話は、リモコンから30cmくらい離れて行ってください。離れすぎ、近づきすぎ、声が大きいなどの場合、相手のリモコンで会話が途切れたり、音が割れて聞きとりにくい場合があります。 また、周囲の雑音（シャワーやテレビなど）が大きいと相手の話す声が途切れることがあります。
	インターホンを使用するとキーンという音がする	●リモコンの取り付け状態や場所により、キーンという大きな音（ハウリング）が発生することがあります。音量を「標準」または「小」に下げてご使用ください。

用語集

沸き上げ
（わきあげ）

タンクにお湯を貯めるために自動で沸き上げることです。 ➔P.12

タンク沸き増し
（タンクわきまし）

少なくなったタンク内のお湯の量を増やすために、手動で沸き上げることです。 ➔P.46

湯切れ防止
（ゆぎれぼうし）

少なくなったタンク内のお湯の量を増やすために、昼間の時間帯に自動で沸き上げる機能のことです。 ➔P.58

追いだき
（おいだき）

ぬるくなった浴そうのお湯を温める機能です。 ➔P.29

高温さし湯

タンクの高温のお湯を浴そうに入れ、おふろの温度を上昇させます。おふろのお湯の量も増やします。 ➔P.32

たし湯

おふろのお湯の量を増やします。
ふろ温度と同じ温度です。 ➔P.30

さし水

浴そうに水を入れ、おふろの温度をさげることです。 ➔P.31

電力契約番号

各電力会社の契約制度に対応した日立独自の番号です。（電力会社の定める番号ではありません） ➔P.56

タンク専用止水栓
（たんくせんようしすいせん）

水道からタンクに水を給水する配管の途中にある栓です。タンクへの給水を止める時（排水前など）に閉じます。 ➔P.16

タンク排水栓
（タンクはいすいせん）

タンク内の水を排水するための栓で、排水栓を開くと、タンク排水管から水や湯が排水されます。 ➔P.15

タンク排水管

貯湯ユニット内にある水や湯が排水される出口です。熱い湯が出る場合がありますので注意が必要です。 ➔P.16

ふろ温度

「ふろ自動」機能で自動湯はりをするときの温度です。
「たし湯」でもこの温度のお湯が足されます。 ➔P.26

混合水栓
（こんごうすいせん）

湯水混合水栓ともいいます。水とお湯が混合され蛇口からでます。
シングルレバー、ツーハンドル、サーモスタット付と種類があります。
混合水栓の特徴を理解し正しくお使いください。 ➔P.19

残湯量
（ざんとうりょう）

タンクに残っている約45℃～約90℃のお湯の量で、リモコンの標準画面にマークで表示しています。使えるお湯の量とは異なります。 ➔P.14

給湯温度

混合水栓に供給されるお湯の温度です。
ふろ温度とは区別しています。
混合水栓の蛇口から出るお湯の温度は、季節や配管の長さ、混合水栓の種類によって変ります。 ➔P.23

使えるお湯の量

給湯やふろ湯はりで使えるお湯の量で、タンク内の残湯量をもとに42℃に換算したお湯のめやす量です。 ➔P.45

仕様

■システム

	仕様	
型式	ＢＨＰ－ＦW46HD	ＢＨＰ－ＦW37HD
仕向地（設置地域）	一般地（Ⅲ地域以南、外気温 -10℃まで対応）	
適用電力制度	季節別時間帯別電灯型、　時間帯別電灯型（通電制御対応）	
設置場所	屋外型	
電源	単相 200V (50／60Hz)	
最大電流	18A	17A
沸き上げ温度	約 65 ～ 90℃	
年間給湯効率（APF)※6	3.1	3.1

■貯湯ユニット

		仕様	
型式		ＢＨＰ－ＴAW463	ＢＨＰ－ＴAW373
タンク容量		460Ｌ	370Ｌ
最高使用圧力（給湯側）		500kPa	
外形寸法		2,165mm（高） 625mm（幅） 730mm（奥行）	1,835mm（高） 625mm（幅） 730mm（奥行）
質量 (製品質量 / 満水時質量)		74kg ／約 534kg	65kg ／約 435kg
給湯作動最低流量		２Ｌ／ min	
消費電力	制御用	5W	
	ふろ保温	75W	
	給湯循環ポンプ	55W	

■ヒートポンプユニット

	仕様	
型式	ＢＨＰ－ＨAW603	ＢＨＰ－ＨAW453
外形寸法	720mm（高）×792mm（幅）×299mm（奥行）	
質量	61kg	61kg
中間期加熱能力 / 消費電力 ※2 ※3	6.0ｋW／1.25ｋW	4.5ｋW／0.92ｋW
冬期高温加熱能力 / 消費電力 ※1 ※2 ※5	6.0ｋW／2.00ｋW	4.5ｋW／1.50ｋW
夏期加熱能力 / 消費電力 ※2 ※4	4.5ｋW／0.79ｋW	4.5ｋW／0.79ｋW
運転音（中間期※3/ 冬期高温※5）	40dB(A)/43dB(A)	38dB(A)/42dB(A)
冷媒名	Ｒ744（CO_2）	

※1　低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。
※2　沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
※3　作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）16℃／12℃、水温 17℃、沸き上げ温度 65℃
※4　作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）25℃／21℃、水温 24℃、沸き上げ温度 65℃
※5　作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）7℃／6℃、水温 9℃、沸き上げ温度 90℃
※6　(社) 日本冷凍空調工業会の規格である JRA4050:2007R に基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すために、一年を通して、ある一定の条件のもとにヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。なお、（掲載）値は、省エネモードである「おまかせ　低温」で測定した値であり、実際には地域条件・運転モードの設定や、ご使用条件等により変わります。

愛情点検	長年ご使用のヒートポンプ給湯機の点検を！
	ご使用の際、こんな症状はありませんか？ ●運転中以外逃し弁から水が漏れる。 ●漏電遮断器が自動的に「OFF」になる。 ●本体や配管から水が漏れる。 ●その他の異常や故障がある。 **ご使用中止** ●故障や事故防止のため、「電源ブレーカ」を切り、「タンク専用止水栓」を閉じてから、販売店に点検をご相談ください。

保証とアフターサービス

■保証書（添付）

●保証書は、必ず「お買い上げ日、据付工事店名（販売店名）」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。（取扱説明書、工事説明書なども保証書と一緒に保管してください。井戸水使用の場合は水質チェックシートも保管してください。）

●保証期間は、お買い上げいただいた日からヒートポンプユニットの熱交換器とコンプレッサーは３年、タンクは５年、その他の部分は１年です。

■補修用性能部品の保有期間

●補修用性能部品の保有期間は製造打切後８年です。

※補修用性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。

■定期点検契約（有料）のおすすめ

●本製品を長期間安心してお使いいただくために、３～４年に１度、専門技術者による定期点検（有料）を行ってください。なお、給水用具（逆流防止装置）に関しては（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。

●定期点検につきましては、販売店または右記のサービスエンジニアリングセンターへご相談ください。

●点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

定期点検の主な項目

項目	内容
据付状態の点検	●設置状態の点検･配管接続部の水漏れ点検 ●配管、その他の保温状態の点検 ●電気絶縁の点検
機能部品の点検	●電気部品（配線、導通、動作の確認）の点検 ●弁類の点検（減圧弁、逃し弁）
清掃	●貯湯タンク内の清掃（沈殿物の除去など） ●給水継手のストレーナの清掃

消耗部品について（有料）

消耗部品
●逃し弁　●減圧弁　●循環ポンプ ●パッキン類　●センサー類　●電磁弁　●水流スイッチ ●ゴムホース　●三方弁　●流量調整弁　●給湯熱交換器

※上記部品の交換時は、当社純正部品と交換してください。

■技術的なお問い合わせは

●右記の「技術相談センター」へお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

●お買い上げ店へ下記をご連絡ください。お買い上げ店が不明な場合は、右記の「修理コールセンター」へご連絡ください。

1. 型式（保証書に記載）
2. 故障の状況
3. お名前、ご住所（付近の目印なども）、電話番号
4. お買い上げ店名

修理料金

保証期間中：保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間がすぎている場合：修理によって使用できる場合は、お客様のご希望により有料修理いたします。

■修理コールセンター

(0120) 649-020（携帯電話からも可）
受付時間　365日・24時間受付

■技術相談センター

(0120) 578-011（携帯電話からも可）
受付時間　9：00～17：00（土日祭日を除く）

■サービスエンジニアリングセンター

受付時間　9：00～17：00（土日祭日を除く）

北海道 (011) 717－5146
〒060－0809
札幌市北区北９条西3-10-1（小田ビル８階）

東北　(022)225-5972
〒980－0065
仙台市青葉区土樋１－１－11

東京　(03) 3649-3811
〒135－0016
東京都江東区東陽５－29－17（住友不動産東陽ビル）

北陸　(076) 429－6861
〒939－8214
富山市黒崎627－3

中部　(0568) 72－0131
〒485－0072
小牧市元町４－66

関西　(06) 6303－6159
〒532－0022
大阪市淀川区野中南２－11－27

中国　(082) 283－9374
〒735－0029
広島県安芸郡府中町茂陰１－９－20

四国　(087) 833－8701
〒760－0072
高松市花園町１－１－５（花園ビル）

九州　(092) 561－4854
〒815－0031
福岡市南区清水４－９－17

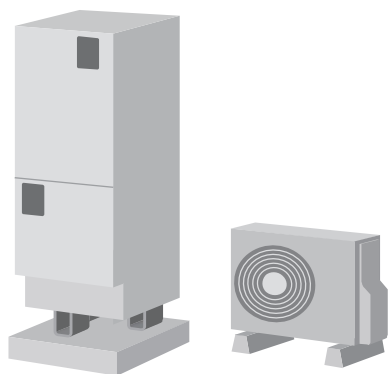
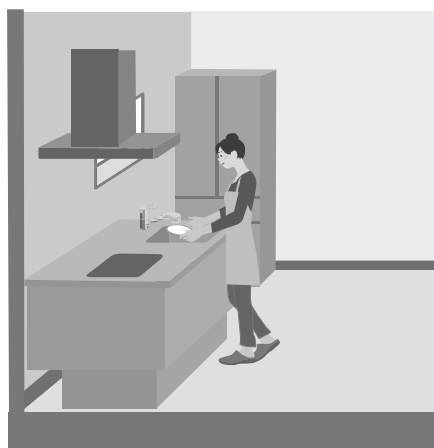
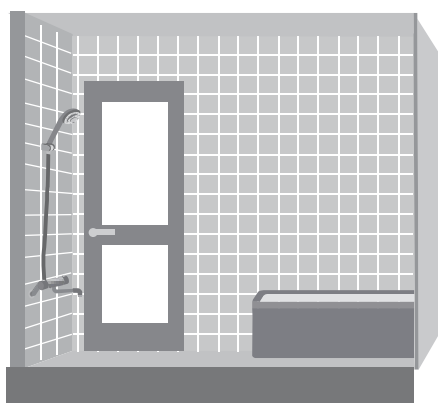
※所在地・電話番号などは、予告無く変更することがありますのでご了承ください。

日立アプライアンス株式会社
〒105－0022　東京都港区海岸一丁目16番1号（ニューピア竹芝サウスタワー）

ご購入年月日	年　月　日
お買い上げ店（販売店）	
電話番号	

●お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。

●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し、対応させていただくことがあります。

よくあるご質問

- **タンク排水管から水が出ている→**沸き上げ中はお湯が排出されます。
- **ヒートポンプユニットから水が出る→**沸き上げ中はドレン水が排出されます。
- **昼間時間帯に沸き上げを行う**→お湯が不足しないように沸き上げを行っています。残湯表示がすべて点灯している場合でも沸き上げを行うことがあります。
- **朝に残湯量表示がすべて点灯していない→**お客様の使用量に合わせて沸き上げを行いますので、使用量が少ない場合は、沸き上げ量が少なくなり、残湯量表示がすべて点灯しないことがあります。

- **混合水栓から出るお湯の温度が低い→**配管の放熱によって低くなることがあります。リモコンの給湯温度▲ボタンを押してください。
- **サーモスタット付混合水栓使用時に混合水栓側の設定温度まで上がらない**→リモコンの給湯温度を混合水栓側の設定温度より約10℃高くしてください。
- **リモコンの表示画面が薄い、濃い、縦線が入る→**コントラスト調整をおこなってください。→P.12
- **混合水栓を「開」にしてもなかなかお湯が出ない。→**給湯配管内にある残留水が出るまでの間はすぐにお湯が出ません。

- **浴そうのお湯が青く見える**→光の波長や浴そうの色によって、浴そうのお湯が青く見えることがあります。
- **浴そうや洗面用具に青い線がつく**→配管（銅配管）から溶出したわずかな銅イオンが、石けん成分と反応して浴そうのふちや、洗面用具などが青くなることがあります。
- **入浴時にふろ循環アダプターから水が出る、浴そうからゴボゴボ音がする→**凍結防止運転が動作するためです。
- **追いだきが途中で停止する**→ふろ循環アダプターのフィルターを掃除してください。

日立アプライアンス株式会社

〒105－0022　東京都港区海岸一丁目16番1号（ニューピア竹芝サウスタワー）